

ネクスペースピラー&ルーフ 施工説明書

- この度は、当社製品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- 電気工事は電気工事士の資格が必要です。電気工事が必要な場合は、必ず電気工事店へ依頼してください。
- この説明書は施工後必ず施工主様へお渡しください。

注意事項

施工にあたっては次の点をご注意ください。

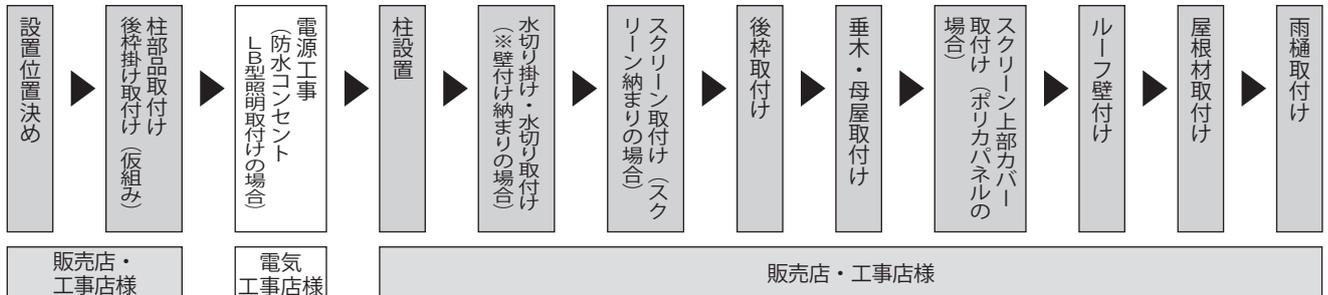
◎設置場所・位置について

- ガス給湯器などの熱や排気ガスが製品に直接当たる、またはこもるような場所に設置しないでください。熱による塗装劣化・剥離（はくり）、また排気ガスによる腐食の原因になります。

◎施工時の注意事項

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、アルミの腐食の原因になりますので使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
- モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。

◎施工の流れ



- この説明書は「施工の流れ」に合わせて引き継いでください。施工終了後はお施主様にお渡しください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。

注意

- 地耐力が 30kN/㎡未満の地盤には設置しないでください。
- この商品は一般地域用です。[積雪強度：600N/㎡] 積雪の多い地域には取付けないでください。
- 各ボルト・ビス類は、確実に締め付けてください。
- 無理にボルト・ビスを締め付けしないでください。破損の原因になります。

- 施工後は、必要に応じて養生を施してください。
- 保管時は、平坦な場所に平置きしてください。また、長期間保管する場合、風雨にさらされないようにしてください。
- 本体に乗ったり、揺すったりしないでください。
- 本体に雨具、洗濯物、布団等を載せないでください。

屋根材・スクリーン（ポリカパネル）ご使用上の注意

- 屋根材・スクリーンの近くで、殺虫剤、除草剤は使用しないでください。有機系・石油系の物質が付着すると、変色、ムラ、変形、割れが生じることがあります。
- ポリカパネルは材質の特性上、温度の変化による伸縮が発生します。それによって多少のたわみ（反り）の生じる場合がありますが、使用上および機能上問題ありません。



この施工説明書は、柱側を「外側」、屋根側を「内側」として説明しています。
また、「左・右」は柱側から見た場合を示しています。



7尺～9尺屋根の場合は、9尺屋根用施工説明書 [ME-2120] を合わせて参照してください。

下記のシリーズ、またはオプションと組合せる場合は、本体に付属の施工説明書を合わせて参照してください。

シリーズ品名	施工説明書番号	オプション品名	施工説明書番号
ネクススペース ウォール	ME-2049	天井スクリーン	ME-2055
ネクススペース ウォール&ルーフ	ME-2050	ハーディツェットアーチ	ME-2056
ネクススペース ピラー&ルーフ入隅納まり	ME-2054	防水コンセント・LB型照明	ME-2058
ネクススペース ピラー&ルーフ(9尺屋根用)	ME-2120	ネクススペース 出幅調整部品	ME-2119

もくじ

梱包明細	3	5. 垂木・母屋の取付け	35
各部の名称	5	5-1 吊り材の組立て	35
納まり図	8	5-2 垂木部品の取付け	35
詳細図	13	5-3 吊り材・垂木の取付け	37
1. 柱の設置	14	5-4 母屋の取付け	39
1-1 施工前の確認	14	5-5 吊り材の調整	40
1-2 柱部品の取付け	14	6. スクリーン上部カバーの取付け (※ポリカパネル納まりの場合)	41
1-3 A 後枠掛の取付け (※単体納まり・連棟納まりの場合)	15	7. ルーフの壁付け (※壁付け納まりの場合)	42
1-3 B 後枠掛の取付け (※柱移動を行う場合)	16	8. 屋根材の取付け	43
1-4 柱の埋め込み	18	8-1 屋根材の取付け	43
2. 水切り掛け・水切りの取付け (※壁付け納まりの場合)	19	8-2 水切りの固定 (※壁付け納まりの場合)	45
3 A. スクリーンの取付け (※ポリカパネル納まりの場合)	21	9. 雨樋の取付け	46
3 A-1 スクリーンの組立て	21	9-1 縦樋の取付け	46
3 A-2 スクリーンの取付け	23	9-2 雨樋ふさぎカバーの取付け	47
3 B. スクリーンの取付け (※スリットライン納まりの場合)	25	施工完了時の注意事項	48
3 B-1 たて格子の切詰め (H23・H26、ポリカパネルと合わせる場合)	25	■施工工事店様、販売店様へのお願い	48
3 B-2 胴縁・たて格子端部用の組立て	26		
3 B-3 スクリーンの取付け	27		
3 B-4 たて格子の取付け	28		
4. 後枠側の施工	31		
4-1 後枠の連結 (※連棟納まりの場合)	31		
4-2 後枠の取付け	32		
4-3 吊り材用ブラケットの取付け	34		

梱包明細

- 施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
- 説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。
- 9尺の場合、ピラー・垂木・母屋は [ME-2120] を参照してください。

梱包名称		梱包内容	※表内の（ ）は個数を表しています。	
ピラー	標準柱	柱 (1)・柱キャップ C (1)・φ 4 × 12 トラストタッピン 3 種 (2)・アンカー棒 (1)		
	スクリーン取付柱	柱 (1)・柱キャップ A (1)・φ 4 × 12 トラストタッピン 3 種 (2)・アンカー棒 (1)		
	柱移動金具	中間用	吊り材固定ブラケット (1)・吊り材移動ブラケット (1)・吊り材柱移動ブラケット (1) 柱移動金具 (1)・柱取合パッキン (1)・M8 × 20 六角セムスボルト (6)・M8 用バネ座金 (4) M8 用平座金 (4)・M8 用袋ナット (4)・φ 5 × 16 セルフドリリングビス (4)	
端部用		吊り材固定ブラケット (1)・吊り材移動ブラケット (1)・吊り材柱移動ブラケット (1) 孔ふさぎシール (4)・M8 × 20 六角セムスボルト (2)		
垂木・母屋	端部用	垂木 (2)・垂木カバー (2)・押さえ材 (4)・母屋 (1/2) ※1・前枠用母屋 (1)・端部用母屋 (L・R 各 2/3) ※1 母屋カバー (3/5) ※1・前枠用母屋カバー (4)・端部用母屋カバー (8/12) ※1・吊り材 (2) 屋根組立部品セット (1) [吊り材端部キャップ (2)・φ 4 × 12 トラストタッピン 3 種 (4)・母屋固定部品 (4/6) ※1 φ 4 × 12 トラストタッピン 3 種 (4/6) ※1・バッカー材 (4/6) ※1・垂木キャップ (2) φ 4 × 12 トラストタッピン 3 種 (6)・φ 4 × 12 皿タッピン 3 種 (2)・φ 4 × 20 トラストタッピン 3 種 (4) φ 4 × 20 トラストタッピン 3 種 (16/24) ※1・φ 4 × 10 トラストタッピン 2 種 (28/36) ※1 屋根材押さえ部品 (3)・φ 4 × 16 セルフドリリングビス (6)・母屋端部キャップ (4/6) ※1 φ 4 × 12 トラストタッピン 3 種 (4/6) ※1・端部母屋補強板 (4/6) ※1]		
	中間用	垂木 (1)・垂木カバー (1)・押さえ材 (2)・母屋 (1/2) ※1・前枠用母屋 (1)・母屋カバー (3/5) ※1 前枠用母屋カバー (4)・吊り材 (1) 屋根組立部品セット (1) [吊り材端部キャップ (1)・φ 4 × 12 トラストタッピン 3 種 (2)・母屋固定部品 (2/3) ※1 φ 4 × 12 トラストタッピン 3 種 (2/3) ※1・バッカー材 (1)・垂木キャップ (1) φ 4 × 12 トラストタッピン 3 種 (3)・φ 4 × 12 皿タッピン 3 種 (1)・φ 4 × 20 トラストタッピン 3 種 (2) φ 4 × 20 トラストタッピン 3 種 (8/12) ※1・φ 4 × 10 トラストタッピン 2 種 (14/18) ※1 屋根材押さえ部品 (3)・φ 4 × 16 セルフドリリングビス (6)]		
	吊り材取付金具 ※3	吊り材調整金具 (1)・吊り材固定ブラケット (2)・吊り材ブラケット用スペーサー (1) M5 × 10 トラス小ネジ (6)・M8 × 20 六角セムスボルト (4)・M8 × 60 六角ボルト (1) M8 × 40 六角ボルト (2)・M8 用バネ座金 (4)・M8 用平座金 (4)・M8 用袋ナット (1)		
ルーフ	後枠	単体用	後枠 (1)・後枠掛け (1)・後枠ピース (2/3) ※1 後枠キャップセット (1) [後枠キャップ (L・R 各 1)・φ 4 × 12 トラストタッピン 3 種 (4)] 垂木後枠取付部品セット (1) [垂木取付部品 (3/4) ※1・φ 5 × 16 トラストタッピン 3 種 (6/8) ※1 φ 4 × 12 トラストタッピン 3 種 (12/16) ※1]・後枠取付ボルトセット (1) [緩み止めボルト (12/16) ※1 柱取合パッキン (3/4) ※1]・雨樋ふさぎカバーセット (1) [雨樋ふさぎカバー (1) φ 4 × 13 皿セルフドリリングビス (2)・ビス穴ふさぎ (2)]・施工説明書 [ME-2051] (1) 取扱説明書 [MET-1063] (1)	
		中間用	後枠 (1)・後枠掛け (1)・後枠ピース (2/3) ※1 垂木後枠取付部品セット (1) [垂木取付部品 (2/3) ※1・φ 5 × 16 トラストタッピン 3 種 (4/6) ※1 φ 4 × 12 トラストタッピン 3 種 (10/12) ※1]・後枠連結部品セット (1) [後枠連結部品 A (1) 後枠連結部品 B (1)・φ 4 × 12 皿タッピン 3 種 (8)・後枠連結用パッキン (1) 後枠連結部止水パッキン (1)]・後枠取付ボルトセット (1) [緩み止めボルト (8/12) ※1 柱取合パッキン (2/3) ※1]・雨樋ふさぎカバーセット (1) [雨樋ふさぎカバー (1) φ 4 × 13 皿セルフドリリングビス (2)・ビス穴ふさぎ (2)]	
	端部用	L	後枠 (1)・後枠掛け (1)・後枠ピース (2/3) ※1・後枠キャップセット (1) [後枠キャップ L (1) φ 4 × 12 トラストタッピン 3 種 (2)]・垂木後枠取付部品セット (1) [垂木取付部品 (2/3) ※1 φ 5 × 16 トラストタッピン 3 種 (4/6) ※1・φ 4 × 12 トラストタッピン 3 種 (10/12) ※1] 後枠取付ボルトセット (1) [緩み止めボルト (8/12) ※1・柱取合パッキン (2/3) ※1] 雨樋ふさぎカバーセット (1) [雨樋ふさぎカバー (1)・φ 4 × 13 皿セルフドリリングビス (2) ビス穴ふさぎ (2)]	
		R	後枠 (1)・後枠掛け (1)・後枠ピース (2/3) ※1・後枠キャップセット (1) [後枠キャップ R (1) φ 4 × 12 トラストタッピン 3 種 (2)]・垂木後枠取付部品セット (1) [垂木取付部品 (3/4) ※1 φ 5 × 16 トラストタッピン 3 種 (6/8) ※1・φ 4 × 12 トラストタッピン 3 種 (12/16) ※1] 後枠連結部品セット (1) [後枠連結部品 A (1)・後枠連結部品 B (1)・φ 4 × 12 皿タッピン 3 種 (8) 後枠連結用パッキン (1)・後枠連結部止水パッキン (1)] 後枠取付ボルトセット (1) [緩み止めボルト (12/16) ※1・柱取合パッキン (3/4) ※1] 雨樋ふさぎカバーセット (1) [雨樋ふさぎカバー (1)・φ 4 × 13 皿セルフドリリングビス (2) ビス穴ふさぎ (2)]・施工説明書 [ME-2051] (1)・取扱説明書 [MET-1063] (1)	
		屋根材	屋根材 (1)	
	φ 60 用 丸縦樋	取付部品	落し口パッキン (2)・落し口 (1)・エルボ 88° (2)・回転サドル (3)・穴ふさぎ (1)・接着剤 (1) ドレンエルボ (1)・φ 4 × 12 トラストタッピン 3 種 (4)・φ 4 × 19 セルフドリリングビス (3)	
		丸縦樋	縦樋 [L=3500] (1)	

※ 1：出巾または間口によって個数が異なります。※ 2：梱包セット数によって個数が異なります。※ 3：柱移動金具使用時には、使用しない部品があります。

梱包明細

梱包名称		梱包内容	※表内の () は個数を表しています。
スクリーン	スリットライン	たて格子	たて格子 (2)
		たて端部格子	たて格子端部用 (2)
		取付セット	上胴縁 (1)・下胴縁 (1/2) ※ ² ・胴縁カバー (2/3) ※ ² ビスセット (1) [φ 4 × 12 トラストタッピン 3 種 (33)] スリットライン取付部品セット (1) [スリットライン取付部品 (4/6) ※ ²] φ 4 × 12 トラストタッピン 3 種 (8/12) ※ ² ・φ 5 × 16 セルフドリリングビス (16/24) ※ ² φ 4 × 25 トラストタッピン 3 種 (4)・φ 4 × 12 トラストタッピン 3 種 (4)
	胴縁エンド部品	胴縁エンド部品 (L・R 各 1)	
	ポリカパネル	枠	スクリーン縦枠 (2)・スクリーン横枠 (2)・スクリーン中方立 (1)・スクリーンアタッチメント (2) 溝カバー [スクリーンアタッチメント用] (2)・スクリーン上部カバー (1) 溝カバー [スクリーン上部用] (1) ポリカスクリーン組立部品セット (1) [スクリーンアタッチキャップ (2)・φ 4 × 12 ナベタッピン 3 種 (4) 側面カバーパッキン (1)・φ 4 × 13 ゴムワッシャー付セルフドリリングビス (5) φ 4 × 16 セルフドリリングビス (5)・φ 4 × 16 セルフドリリングビス (28/32/36) ※ ¹ φ 4 × 20 ナベタッピン 2 種ガイド付 (16)・φ 4 × 16 セルフドリリングビス (14/16/18) ※ ¹ シーラー (8)・セッティングブロック (4)・後付ビード (2)
パネル	ポリカーボネート板 (2)		

※¹：出巾または間口によって個数が異なります。※²：梱包セット数によって個数が異なります。

別売品

梱包名称		梱包内容	※表内の () は個数を表しています。
壁付セット	壁付部材セット	水切り掛け部材 (1)・水切り (1)・M8 × 75 コーチスクリュー (6/8)・M8 用バネ座金 (6/8) M8 用平座金 (6/8)	
	壁付部品 セット	単体用	前枠壁付用垂木固定部品 (3/4) ※ ¹ ・M8 × 16 六角ボルト (12/16) ※ ¹ ・M8 用バネ座金 (12/16) ※ ¹ M8 用平座金 (12/16) ※ ¹ ・M8 用袋ナット (12/16) ※ ¹ ・垂木連結固定部品 (3/4) ※ ¹ φ 4 × 16 トラストタッピン 3 種 (6/8) ※ ¹ ・φ 4 × 10 セルフドリリングビス (7/10) ※ ¹ 前枠壁付用部材キャップ (A・B 各 2)・φ 4 × 12 トラストタッピン 3 種 (8)
		連棟用	前枠壁付用垂木固定部品 (2/3) ※ ¹ ・M8 × 16 六角ボルト (8/12) ※ ¹ ・M8 用バネ座金 (8/12) ※ ¹ M8 用平座金 (8/12) ※ ¹ ・M8 用袋ナット (8/12) ※ ¹ ・垂木連結固定部品 (2/3) ※ ¹ φ 4 × 16 トラストタッピン 3 種 (4/6) ※ ¹ ・φ 4 × 10 セルフドリリングビス (7/10) ※ ¹ 前枠壁付用部材連結部品 (A・B 各 1)・φ 4 × 13 ゴムワッシャー付セルフドリリングビス (6)
落ち葉避けネット		落ち葉避けネット (1)	

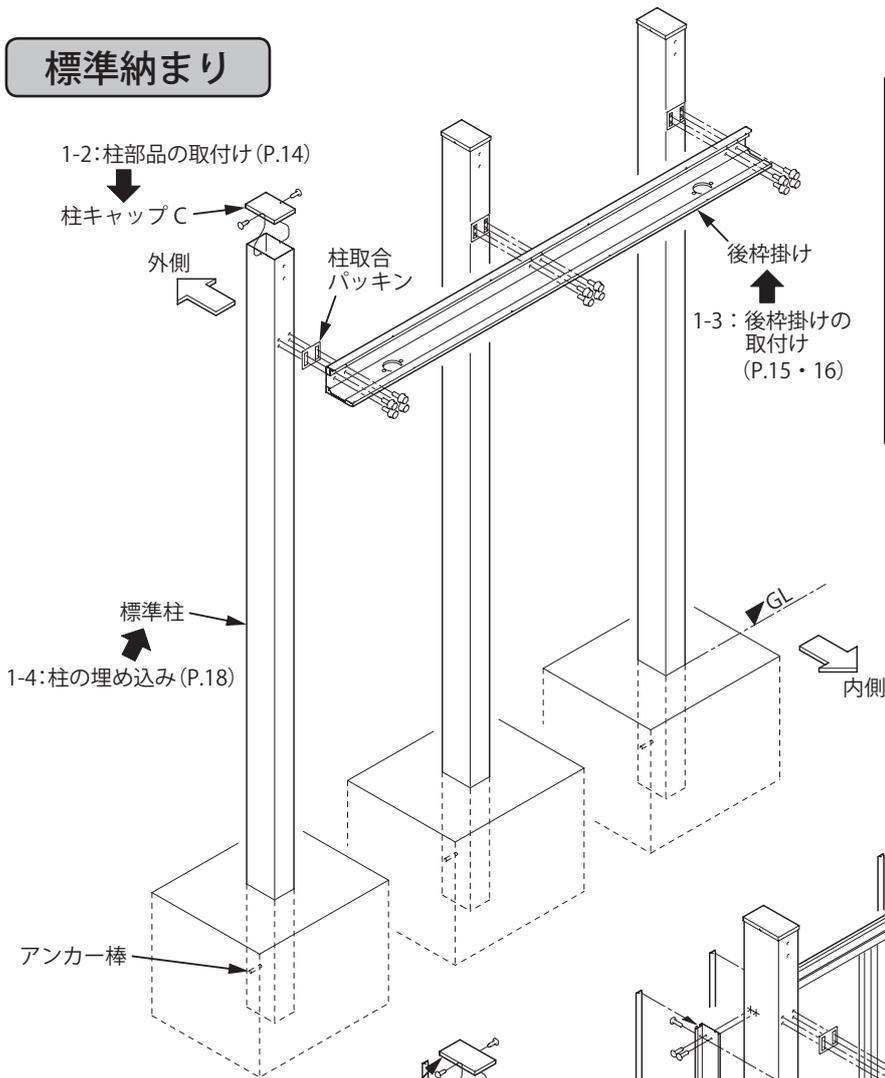


シーリング材は別途手配してください。

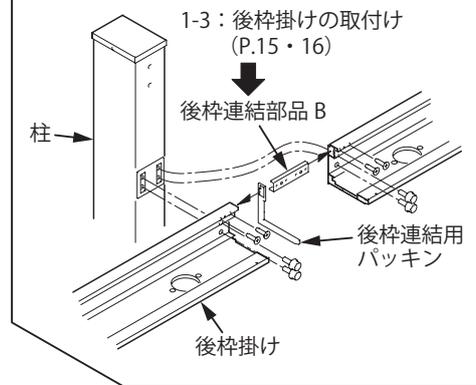
各部の名称

●組立施工および調整の説明項目を示しています。施工作业前に確認してください。
※ () 内は説明ページを示しています。

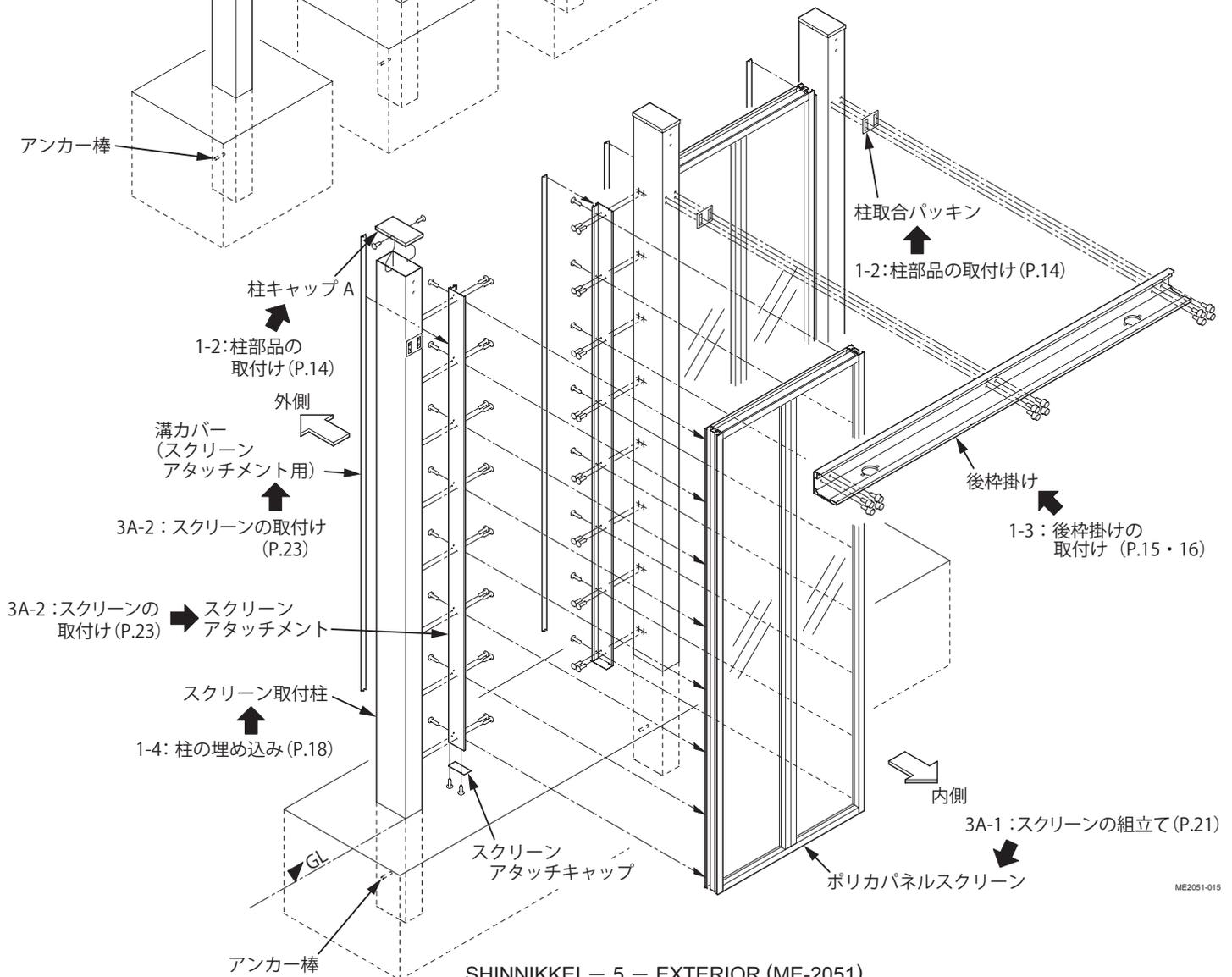
標準納まり



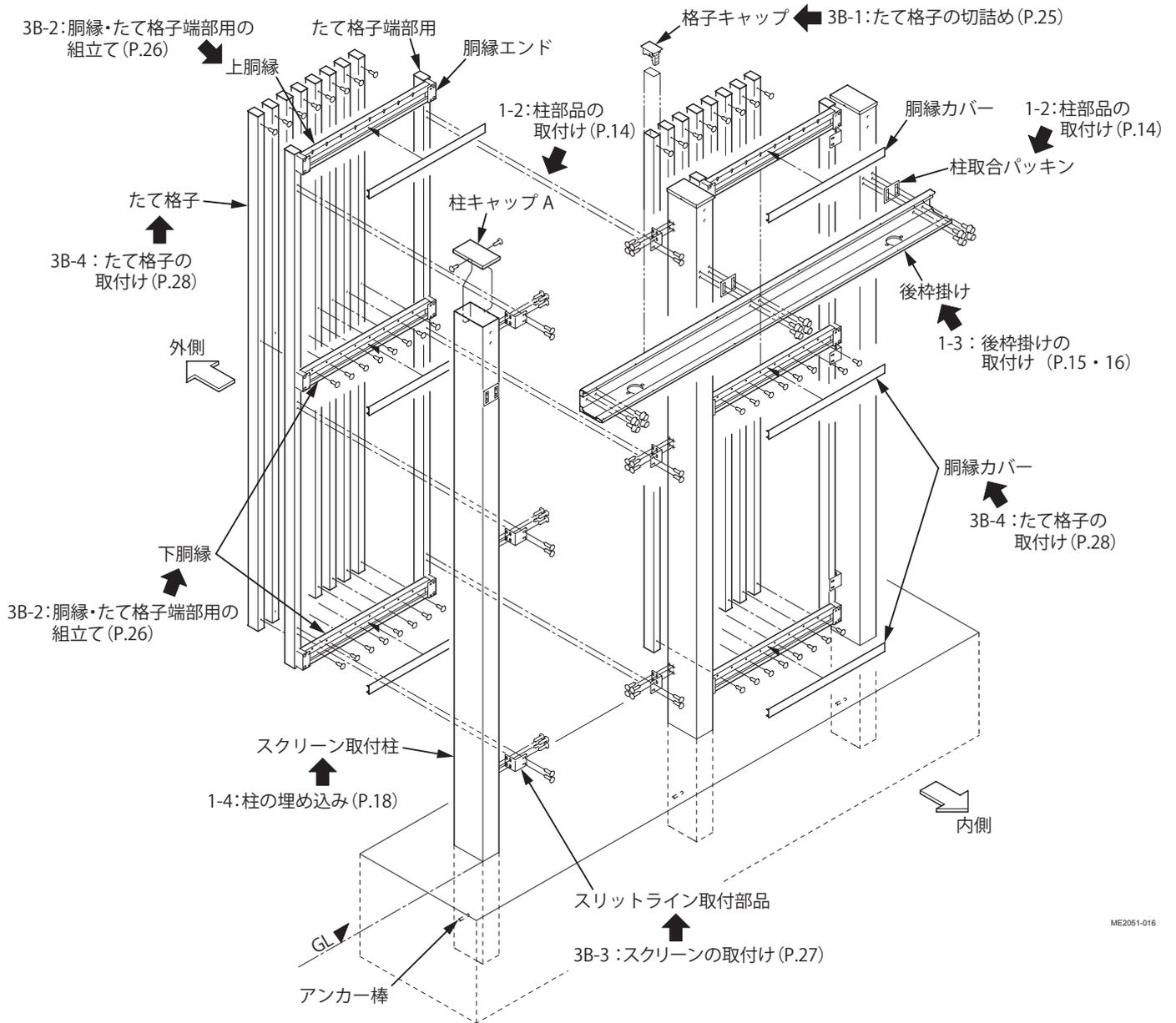
●連結部 (※連棟納まりの場合)



スクリーン (ポリカパネル) 納まり

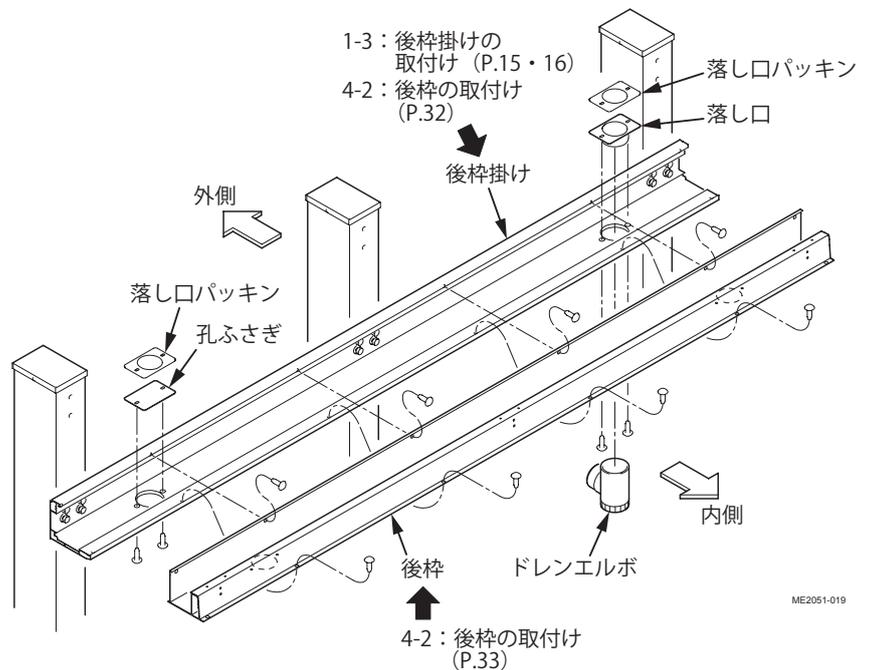
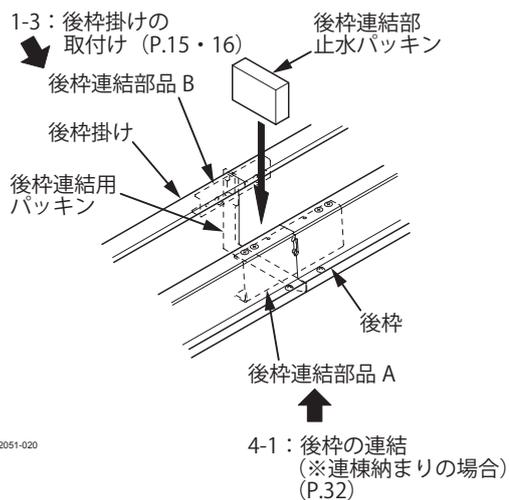


スクリーン (スリットライン) 納まり



後枠部

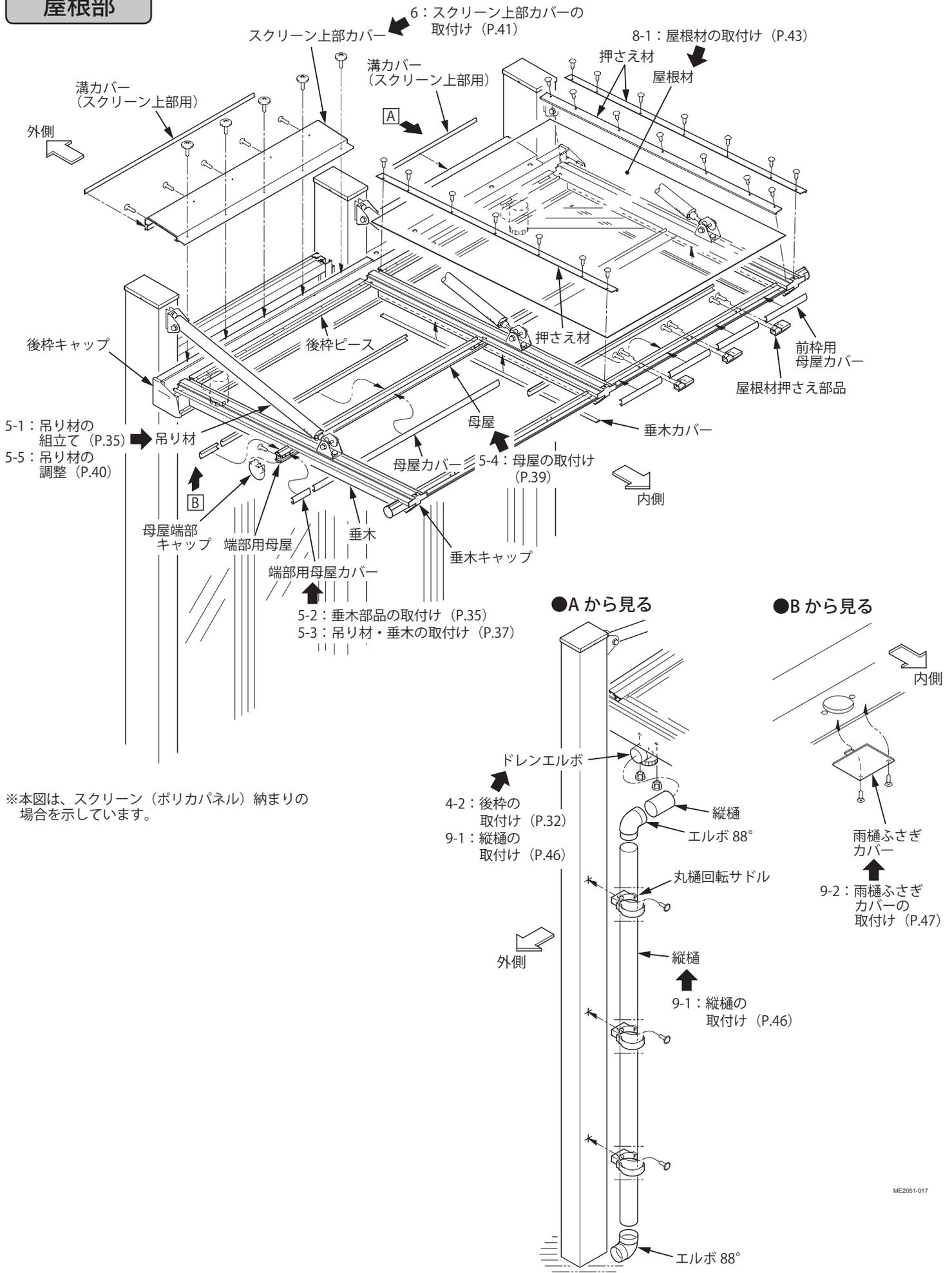
●連結部 (※連棟納まりの場合)

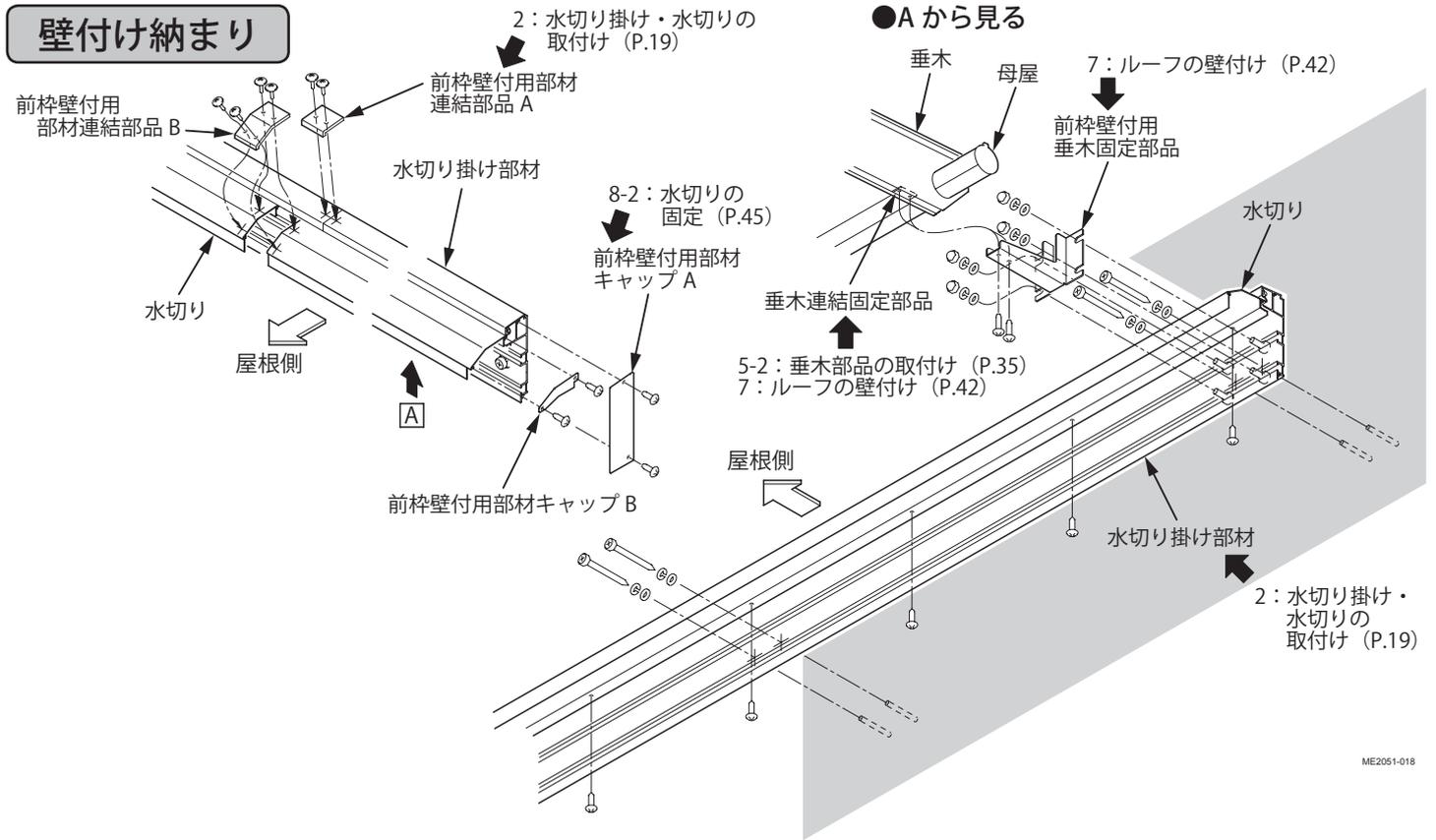


ME2051-020

ME2051-019

屋根部





納まり図

●施工前に必ず確認してください。



設置場所の地耐力によって基礎寸法が異なります。地耐力を測定し、右表で寸法を確認してください。

※地耐力に合わない寸法で施工すると、施工不良や破損事故の原因になります。

●標準納まり基礎寸法表

(mm)

H	地耐力	A × B			
		3尺	4尺	5尺	6尺
H23 ~ H29	30kN/m ²	400 × 550	500 × 550	600 × 600	450 × 連続基礎
	50kN/m ²	400 × 350	400 × 450	400 × 550	500 × 600
	100kN/m ²	400 × 300	400 × 300	400 × 300	400 × 350
	200kN/m ²	400 × 300	400 × 300	400 × 300	400 × 300
H33	30kN/m ²	500 × 550	600 × 550	500 × 連続基礎	600 × 連続基礎
	50kN/m ²	400 × 450	400 × 500	400 × 600	600 × 600
	100kN/m ²	400 × 300	400 × 300	400 × 350	400 × 400
	200kN/m ²	400 × 300	400 × 300	400 × 300	400 × 300

●スクリーン納まり基礎寸法表

(mm)

H	地耐力	A × B			
		3尺	4尺	5尺	6尺
H23	30kN/m ²	650 × 連続基礎	700 × 連続基礎	750 × 連続基礎	800 × 連続基礎
	50kN/m ²	600 × 連続基礎	600 × 連続基礎	600 × 連続基礎	600 × 連続基礎
	100kN/m ²	600 × 450	600 × 450	600 × 500	600 × 550
	200kN/m ²	600 × 300	600 × 300	600 × 300	600 × 300
H26	30kN/m ²	750 × 連続基礎	800 × 連続基礎	850 × 連続基礎	900 × 連続基礎
	50kN/m ²	600 × 連続基礎	600 × 連続基礎	650 × 連続基礎	700 × 連続基礎
	100kN/m ²	400 × 300	400 × 300	400 × 350	400 × 400
	200kN/m ²	600 × 300	600 × 300	600 × 350	600 × 350
H29	30kN/m ²	900 × 連続基礎	950 × 連続基礎	950 × 連続基礎	1050 × 連続基礎
	50kN/m ²	700 × 連続基礎	750 × 連続基礎	800 × 連続基礎	850 × 連続基礎
	100kN/m ²	600 × 600	600 × 連続基礎	600 × 連続基礎	600 × 連続基礎
	200kN/m ²	600 × 350	600 × 400	600 × 400	600 × 450
H33	30kN/m ²	1050 × 連続基礎	1100 × 連続基礎	1100 × 連続基礎	1150 × 連続基礎
	50kN/m ²	850 × 連続基礎	900 × 連続基礎	950 × 連続基礎	1000 × 連続基礎
	100kN/m ²	600 × 連続基礎	600 × 連続基礎	600 × 連続基礎	600 × 連続基礎
	200kN/m ²	600 × 450	600 × 450	600 × 500	600 × 500



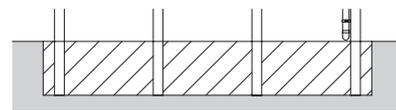
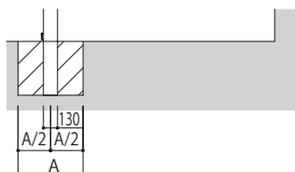
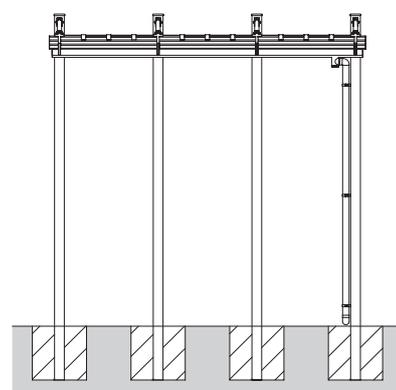
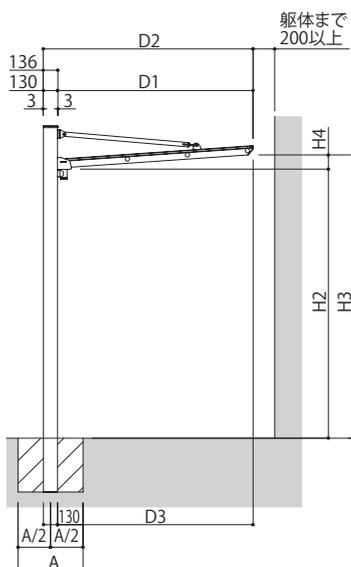
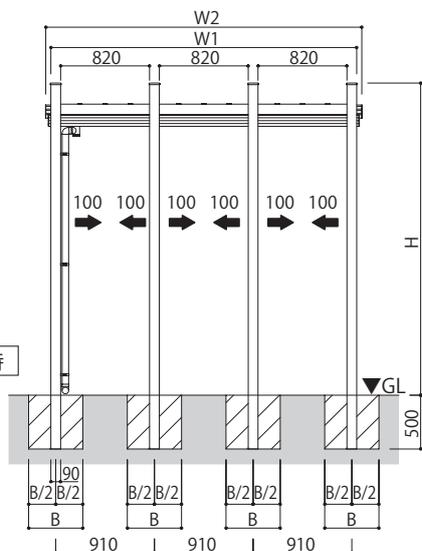
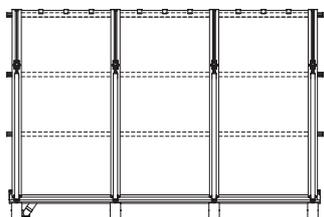
- 間口 0.5 間につき、柱 2 本です。柱芯々寸法は標準 910mm です。
- 標準納まりの場合のみ、柱の移動が可能です。
- 入隅納まりと接続する場合、ルーフの出巾は 5 尺までです。

標準納まり

※本図は、出巾 6 尺・間口 1.5 間・H29 の場合を示しています。
 ※ ←印は柱移動範囲を示しています。(柱移動金具使用時)
 ※基礎寸法は、8 ページの「基礎寸法表」を参照してください。



- 端部柱は隣接する柱側へのみ、最大 100mm 移動できます。
- 中間柱は左右にそれぞれ最大 100mm 移動できます。
- 連棟納まりの場合、連結部の柱も左右に最大 100mm 移動できます。

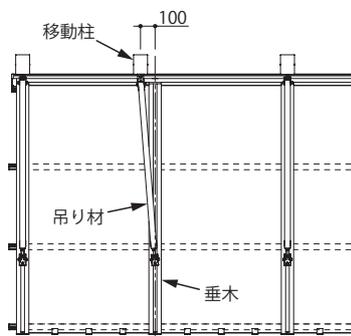


ME2051-001

独立基礎時

連続基礎時

柱移動時・上面図



ME2051-011

※本図は、出巾 6 尺の中間柱を右に 100mm 移動した場合は示しています。

●基本寸法表

(mm)

H	H2	H3			
		3 尺	4 尺	5 尺	6 尺
H23	1900	1969	1990	2011	2032
H26	2200	2269	2290	2311	2332
H29	2500	2569	2590	2611	2632
H33	2900	2969	2990	3011	3032

(mm)

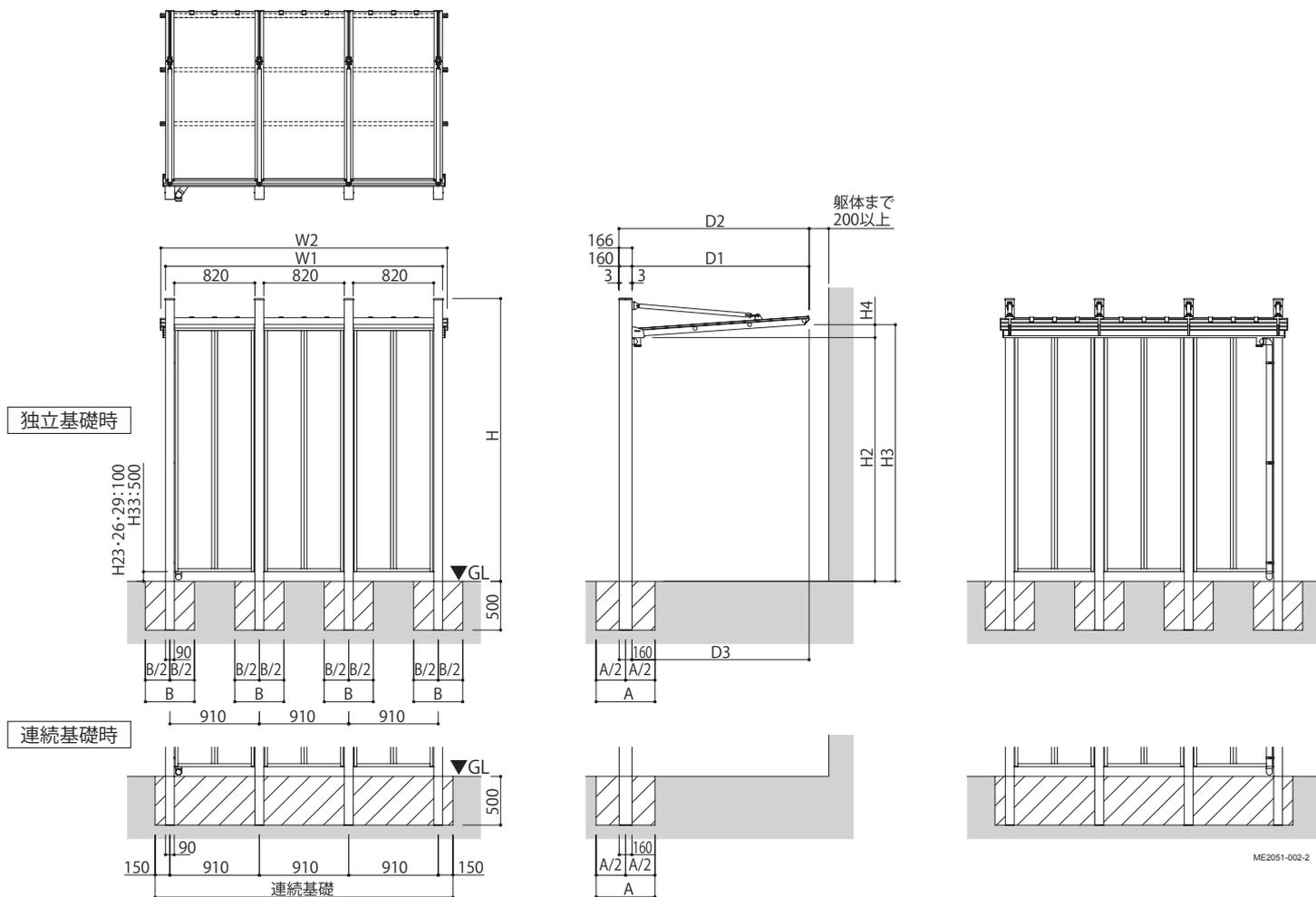
出巾	H4	D1	D2	D3
3 尺	69	905	1038	905
4 尺	90	1204	1337	1204
5 尺	111	1503	1636	1503
6 尺	132	1803	1936	1803

(mm)

間口	W1	W2
1.0 間	1910	2004
1.5 間	2820	2914
2.0 間	3730	3824
2.5 間	4640	4734
3.0 間	5550	5644
3.5 間	6460	6554
4.0 間	7370	7464

スクリーン (ポリカパネル) 納まり

※本図は、出巾 6 尺・間口 1.5 間・H29 の場合を示しています。
 ※基礎寸法は、8 ページの「基礎寸法表」を参照してください。



●基本寸法表

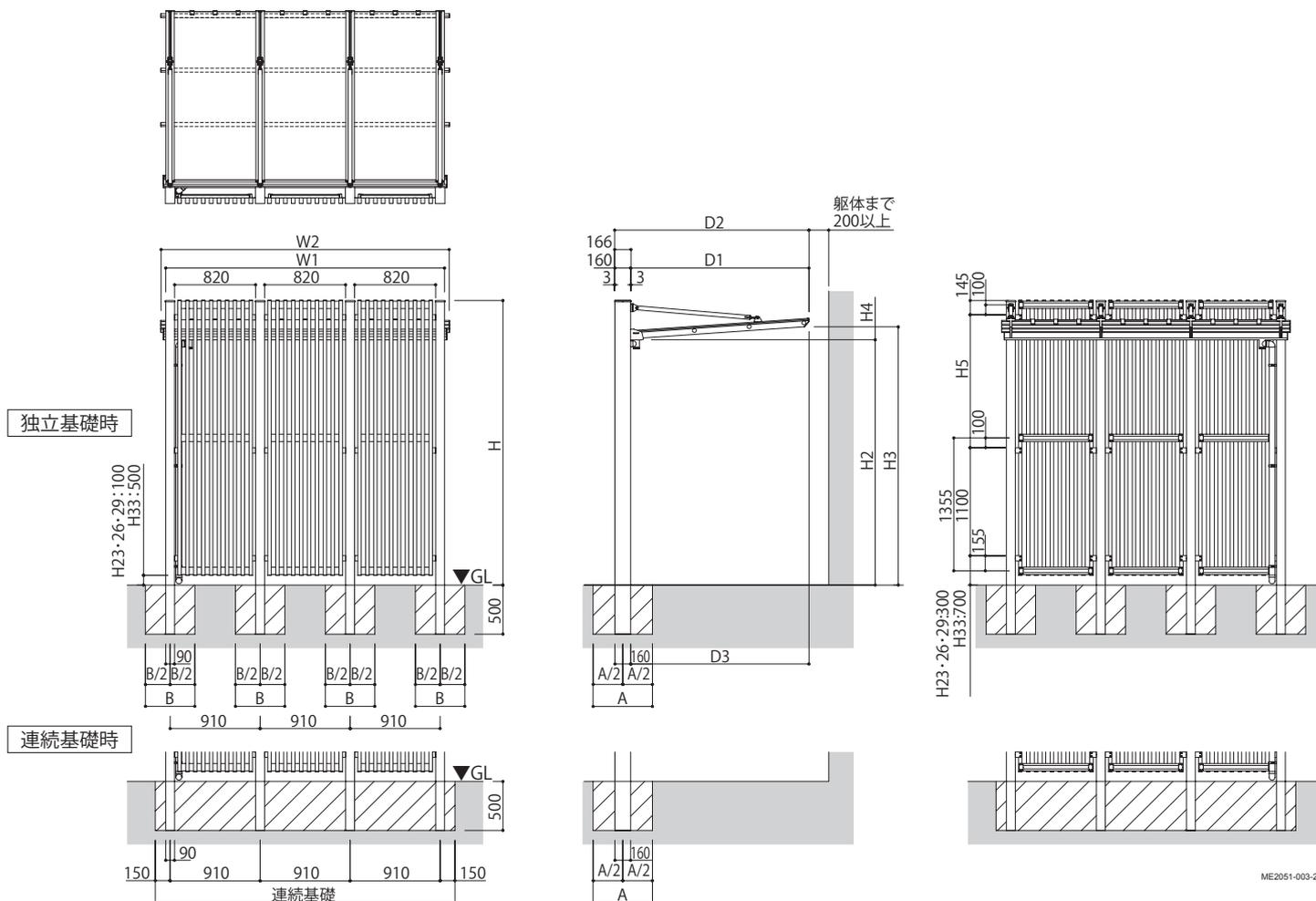
H	H2	H3			
		3 尺	4 尺	5 尺	6 尺
H23	1900	1969	1990	2011	2032
H26	2200	2269	2290	2311	2332
H29	2500	2569	2590	2611	2632
H33	2900	2969	2990	3011	3032

出巾	H4	D1	D2	D3
3 尺	69	905	1068	905
4 尺	90	1204	1367	1204
5 尺	111	1503	1666	1503
6 尺	132	1803	1966	1803

間口	W1	W2
1.0 間	1910	2004
1.5 間	2820	2914
2.0 間	3730	3824
2.5 間	4640	4734
3.0 間	5550	5644
3.5 間	6460	6554
4.0 間	7370	7464

スクリーン (スリットライン) 納まり

※本図は、出巾6尺・間口1.5間・H29の場合を示しています。
 ※各寸法は、10ページの「基本寸法表」を参照してください。
 ※基礎寸法は、8ページの「基礎寸法表」を参照してください。

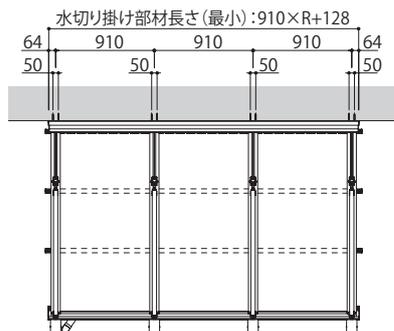
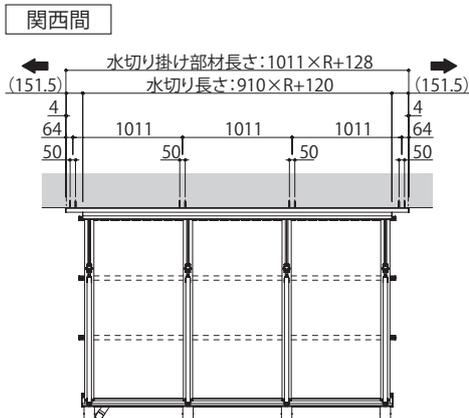
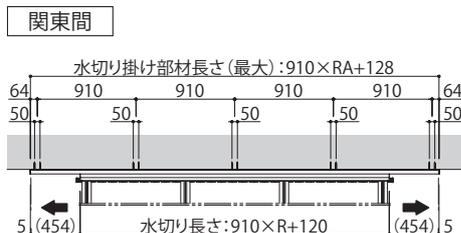


ME2051-003-2

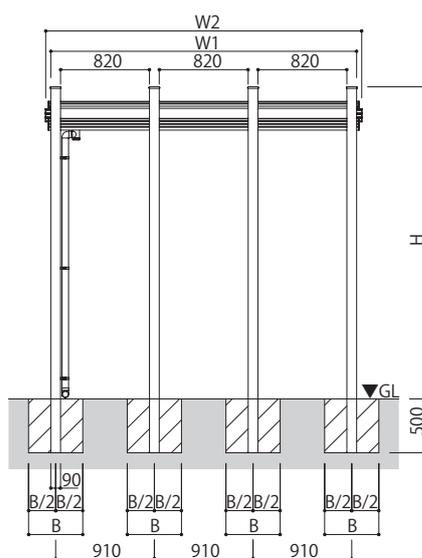
壁付け納まり

※本図は、出巾 6 尺・間口 1.5 間・H29・標準納まりの場合を示しています。
 ※ ←印は移動可能範囲を示しています。
 ※基礎寸法は、8 ページの「基礎寸法表」を参照してください。

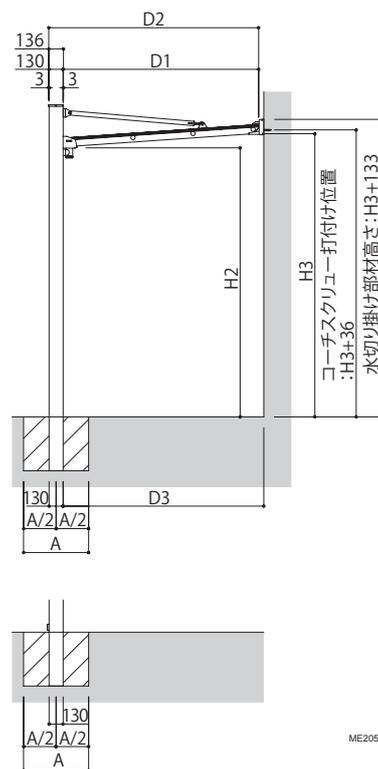
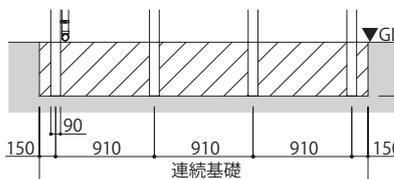
R=屋根材枚数
 RA=垂木本数



独立基礎時



連続基礎時



●基本寸法表

H	H2	H3			
		3 尺	4 尺	5 尺	6 尺
H23	1900	1969	1990	2011	2032
H26	2200	2269	2290	2311	2332
H29	2500	2569	2590	2611	2632
H33	2900	2969	2990	3011	3032

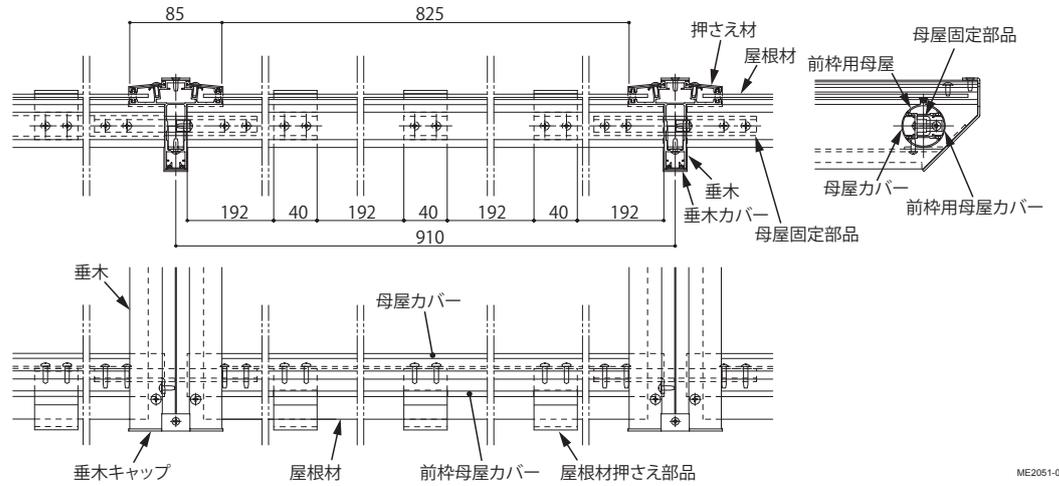
出巾	D1	D2	D3
3 尺	905	1038	950
4 尺	1204	1337	1250
5 尺	1503	1636	1550
6 尺	1803	1936	1850

間口	W1	W2	R	RA
1.0 間	1910	2004	2	3
1.5 間	2820	2914	3	4
2.0 間	3730	3824	4	5
2.5 間	4640	4734	5	6
3.0 間	5550	5644	6	7
3.5 間	6460	6554	7	8
4.0 間	7370	7464	8	9

詳細図

●施工前に必ず確認してください。

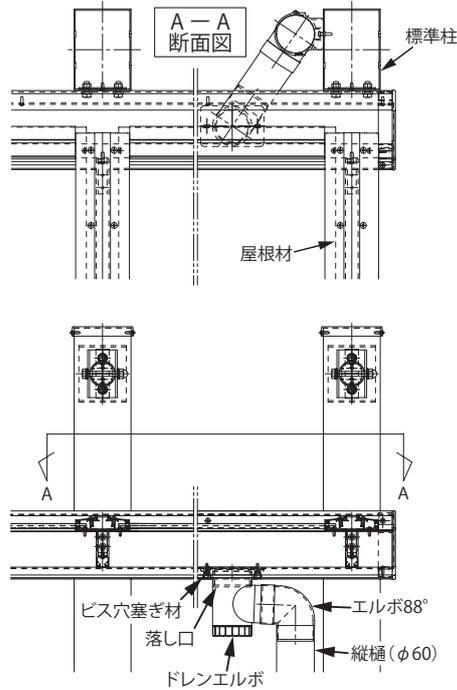
垂木先端部



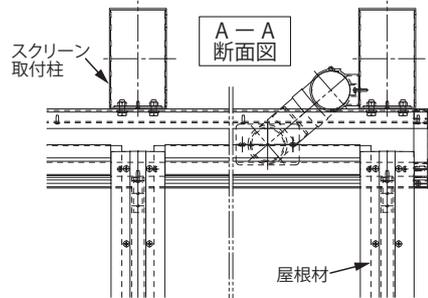
ME2051-008

後枠・雨樋部

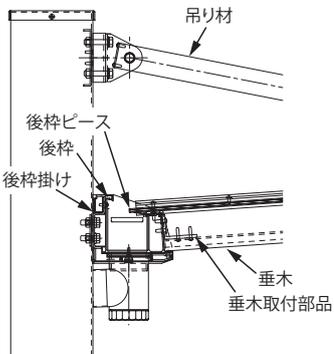
●標準柱



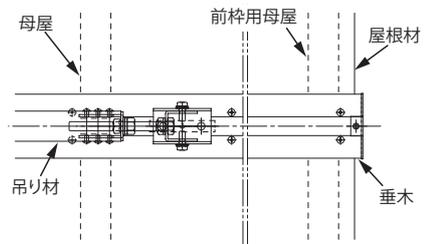
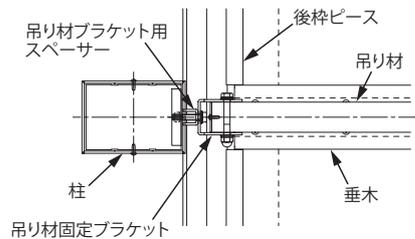
●スクリーン柱



ME2051-009



吊り材部

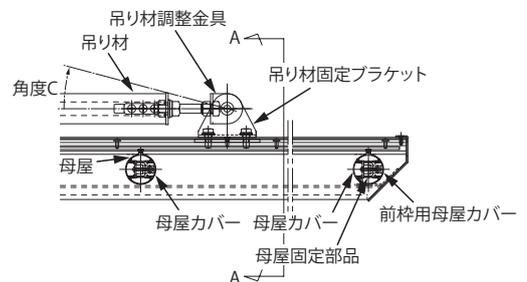
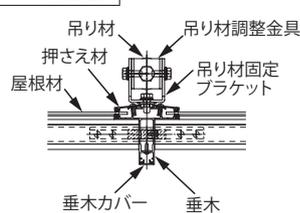


ME2051-010

●基本寸法表

出巾	角度C
3尺	18.93°
4尺	15.12°
5尺	11.22°
6尺	8.91°

A-A 断面図



1

柱の設置

- 「納まり図」を参照して、柱の位置・基礎寸法を確認してください。
- 地下埋設物（給排水管など）に影響を及ぼさないように柱の位置を決めてください。

1-1 施工前の確認

⚠注意

必ず、施工前に地盤の地耐力を確認し、30kN/㎡未満の場合は設置しないでください。



- 設置条件を確認してください。
- 「納まり図」で取付位置と寸法を確認してください。

1-2 柱部品の取付け

- ①柱キャップを柱に取付けてください。
- ②柱取合パッキンを柱に貼付けてください。



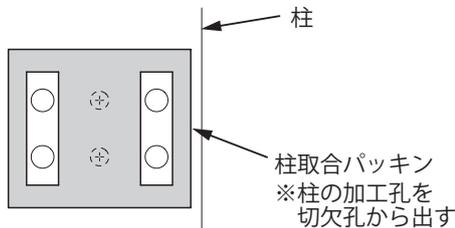
7尺～9尺屋根の場合は、9尺屋根用施工説明書 [ME-2120] を参照してください。



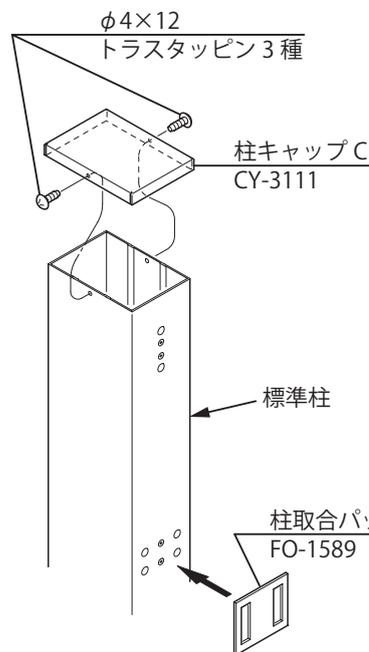
柱の加工孔が全てパッキンの切欠孔から見えるようにしてください。

●柱取合パッキンの取付け

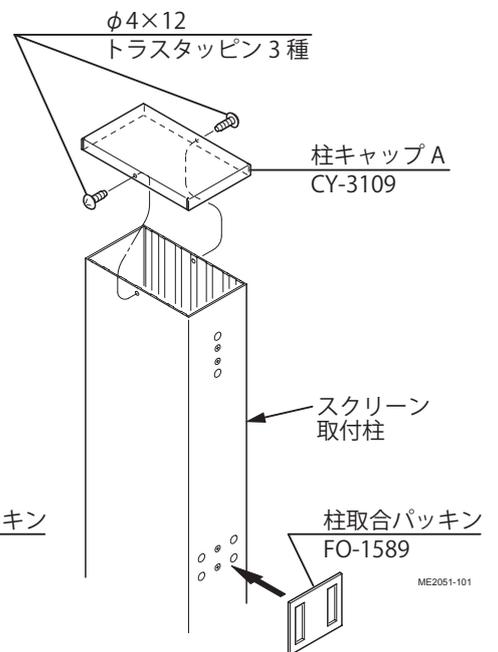
ME2050-113



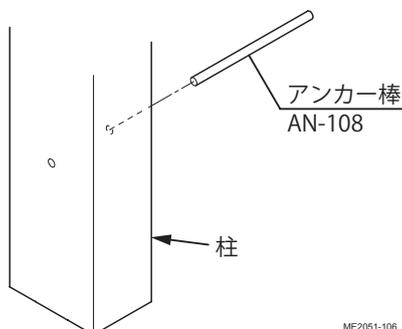
●標準納まり



●スクリーン納まり



- ③アンカー棒を柱下部に差し込んでください。



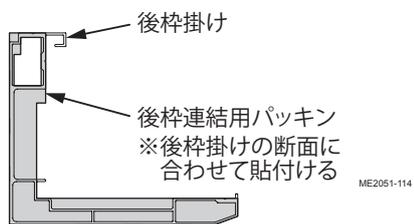
1-3A 後枠掛けの取付け (※単体納まり・連棟納まりの場合)

「手順①・②」は、連棟納まりの場合にのみ参照してください。
※単体納まりの場合には不要です。

連棟納まりの場合、後枠掛けには中間用・端部用 L・端部用 R があります。位置と種類を確認して連結させてください。

①後枠連結用パッキンを後枠掛けに貼付けてください。

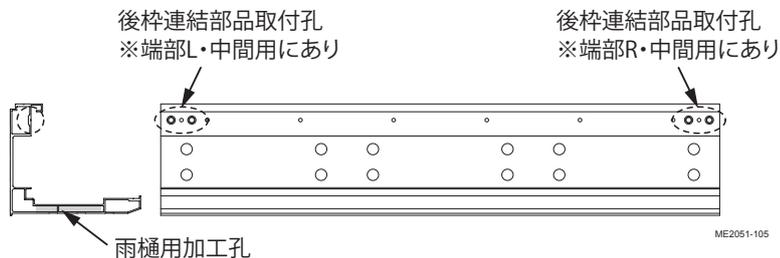
●後枠連結用パッキンの貼付け



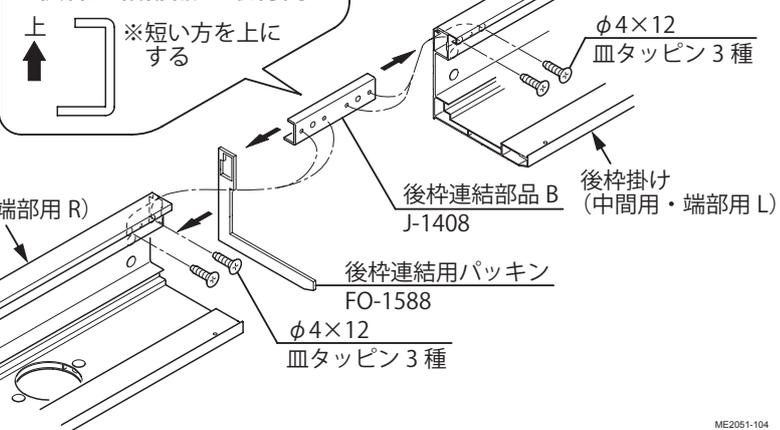
②後枠連結部品 B を後枠掛けに取付けて連結させてください。

連結部品を後枠掛けに差し込んでください。

●後枠掛け(中間用・端部L用/R用)



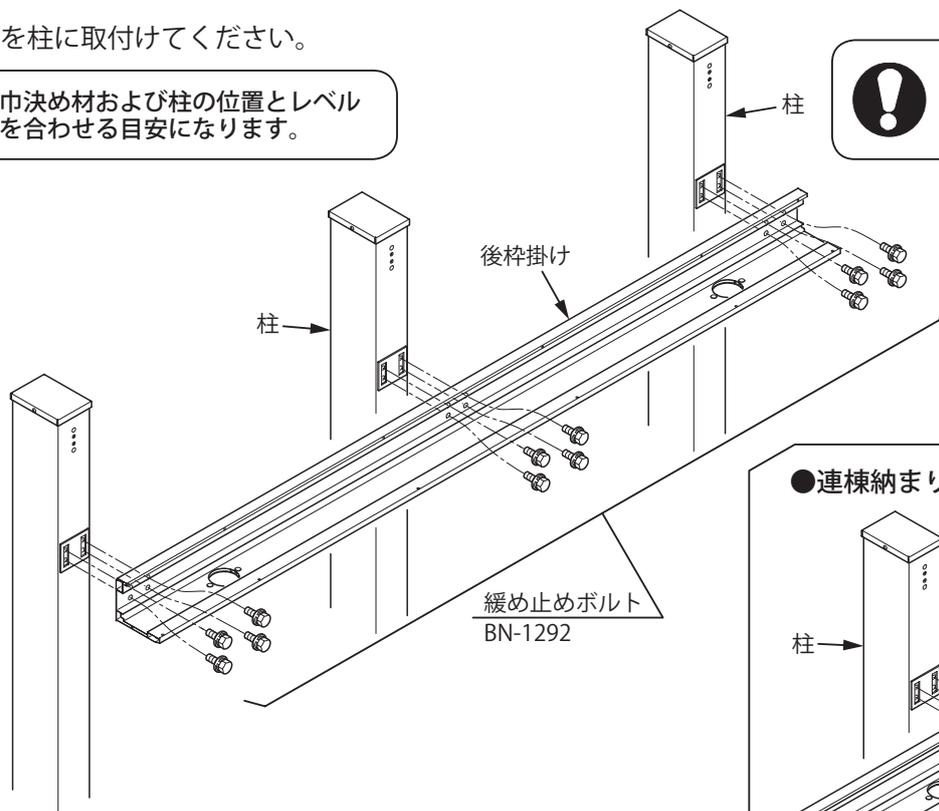
●後枠連結部品 B 取付向き



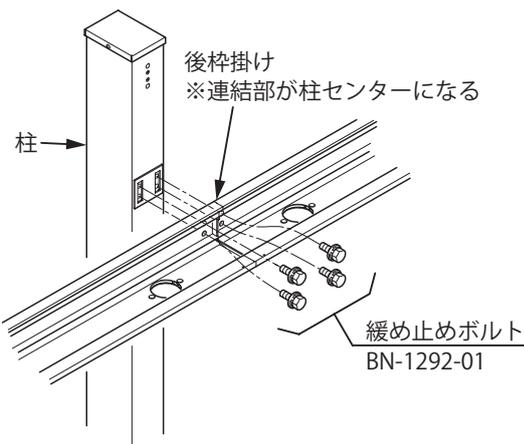
③後枠掛けを柱に取付けてください。

巾決め材および柱の位置とレベルを合わせる目安になります。

7尺～9尺屋根の場合、9尺屋根用施工説明書 [ME-2120] を参照してください。



●連棟納まりの場合



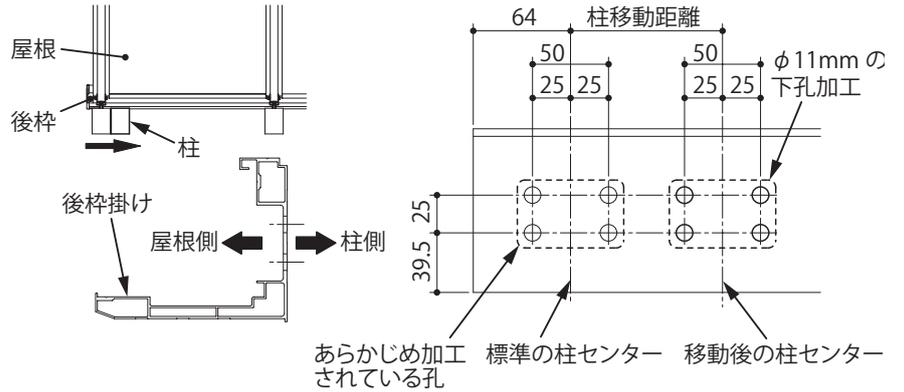
1-3B 後枠掛けの取付け (※柱移動を行う場合)

端部柱を移動する場合

①後枠掛けの柱移動位置にφ11mmの下孔を4ヶ所あけてください。



端部柱は隣接する柱側へのみ、最大100mm移動できます。



※本図は、左端部の場合を示しています。

ME2051-108

中間部・連結部の柱を移動する場合



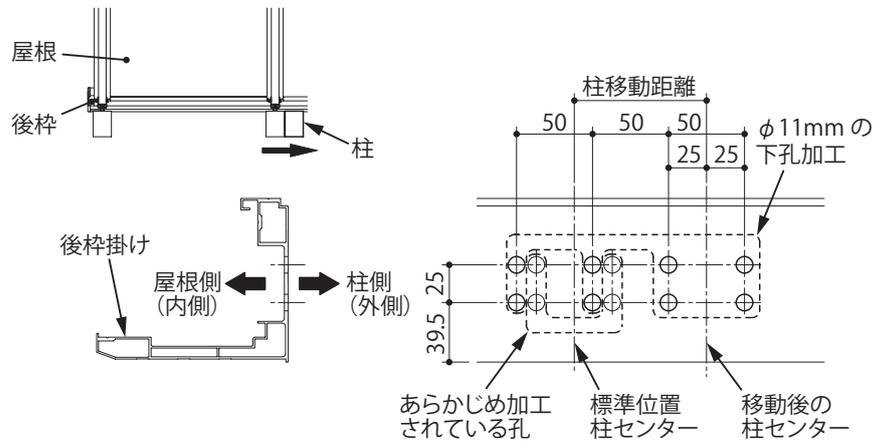
連棟納まりで柱移動を行う場合、「1-3A.」の「手順①・②」を参照して先に後枠掛けを連結してください。

①後枠掛けの柱移動位置にφ11mmの下孔を8ヶ所あけてください。

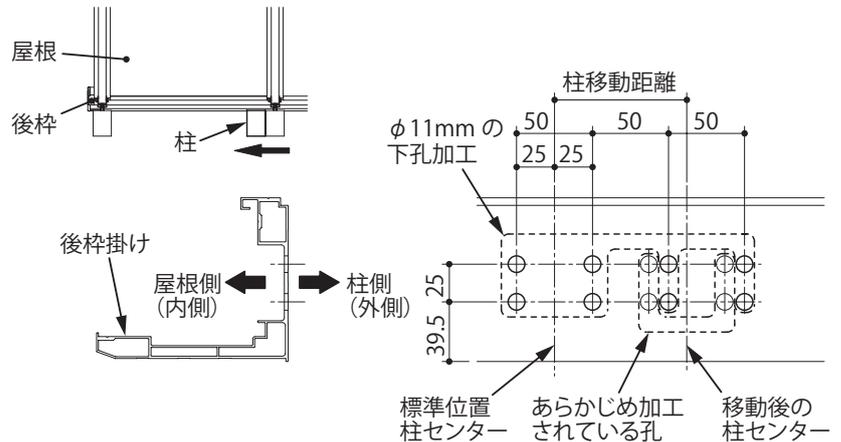


中間柱・連結部の柱は左右に最大100mm移動できます。

●右側に移動する場合



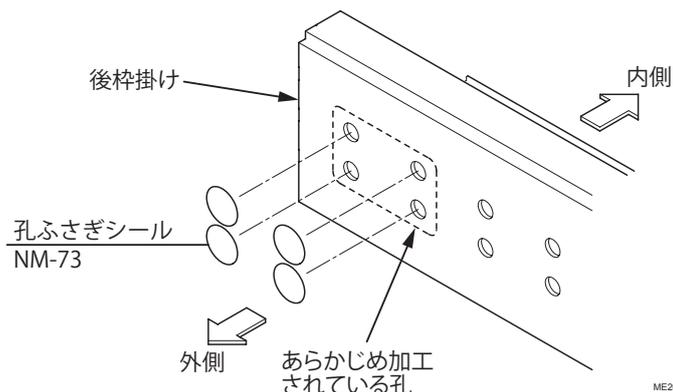
●左側に移動する場合



ME2051-109

端部柱を移動する場合

②元の加工孔を孔ふさぎシールでふさいでください。



ME2051-110

柱移動共通

※③～⑤

③柱取合パッキンを柱移動金具に貼付けてください。



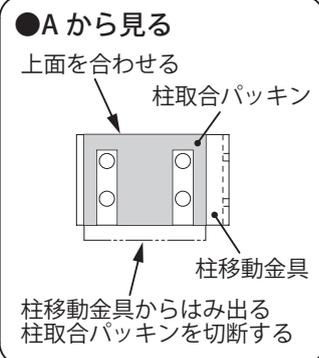
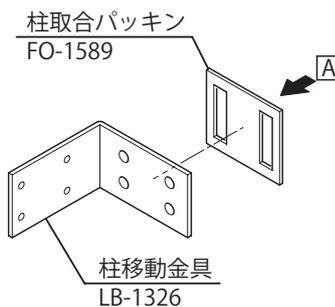
はみ出した部分は切断してください。

④柱移動金具を後枠掛けに取付けてください。

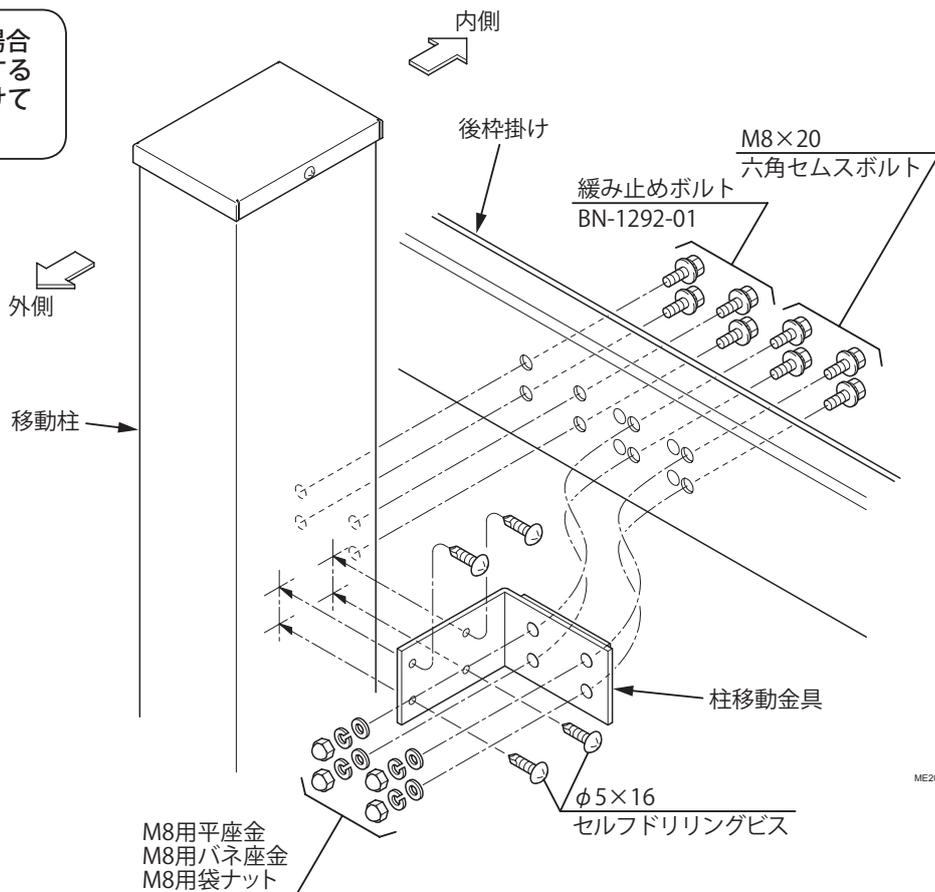


移動金具は、柱を右移動する場合は左側の4つの孔に、左移動する場合は右側の4つの孔に取付けてください。

⑤後枠掛けを柱に取付けてください。



ME2051-111



ME2051-112

端部柱を移動する場合

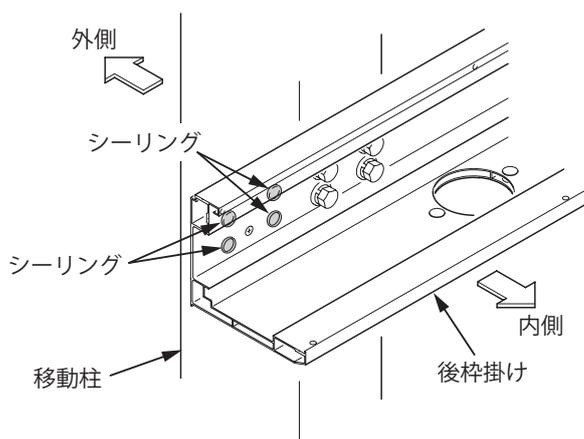
⑥孔ふさぎシールでふさいだ孔にシーリング処理を行ってください。

中間部・連結部の柱を移動する場合

⑥柱取合パッキンでふさがらない孔にシーリング処理を行ってください。



シーリング処理は確実に行ってください。
※防水が不完全だと、雨漏りなどの原因になります。



ME2051-113

※本図は、端部柱を移動する場合を示しています。

1-4 柱の埋め込み



スリットラインスクリーンを取付ける場合は、柱の埋め込みの前に「3B-1.」～「3B-3.」を行ってスクリーンの取付けを完了させておくと、巾決めが容易になります。

①「納まり図」で位置や寸法を確認し、柱を設置してください。



柱の位置とレベルを正確に合わせてください。

※正確に合わせないと、施工不良の原因になります。



壁付け納まりの場合は、躯体との距離を正確に合わせてください。

※正確に合わせないと、ルーフの壁付けができなくなります。



地下埋設物（給排水管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。



GL表示を目安にしてください。



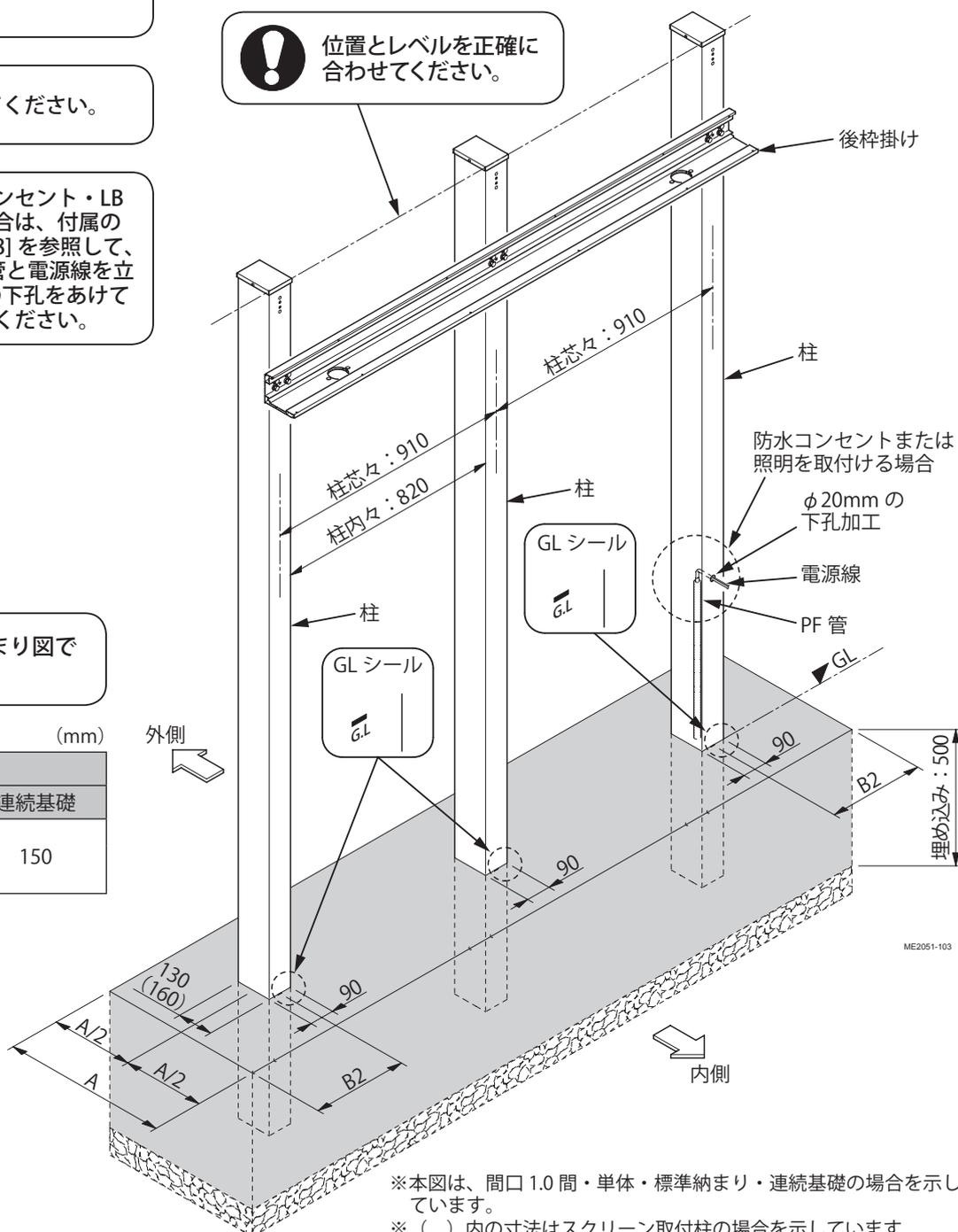
オプションの防水コンセント・LB型照明を取付ける場合は、付属の施工説明書 [ME-2058] を参照して、取付ける柱内に PF 管と電源線を立ち上げ、φ 20mm の下孔をあけて電源線を引き出してください。



基礎寸法 A、B は納まり図で確認してください。

●基礎寸法表 (mm)

柱種類	B2	
	独立基礎	連続基礎
標準柱		
スクリーン取付柱	B/2	150



※本図は、間口 1.0 間・単体・標準納まり・連続基礎の場合を示しています。

※ () 内の寸法はスクリーン取付柱の場合を示しています。

※柱移動時は、現場にて寸法を合わせてください。

2

水切り掛け・水切りの取付け

(※壁付け納まりの場合)

●壁付け納まりの場合に参照してください。

- ①「納まり図」を参照して、取付位置を決めてください。
- ②φ 6.5mm・深さ 55mm の下孔を躯体にあけてください。

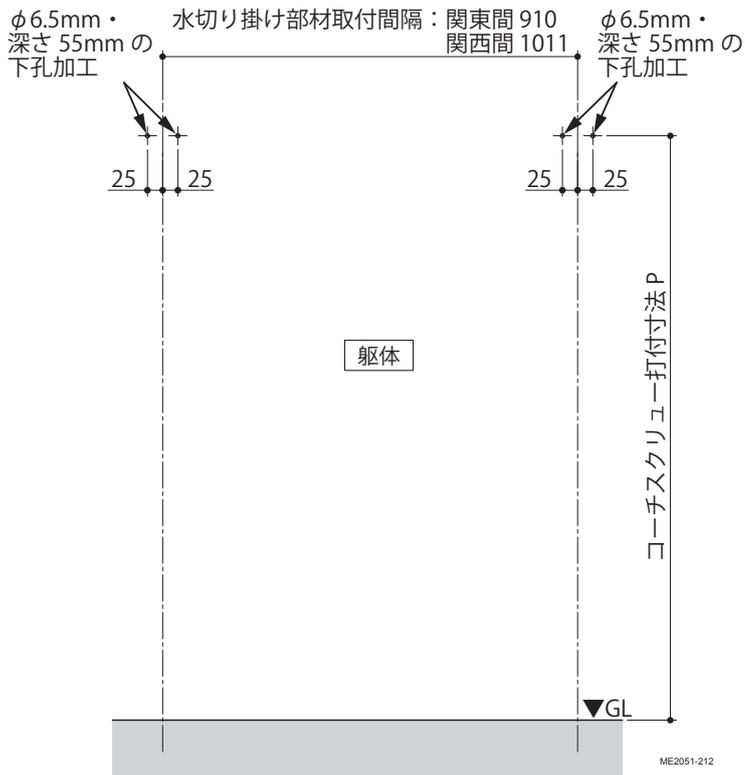


7尺～9尺屋根の場合、9尺屋根用施工説明書 [ME-2120] を参照してください。



- 下孔加工は柱部または梁部に行ってください。壁面に行く場合は、壁の厚さが十分あることを確認してください。
- 下孔は指定以下の寸法にしてください。
- 下孔には別途手配にてコーキング処理をしてください。

●下孔加工寸法



●寸法一覧表

(mm)

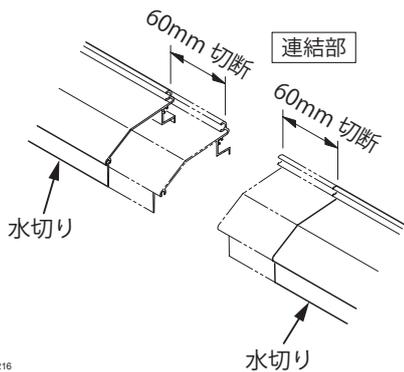
出巾	コーチスクリュー打付寸法 P			
	H23	H26	H29	H33
3尺	2005	2305	2605	3005
4尺	2026	2326	2626	3026
5尺	2047	2347	2647	3047
6尺	2068	2368	2668	3068

- ③連棟納まりの場合は、水切りの連結部をそれぞれ切断してください。



切断寸法：60mm

●水切りの切断（連棟納まりの場合）

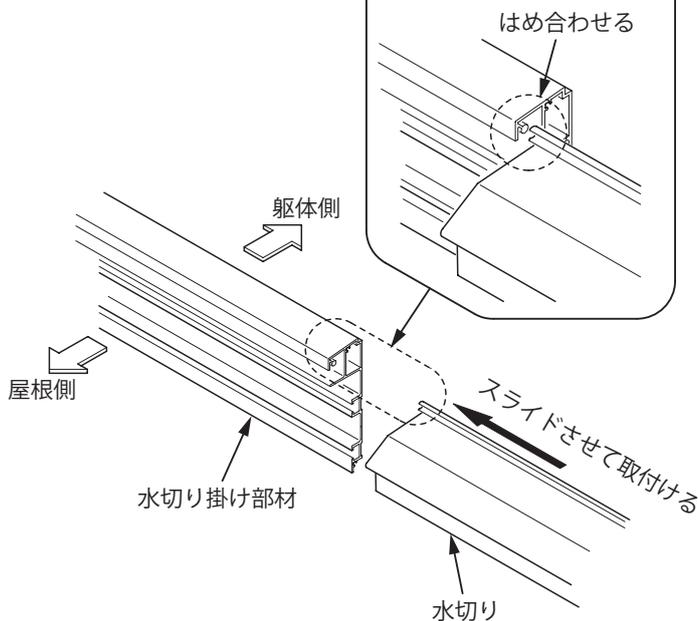


- ④水切りを水切り掛け部材に取付けてください。



水切りは屋根の施工後にビスで固定します。

●取付詳細図



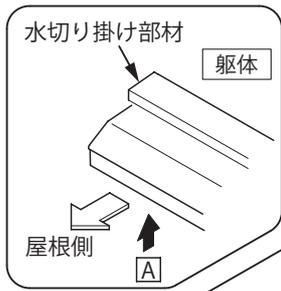
水切り掛け・水切りの取付け

⑤水切り掛け部材を躯体に取付けてください。

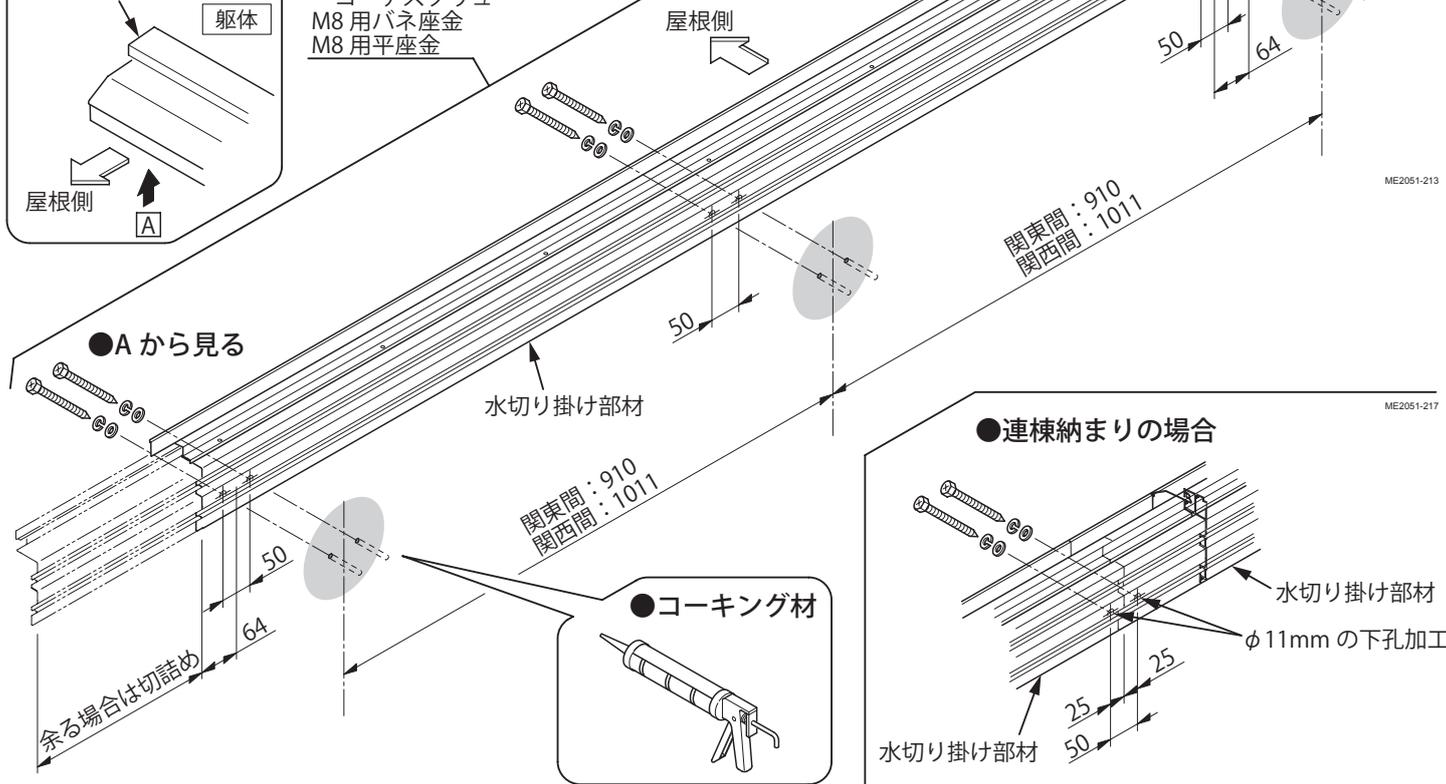
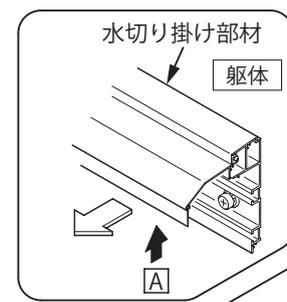
水切り掛け部材が余る場合は、現場合わせで切詰めてください。

連棟納まりの場合は、連結部を突き合わせて取付けてください。

下孔には別途手配にてコーキング処理をしてください。



M8×75
コーチスクリュー
M8用バネ座金
M8用平座金

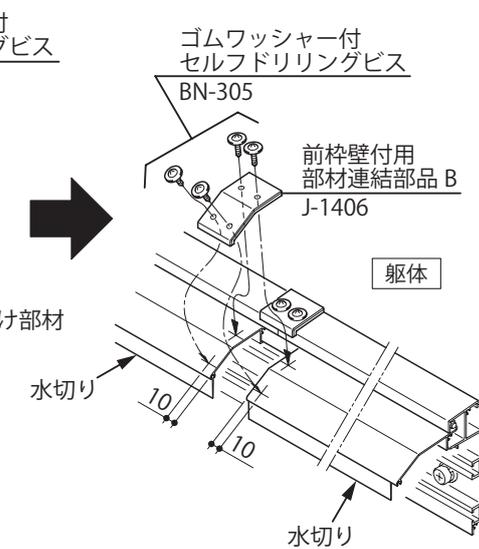
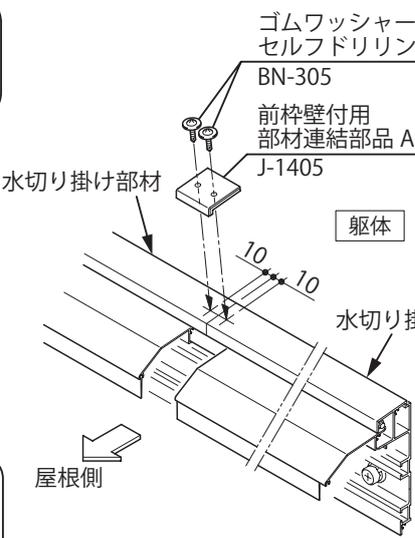
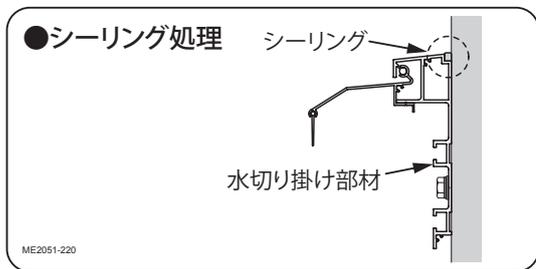


次の「手順⑥・⑦」は、連棟納まりの場合のみ参照してください。
※単体納まりの場合は不要です。

⑥前枠壁付用部材連結部品 A を水切り掛け部材に取付けて連結してください。

⑦前枠壁付用部材連結部品 B を水切りに取付けて連結してください。

⑧水切り掛け部材と躯体の隙間にシーリング処理を行ってください。



3A

スクリーンの取付け (※ポリカパネル納まりの場合)

●ポリカパネル納まりの場合に参照してください。

3A-1 スクリーンの組立て

①スクリーン中方立をスクリーン横枠に取付けてください。



内溝の先付ビードが同じ面になるようにしてください。

②下側のスクリーン横枠の内溝に、セッティングブロックを取付けてください。

③ポリカーボネート板のマス킹シートをはがしてください。



- マス킹シートは両面ともはがしてください。
- ポリカーボネート板には表裏の区別があります。
- マス킹シートの「こちらの面を太陽光に向けてください」という表示がある面が表面になります。はがす前に確認してください。

④ポリカーボネート板をスクリーン横枠にはめ込んでください。

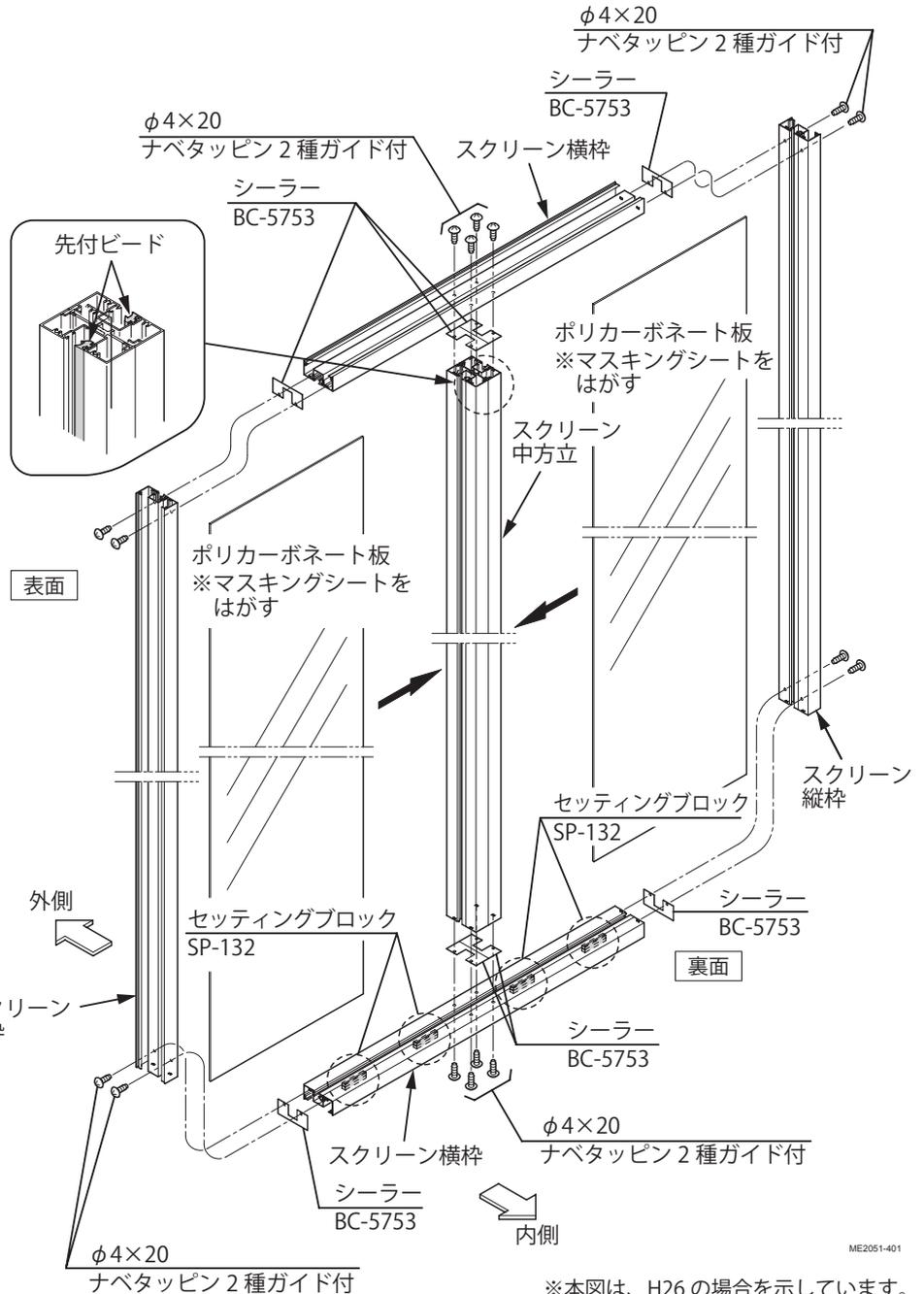


ポリカーボネート板の裏面を先付ビード側に向けてください。

⑤スクリーン縦枠をスクリーン横枠に取付けてください。



内溝の先付ビードが同じ面になるようにしてください。



ME2051-401

※本図は、H26 の場合を示しています。

スクリーンの取付け

⑥後付ビードをポリカーボネート板表面からスクリーン枠にはめ込み、ポリカーボネート板を固定してください。

●ポリカーボネート板を傷つけないように注意してください。



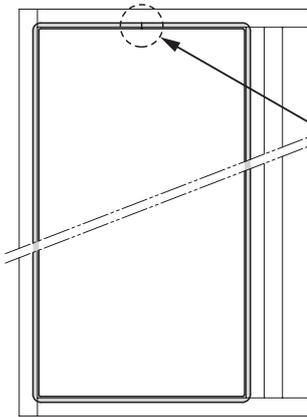
●ポリカーボネート板を四隅で均等に振り分け、たわみがないようにしてください。

※強く引っ張りながら押し込むと、施工後に延びた分が縮み、角部や合わせ目に隙間のできる原因となります。

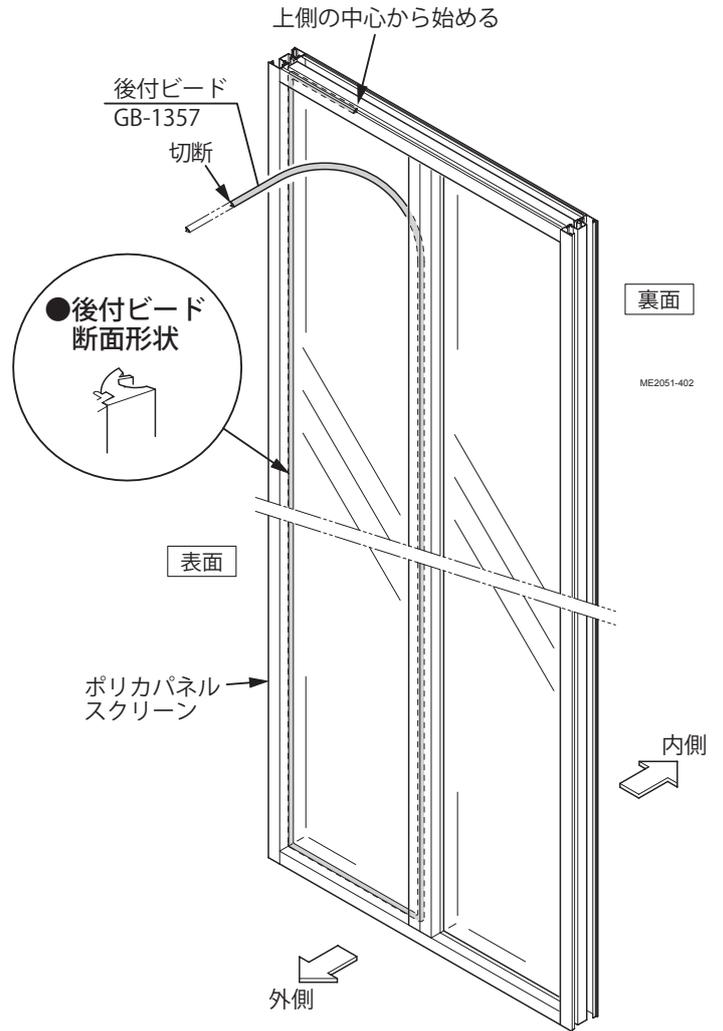
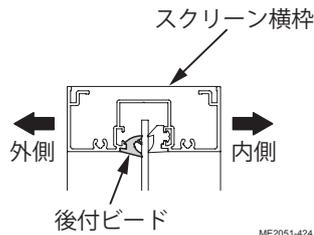


●後付ビードはパネル1枚分の長さになっています。

●パネル上部中央からヘラなどで押し込んでいき、余った部分は切断してください。

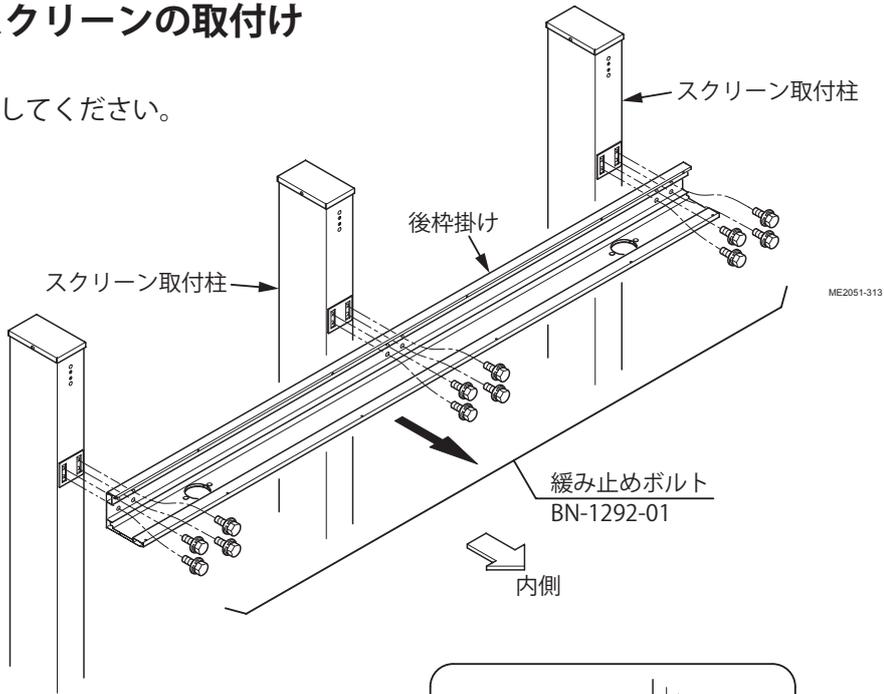


●後付ビード取付詳細図

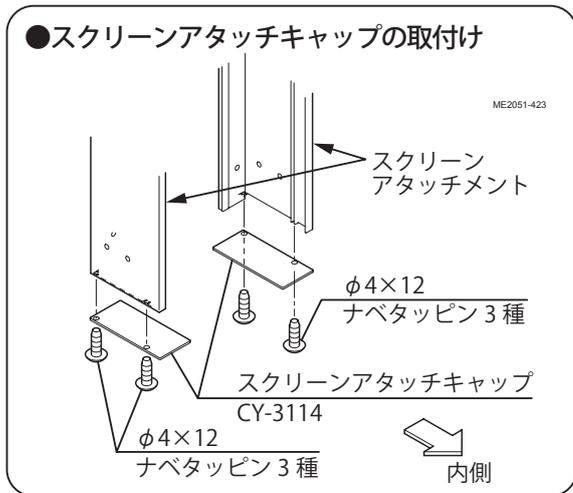


3A - 2 スクリーンの取付け

①後枠掛けを取外してください。

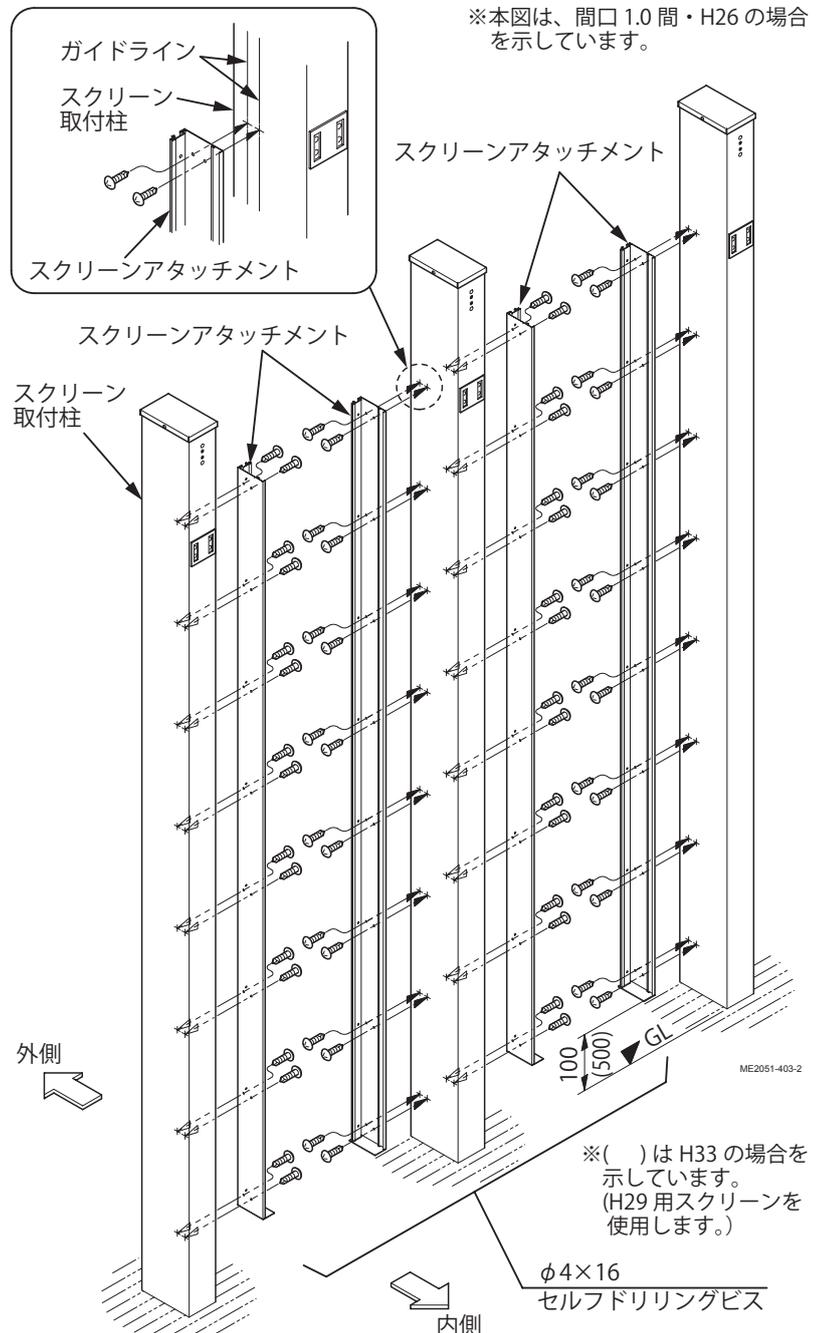
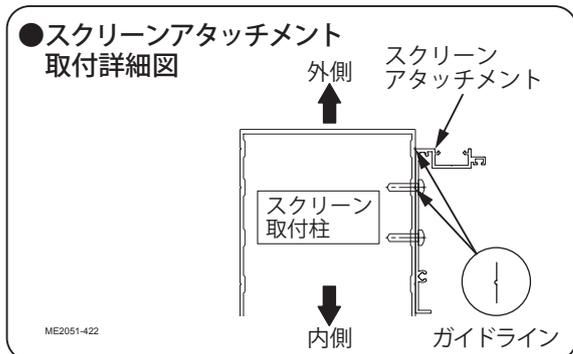


②スクリーンアタッチキャップをスクリーンアタッチメント下部に取付けてください。



③スクリーンアタッチメントをスクリーン取付柱に取付けてください。

- 向きを確認し、ガイドラインに合わせて取付けてください。
- レベルを正確に合わせてください。



スクリーンの取付け

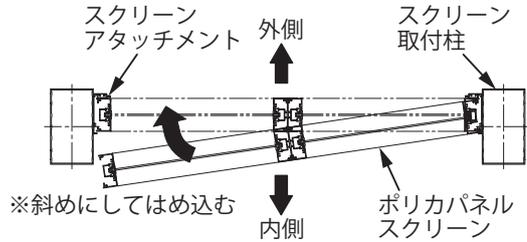
④ポリカパネルスクリーンをスクリーンアタッチメントに取付けてください。



- ポリカーボネート板の裏面を内側に向けてください。
- パネルがねじれていないことを確認してください。

●スクリーン取付方法

ME2051-425

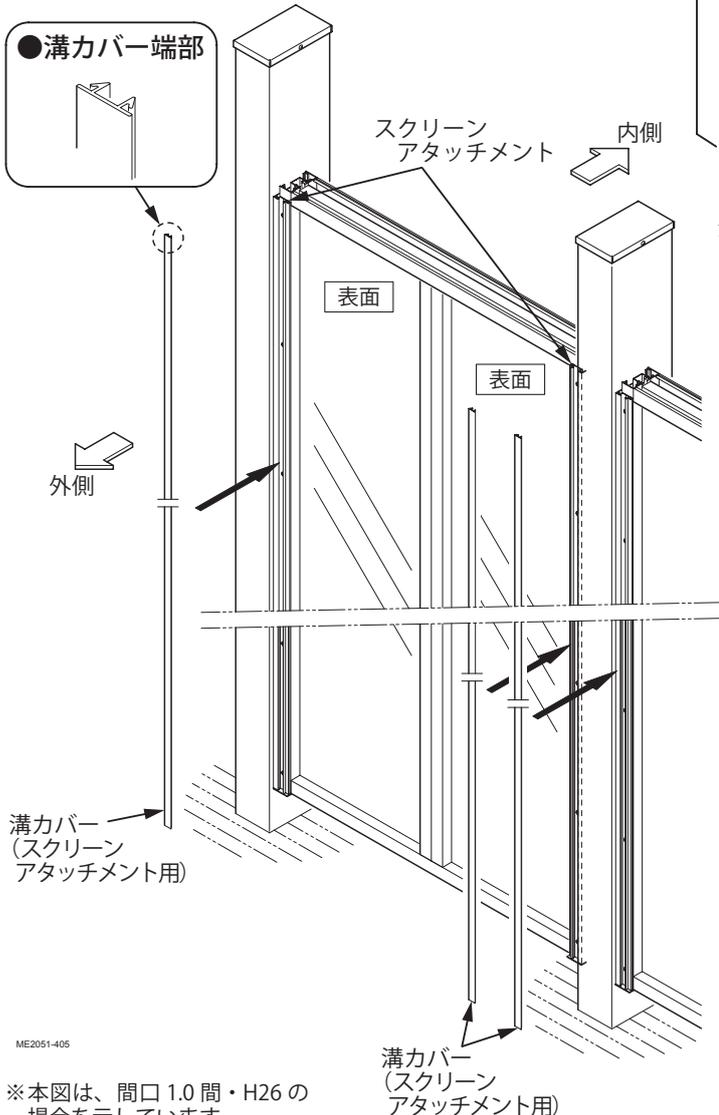


φ4×16
セルフドリリングビス
(細目)

⑤溝カバー（スクリーンアタッチメント用）を、スクリーンアタッチメントに取付けてください。

⑥後枠掛けを、再度柱に取付けてください。

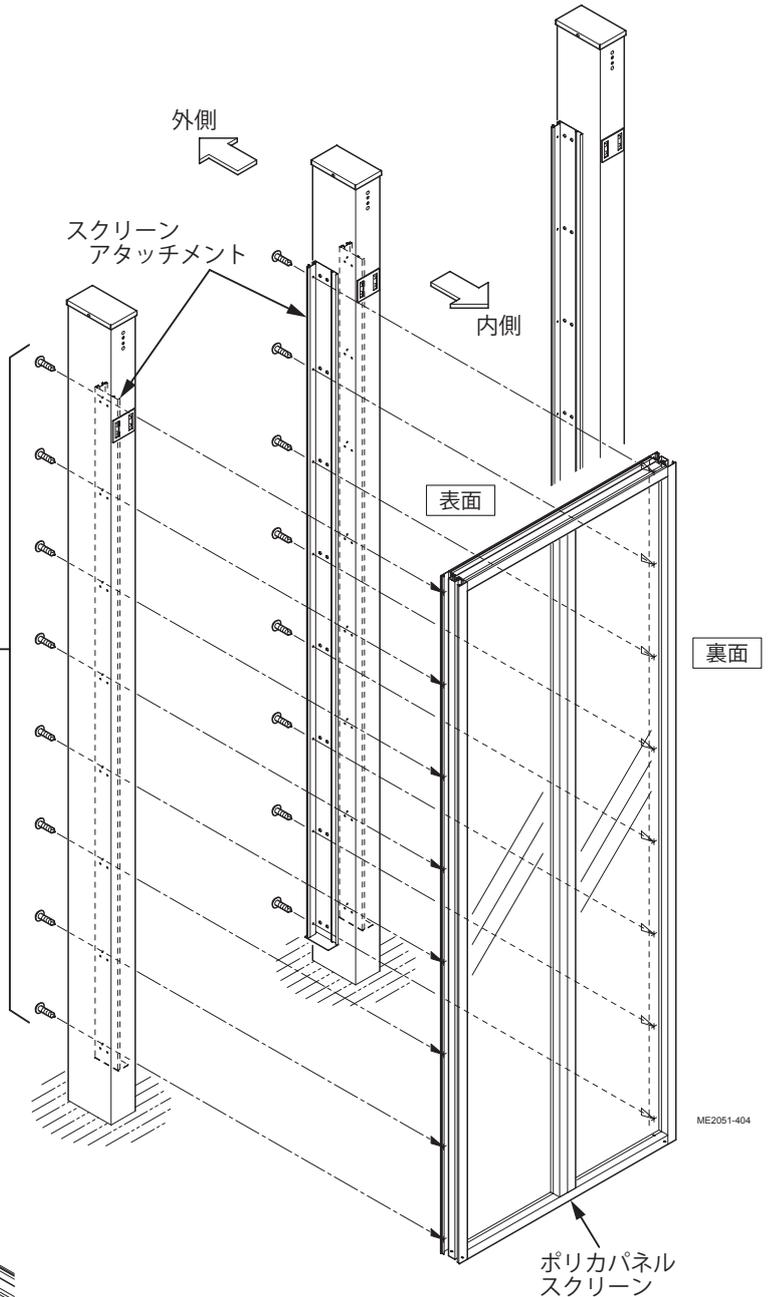
●溝カバー端部



ME2051-405

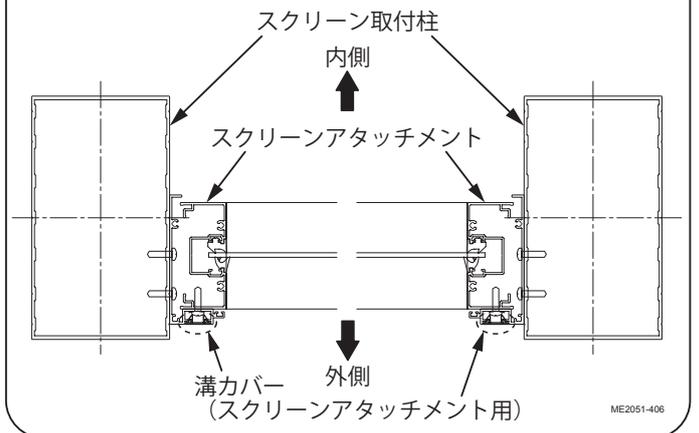
※本図は、間口 1.0 間・H26 の場合を示しています。

溝カバー
(スクリーン
アタッチメント用)



ME2051-404

●溝カバー取付詳細図



ME2051-406

3B

スクリーンの取付け (※スリットライン納まりの場合)

●スリットライン納まりの場合に参照してください。

3B-1 たて格子の切詰め (H23・H26、ポリカパネルと合わせる場合)



H29・33の場合は、標準では切詰め不要です。
※ H33の場合は、H29用格子を使用します。

- ①たて格子上側の格子キャップを取外してください。
- ②高さに合わせて、たて格子を切詰めてください。

●たて格子標準寸法・切詰め寸法 (mm)

H	たて格子寸法	切詰め寸法
H23	2200	600
H26	2500	300
H29	2800	-
H33	2800	-



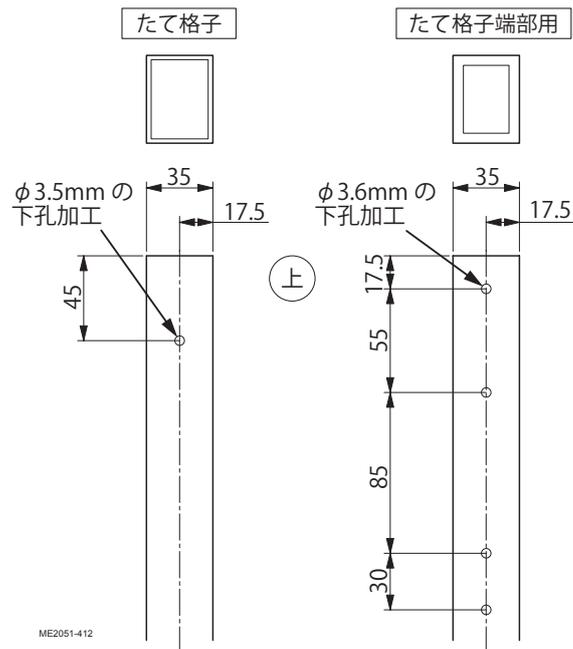
ポリカパネルスクリーンと高さを合わせる場合は、下記寸法に切詰めてください。

●ポリカパネルに高さを合わせる場合 (mm)

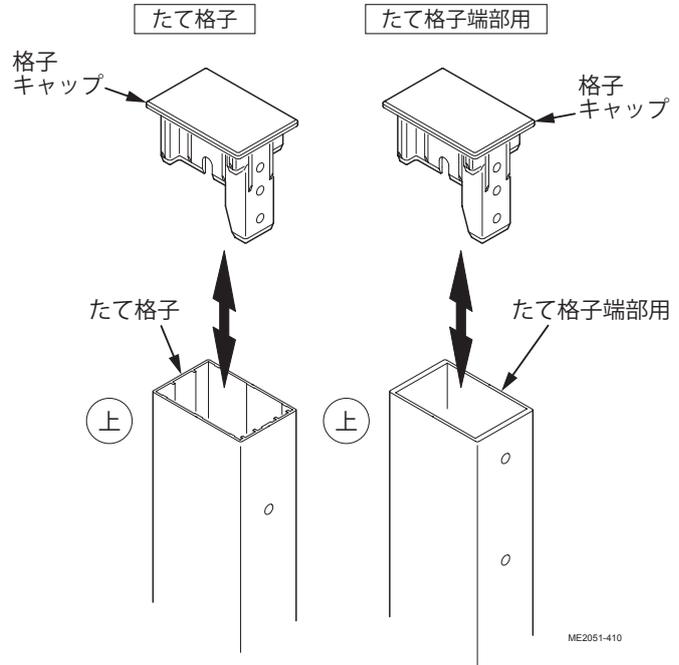
H	たて格子寸法	切詰め寸法
H23	1934	866
H26	2234	566
H29	2534	266
H33	2534	266

- ③たて格子に下孔をあけてください。

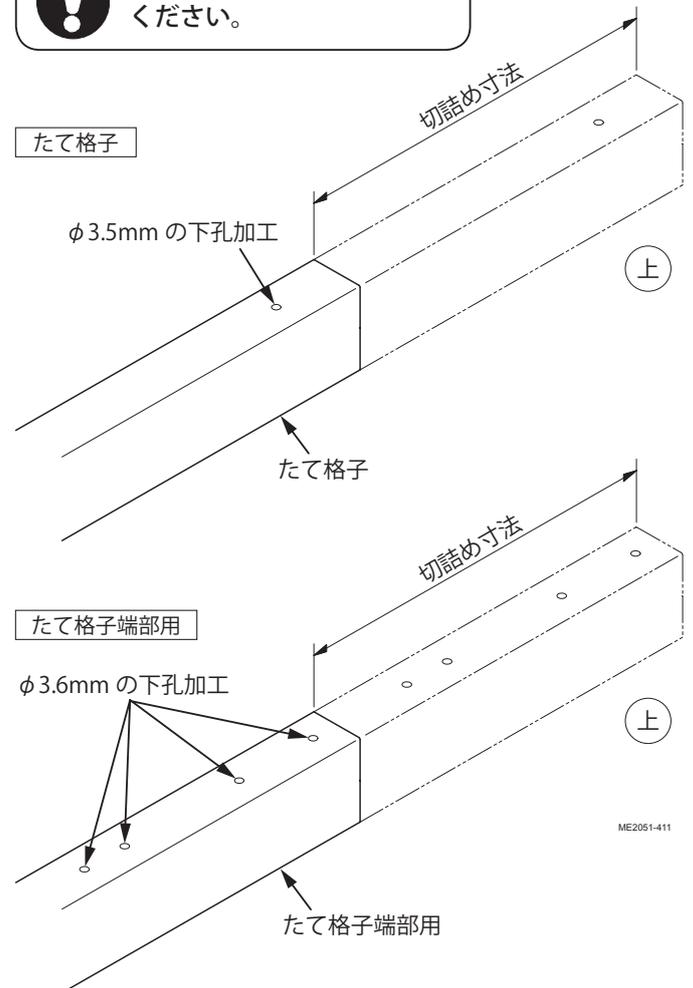
●下孔加工寸法



- ④「手順①」で取外した格子キャップを、再度たて格子に取付けてください。



たて格子の上側を切詰めてください。



3B - 2 胴縁・たて格子端部用の組立て

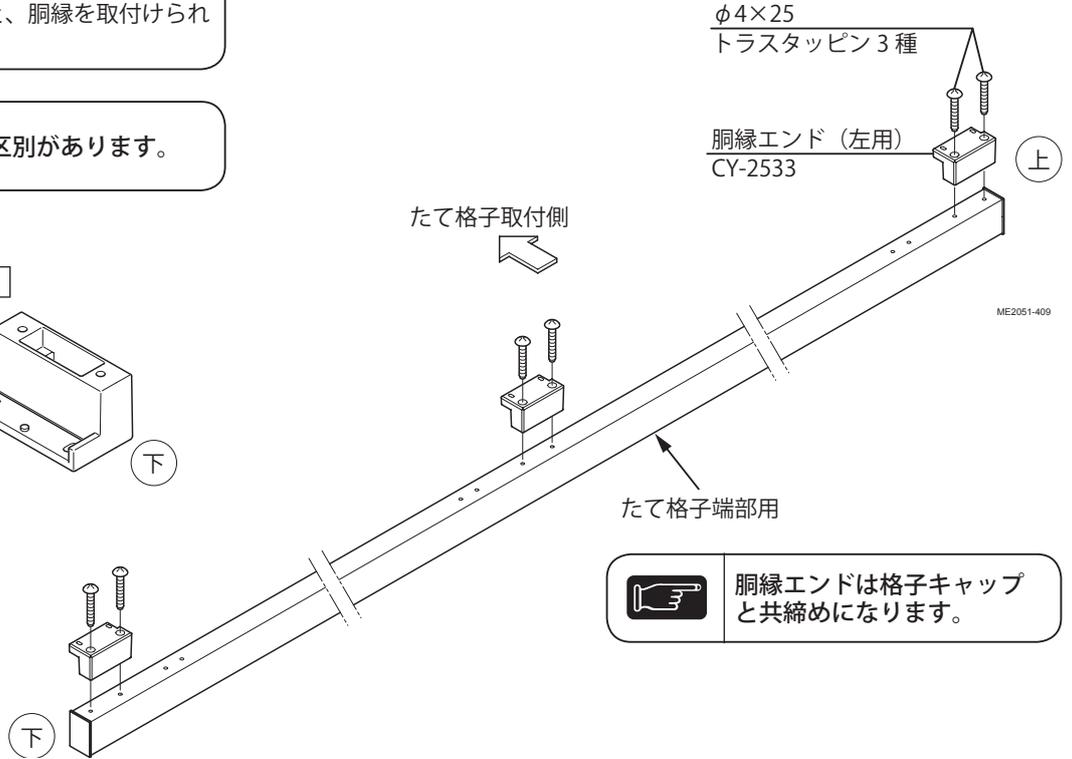
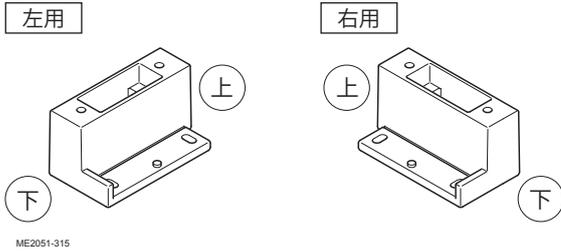
① 胴縁エンドをたて格子端部に仮止めしてください。

※本図は、H26 の場合を示しています。

! 本締めは、後で胴縁を取付けてから行ってください。
 ※先に本締めしてしまうと、胴縁を取付けられないことがあります。

👉 胴縁エンドには左右の区別があります。

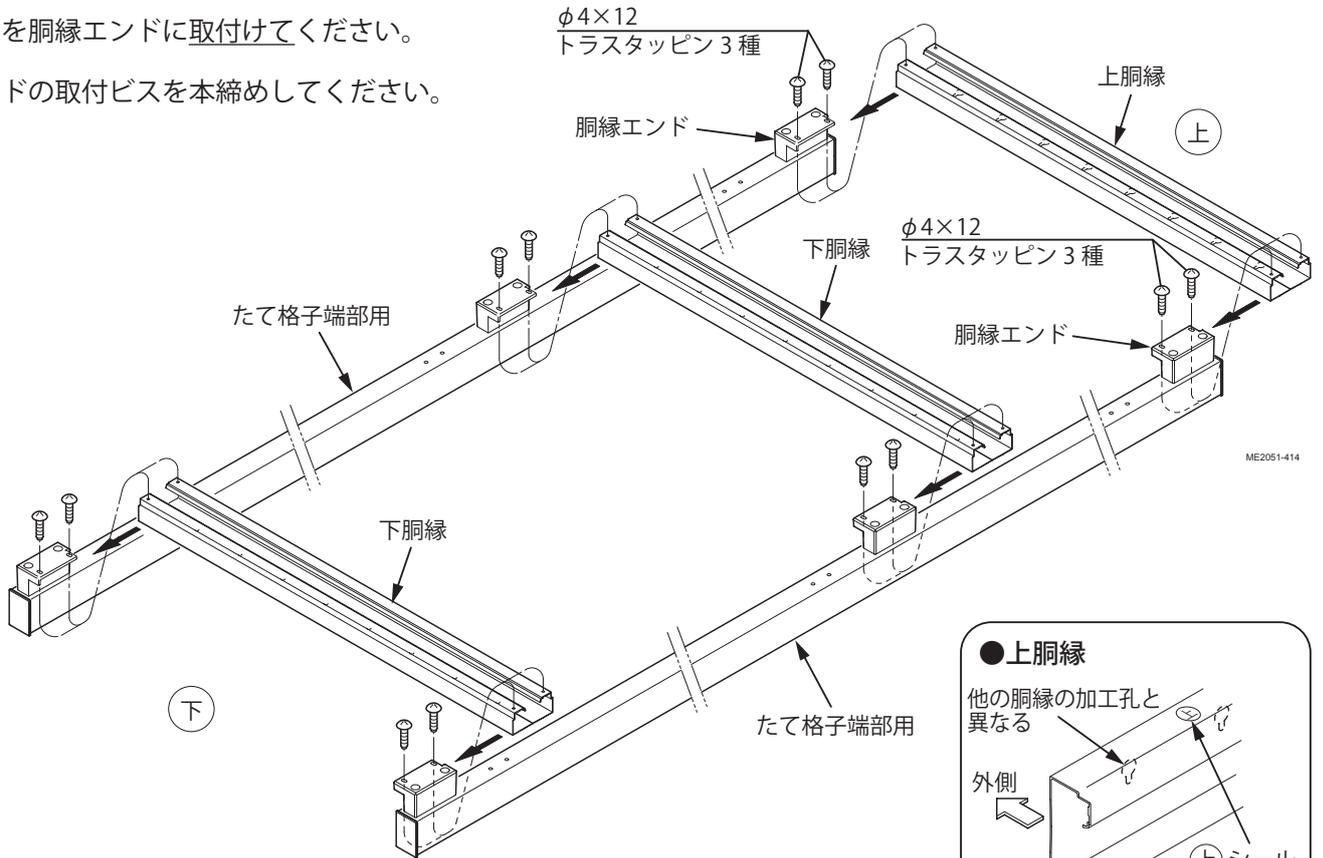
● 胴縁エンド



👉 胴縁エンドは格子キャップと共締めになります。

② 上下胴縁を胴縁エンドに取付けてください。

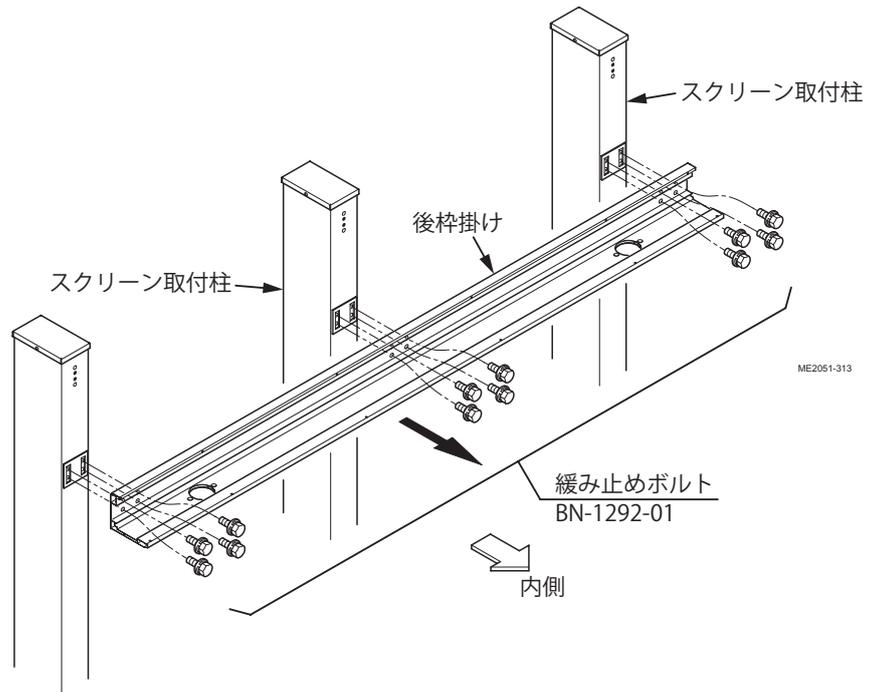
③ 胴縁エンドの取付ビスを本締めしてください。



● 上胴縁
 他の胴縁の加工孔と異なる (Different from other frame rail processing holes)
 外側 (Outer side)
 シール (Seal)

3B-3 スクリーンの取付け

①後枠掛けを取外してください。

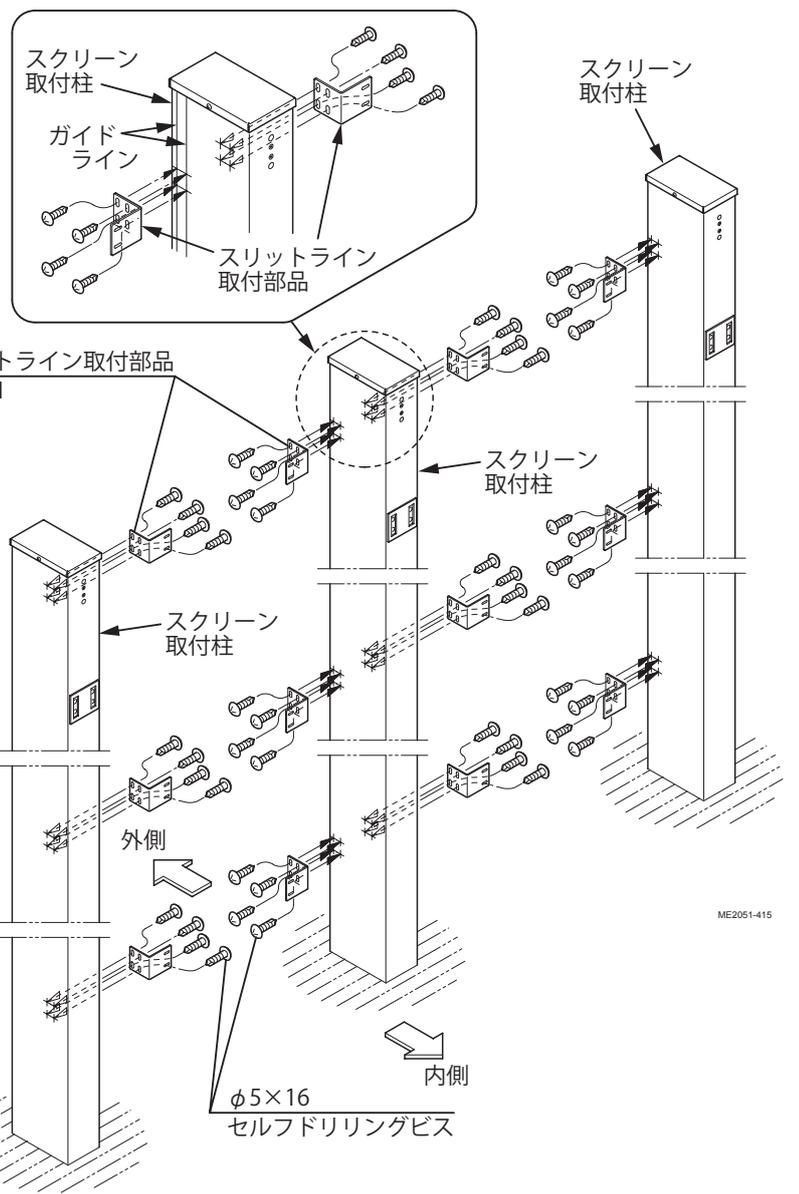
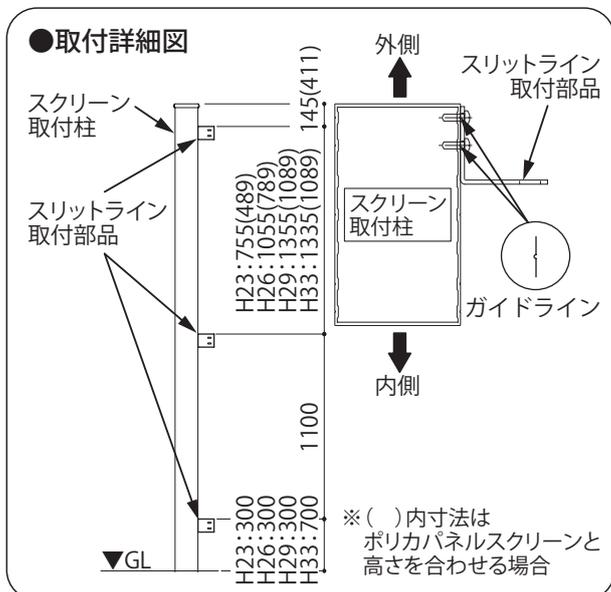


②スリットライン取付部品をスクリーン取付柱に取付けてください。

- 向きを確認し、ガイドラインに合わせて取付けてください。
- レベルを正確に合わせてください。

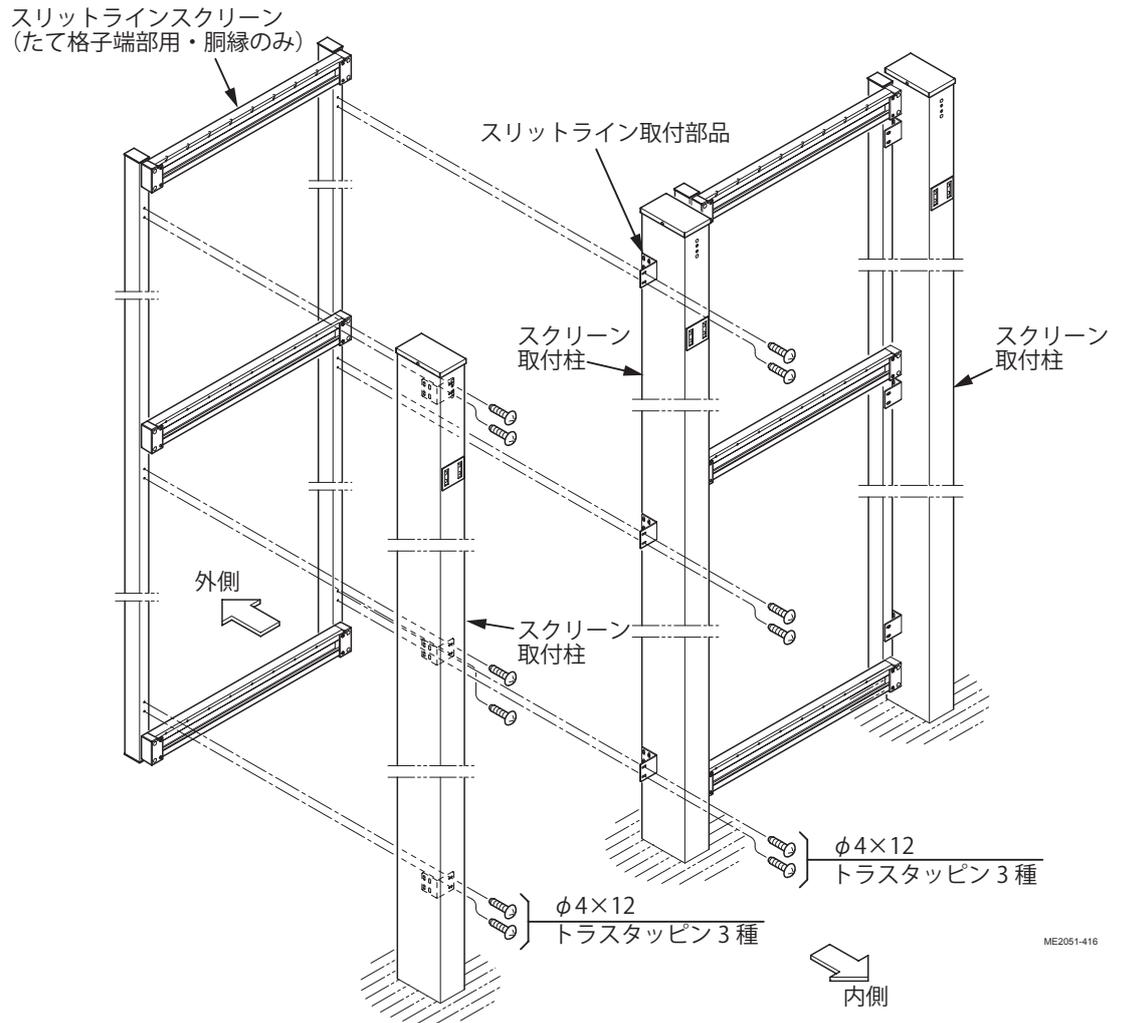
7尺~9尺屋根の場合、9尺屋根用施工説明書 [ME-2120] を参照してください。

ポリカパネルスクリーンと高さを合わせる場合は、一番上のスリットライン取付部品を266mm下げて取付けてください。
※下図 () 寸法を参照してください。



スクリーンの取付け

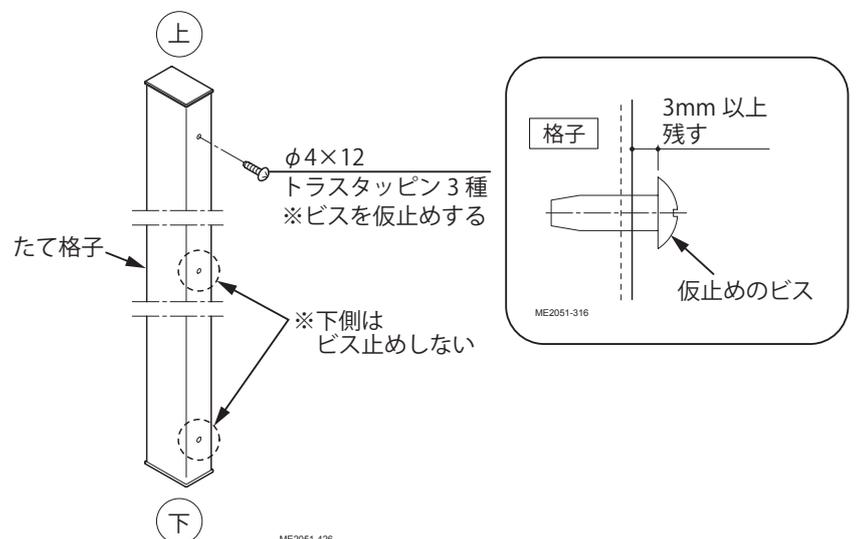
- ③たて格子端部用を、スリットライン取付部品に取付けてください。



※本図は、間口 1.0 間・H26 の場合を示しています。

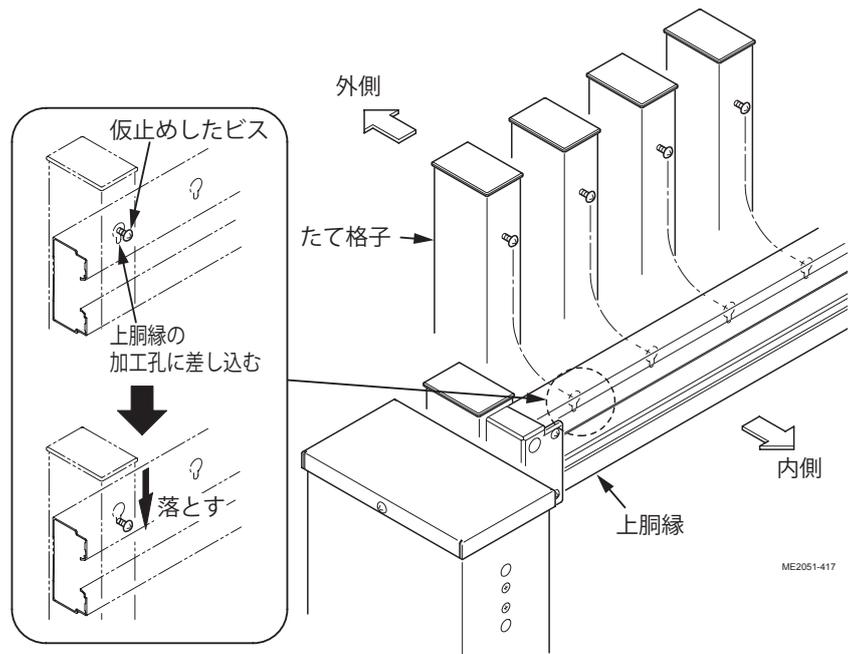
3B - 4 たて格子の取付け

- ①たて格子の上端部に、ビスを仮止めしてください。



※本図は、H26 の場合を示しています。

- ②上胴縁の加工孔に、仮止めしたたて格子のビスを引っ掛けてください。

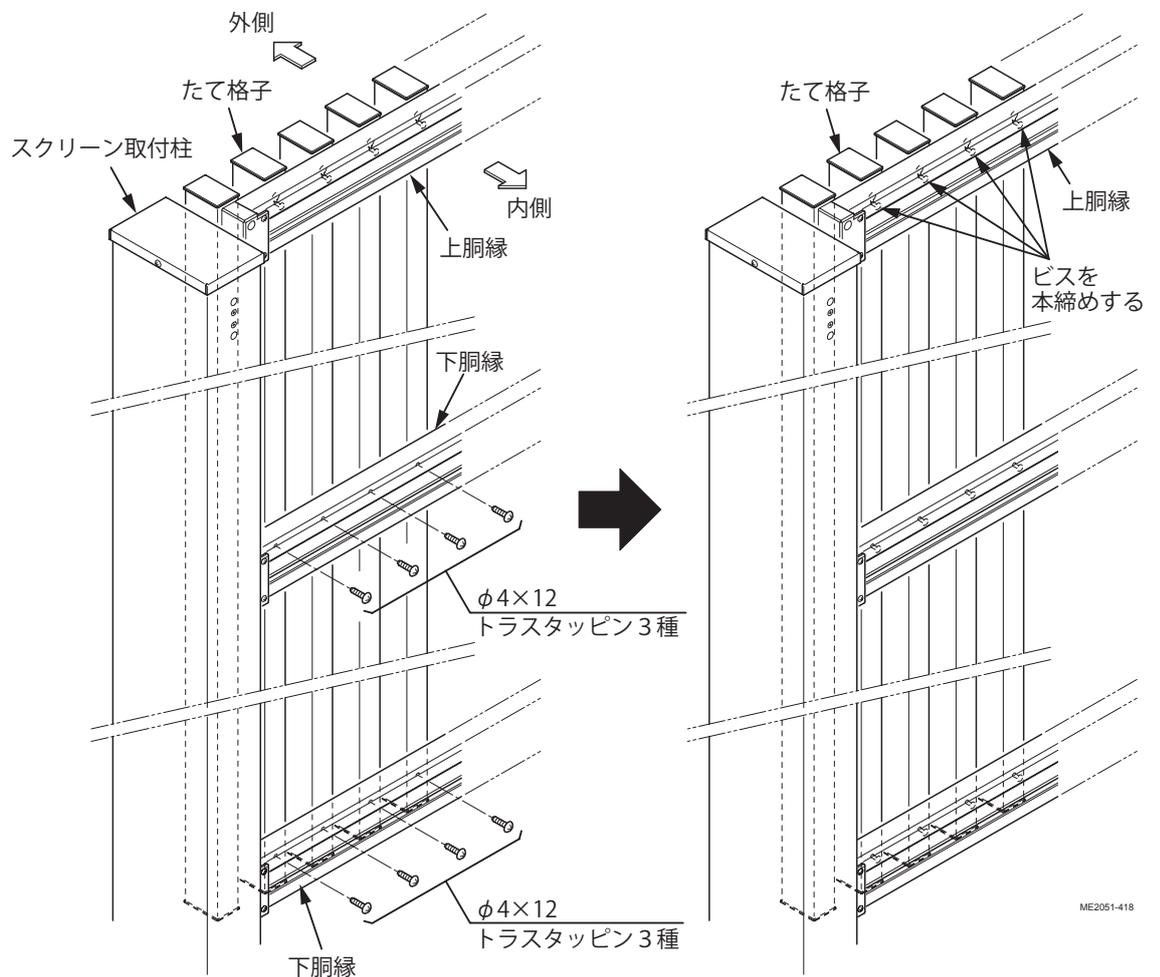


- ③たて格子を、位置調整後、「下胴縁」→「上胴縁」の順にビス止めしてください。



「下胴縁」→「上胴縁」の順序で格子をビス止めしてください。

※上胴縁から先に取付けると、下胴縁の取付孔位置が合わなくなることがあります。



スクリーンの取付け

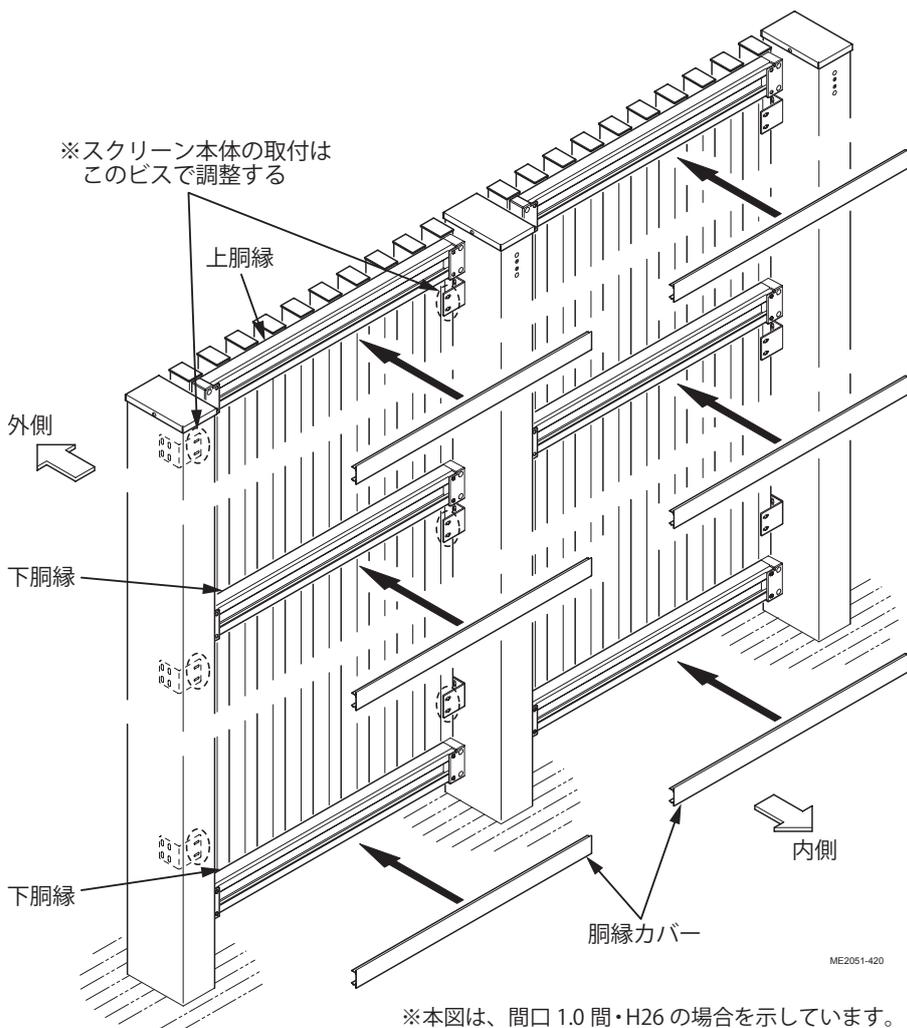
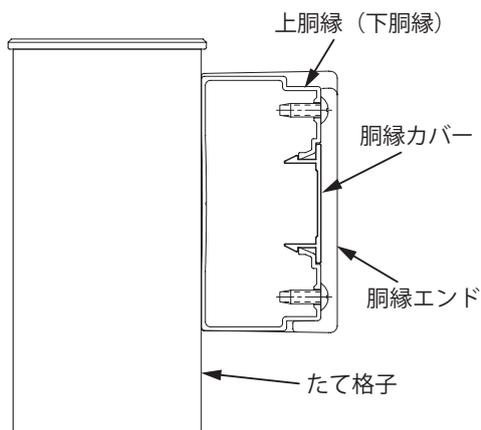
- ④全てのたて格子を取付けた後、レベルと面が合うように取付けを調整してください。



スリットラインスクリーン本体の取付位置の調整は、スリットライン取付部品のビスで行ってください。

- ⑤各ビスに緩みがないことを確認してください。

● 胴縁カバー取付詳細図



- ⑥胴縁カバーを胴縁にはめ込んで取付けてください。

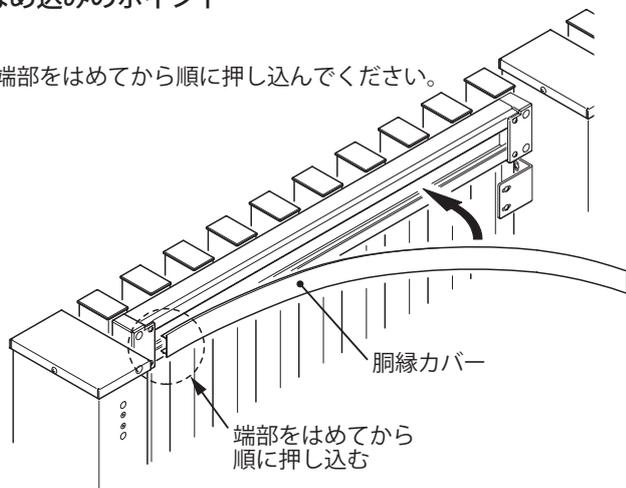


取付前に、格子の取付けが完了していることを確認してください。

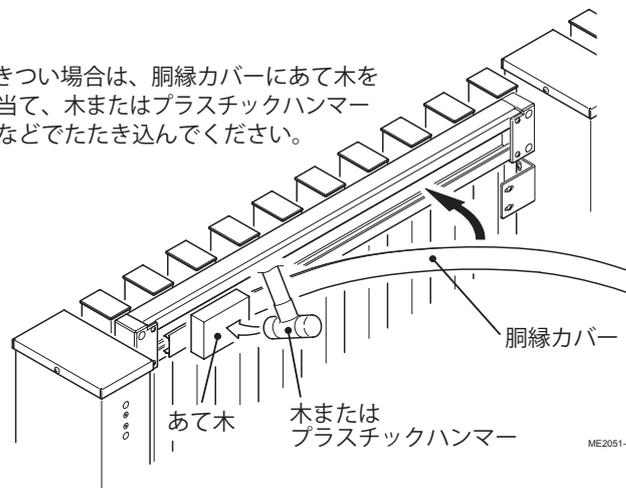
※胴縁カバーの取付後は、格子を取付けることができません。

● はめ込みのポイント

※端部をはめてから順に押し込んでください。



※きつい場合は、胴縁カバーにあて木を当て、木またはプラスチックハンマーなどでたたき込んでください。



- ⑦後枠掛けを、再度柱に取付けてください。

4

後枠側の施工



「3A.」～「3B.」でスクリーンの取付けを行った場合は、再度後枠掛けの取付けが完了していることを確認してください。

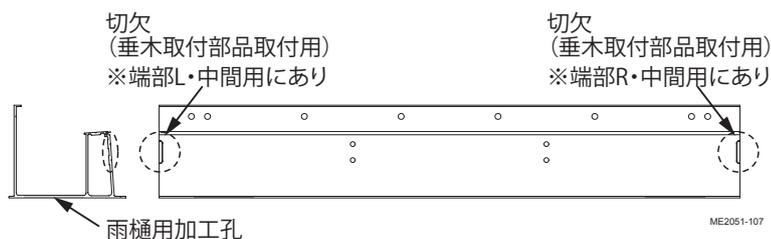
4-1

後枠の連結（※連棟納まりの場合）



連棟納まりの場合、後枠には中間用・端部用 L・端部用 R があります。位置と種類を確認して連結してください。

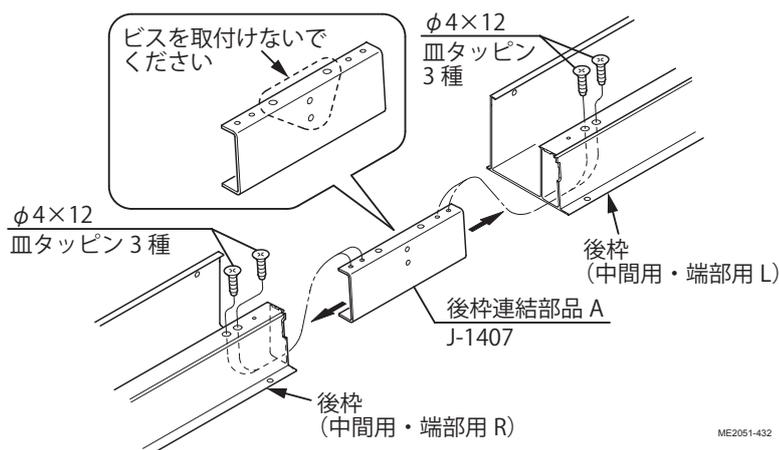
●後枠(中間用・端部L用/R用)



①後枠を連結させてください。



- 連結部品を後枠下部に差し込んでください。
 - 上面内側 2ヶ所および後枠の切欠部にあたる取付孔には、ビスを取付けしないでください。
- ※後工程で垂木・垂木取付部品を取付けます。



4-2 後枠の取付け

①雨樋の取付位置を決めてください。



- 間口によって取付ける数が異なります。
- 雨樋は、後枠の任意の加工孔に取付けることができます。現場の状況に合わせて取付けてください。

②落し口パッキンを、落し口または孔ふさぎに貼付けてください。

③落し口または孔ふさぎを、後枠掛けの加工孔部に載せてください。



- 雨樋を取付ける箇所 : 落し口
- 雨樋を取付けない箇所 : 孔ふさぎ



落し口と後枠掛けの加工孔の位置を合わせてください。
※正確に合わせないと、雨漏りなどの原因になります。

④ドレンエルボを、落し口に差し込んで仮止めしてください。



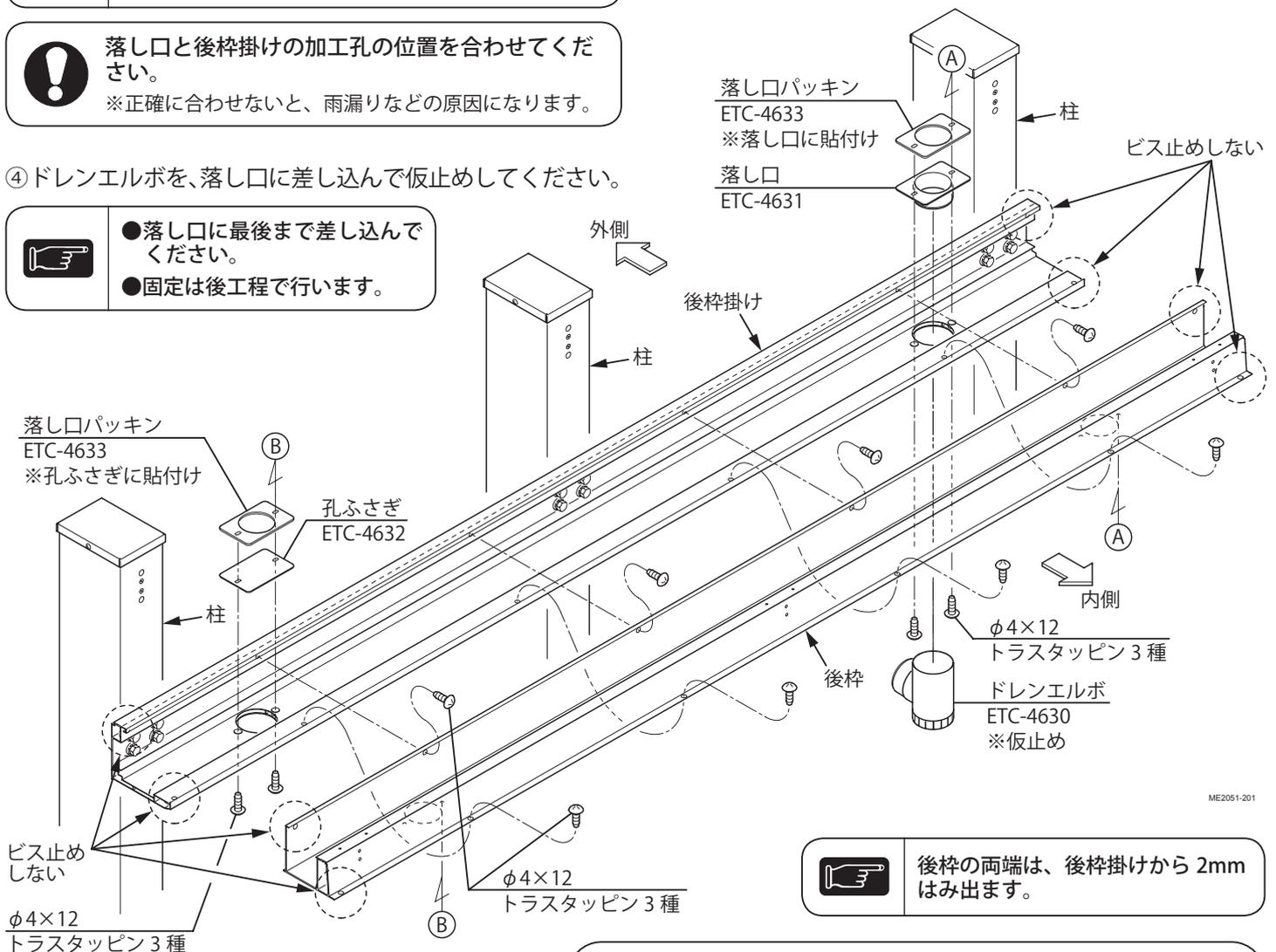
- 落し口に最後まで差し込んでください。
- 固定は後工程で行います。

●雨樋取付個数

間口	個数
1.0・1.5 間	1
2.0～3.0 間	2
3.5・4.0 間	3

※各後枠・後枠掛けに1つずつ取付けてください。

※本図は、間口1.0間・単体納まりの場合を示しています。



後枠の両端は、後枠掛けから2mmはみ出ます。

⑤後枠を後枠掛けに取付けてください。



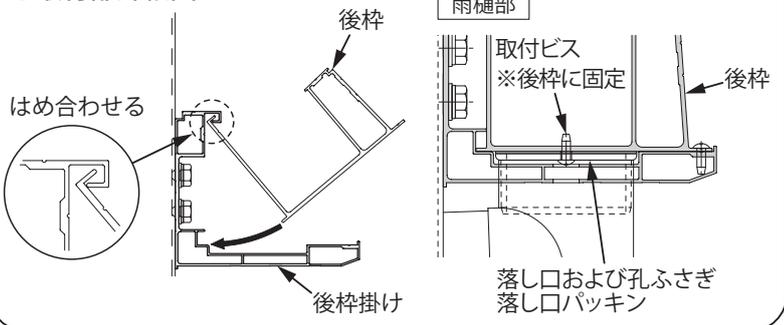
両端の取付孔はビス止めしないでください。
※後工程で、後枠キャップを取付けます。

⑥落し口および孔ふさぎを、ビス止めしてください。



取付ビスは、落し口および孔ふさぎ・落し口パッキンの孔を貫通させ、後枠に固定してください。

●取付部詳細図





次の「手順⑦・⑧」は、連棟納まりの場合のみ参照してください。
※単体納まりの場合は不要です。

- ⑦後枠連結部止水パッキンを、全ての後枠の連結部に載せてください。
- ⑧後枠連結部止水パッキンの周りに、シーリング処理を行ってください。

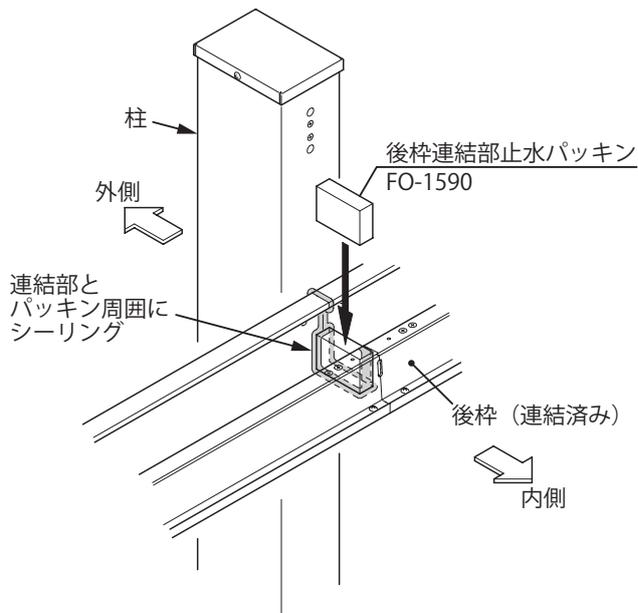


シーリング処理は確実に行ってください。
※防水が不完全だと、雨漏りなどの原因になります。

- ⑨後枠ピースを後枠の溝にスライドさせて取付けてください。

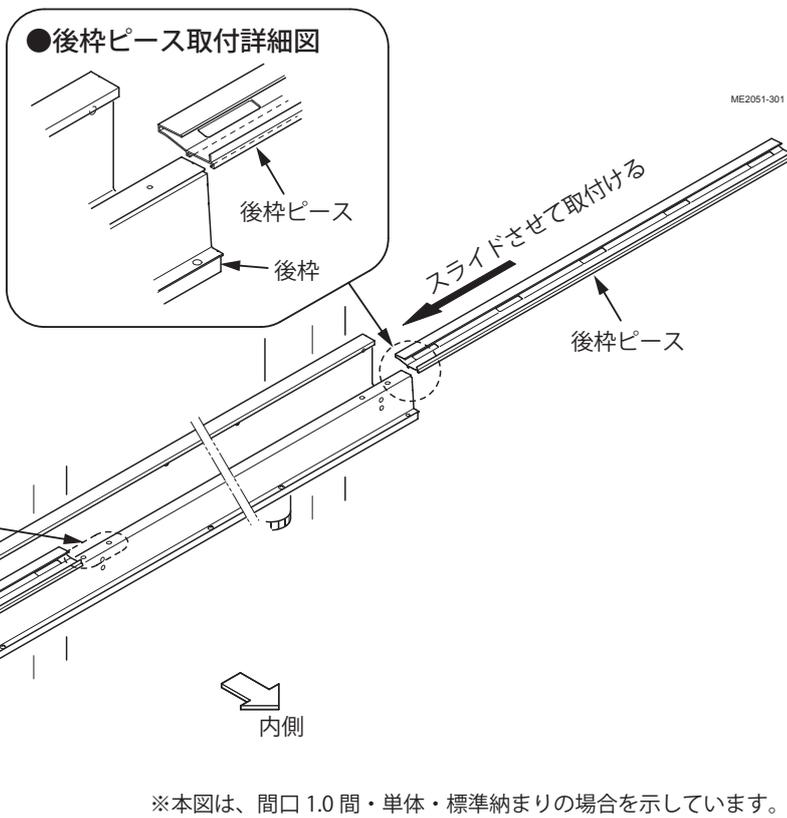


後枠の加工孔をふさがない位置までスライドさせてください。



ME2051-205

●後枠ピース取付詳細図



ME2051-301

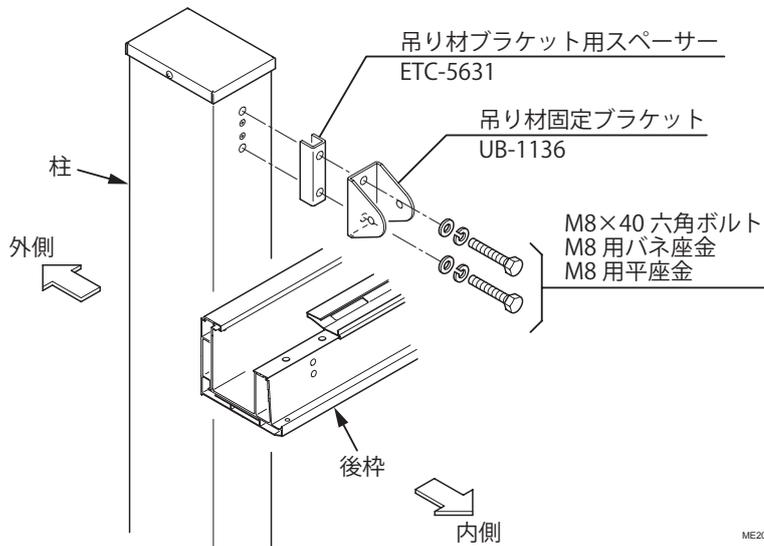
※本図は、間口 1.0 間・単体・標準納まりの場合を示しています。

4-3 吊り材用ブラケットの取付け

標準柱の場合

- ①吊り材固定ブラケットを柱の上部に取付けてください。

●標準柱の場合

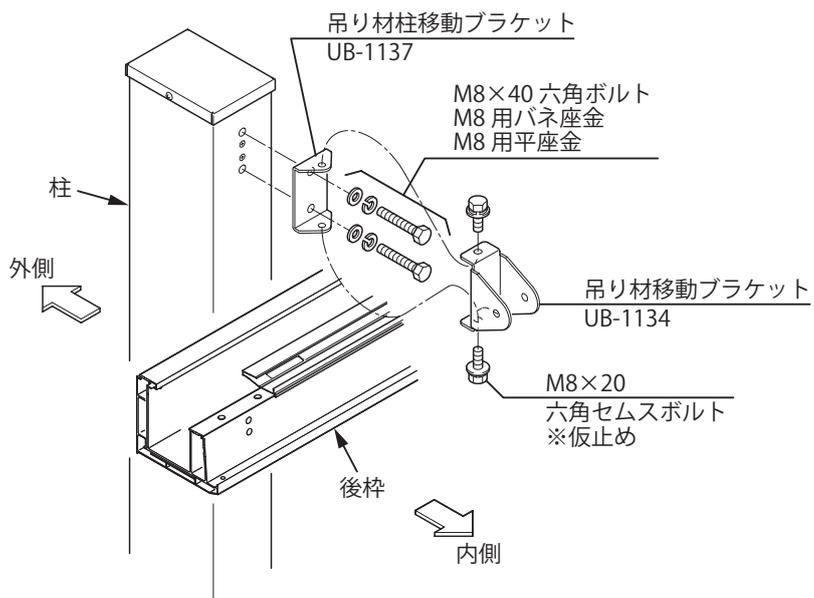


ME2051-202

柱移動を行う場合

- ①吊り材柱移動ブラケットを移動する柱の上部に取付けてください。
②吊り材移動ブラケットを、柱に仮止めしてください。

●柱移動を行う場合



ME2051-430



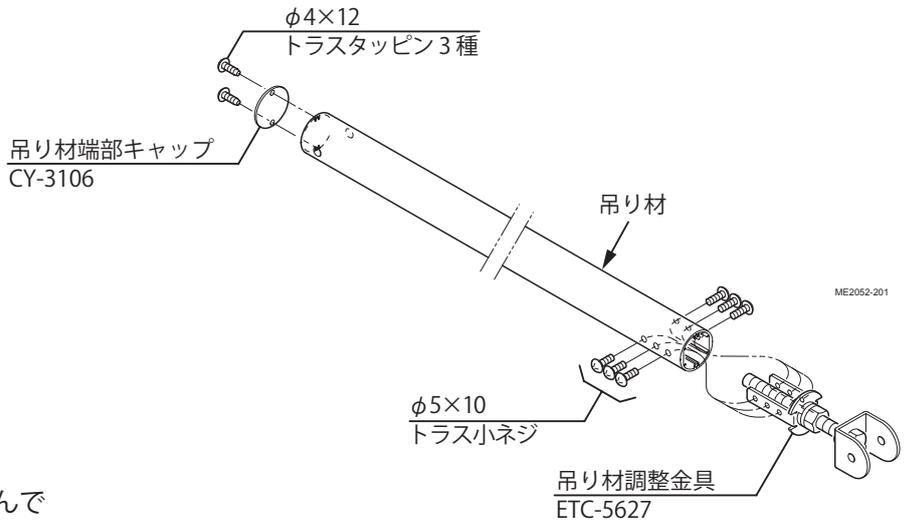
後工程で角度を調整します。

5

垂木・母屋の取付け

5-1 吊り材の組立て

- ①吊り材端部キャップを吊り材に取付けてください。
- ②吊り材調整金具を吊り材に取付けてください。



5-2 垂木部品の取付け

- ①バッカー材を母屋固定部品の中央に差し込んでください。



右図を参照し、屋根外周にあたる母屋固定部品にのみ取付けてください。

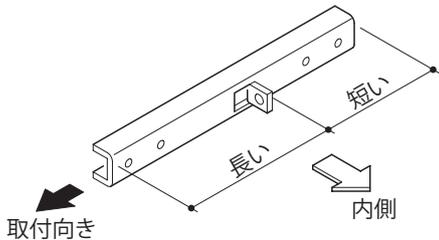
- ②母屋固定部品を垂木に取付けてください。



取付向きを確認してください。

●母屋固定部品取付向き

ME2051-510



- ③吊り材固定ブラケットを垂木に取付けてください。



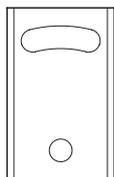
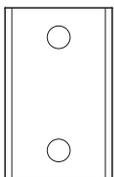
移動柱に取付ける垂木の場合は、吊り材固定ブラケットは仮止めとなります。
※調整は後工程で行います。

●吊り材固定ブラケット

標準柱

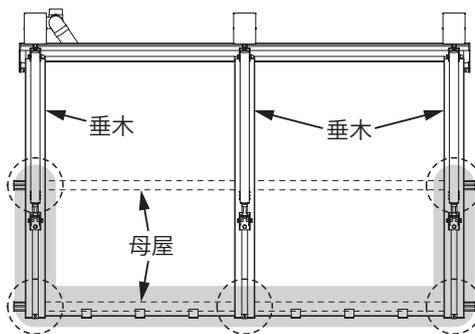
移動柱

移動柱側



ME2051-507

●バッカー材取付箇所 (イメージ図)

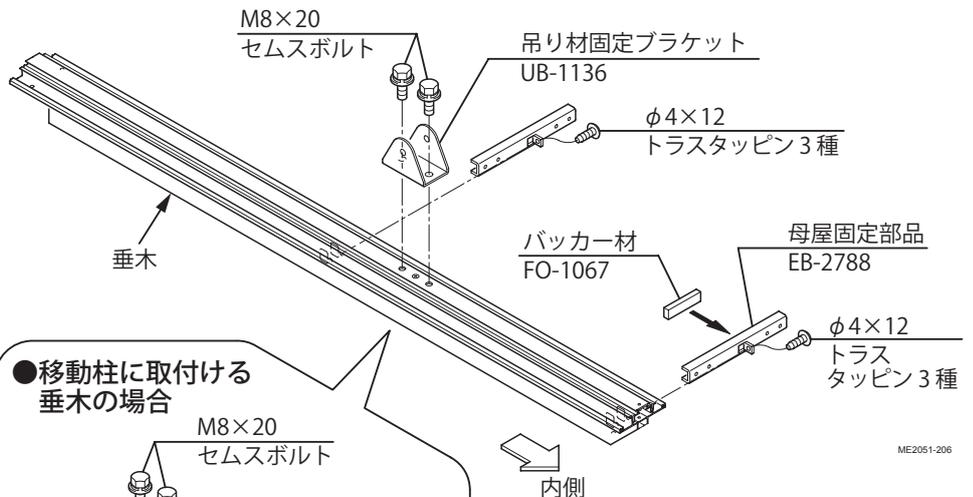


ME2052-218

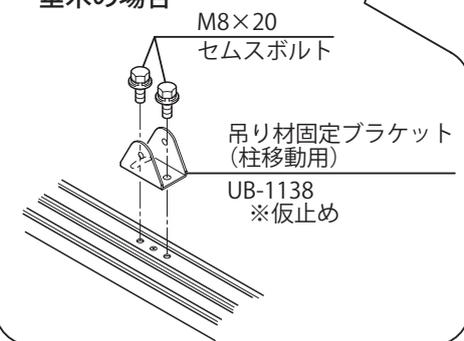
※本図は、出巾4尺の場合を示しています。
※5尺以上の場合で、母屋の数が異なる場合も外周にあたる箇所全てに取付けてください。

○部にあたる母屋固定部品に取付ける

●標準柱に取付ける垂木の場合



●移動柱に取付ける垂木の場合

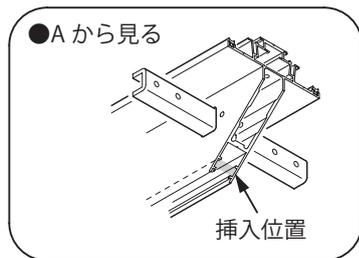
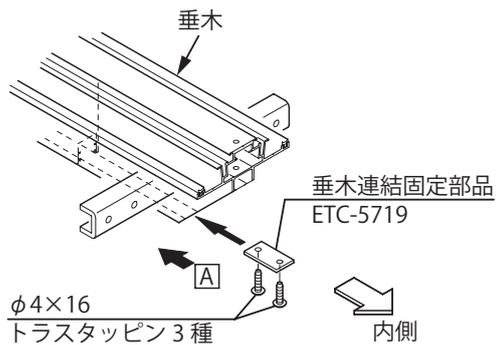


※本図は、出巾4尺の場合を示しています。

垂木・母屋の取付け

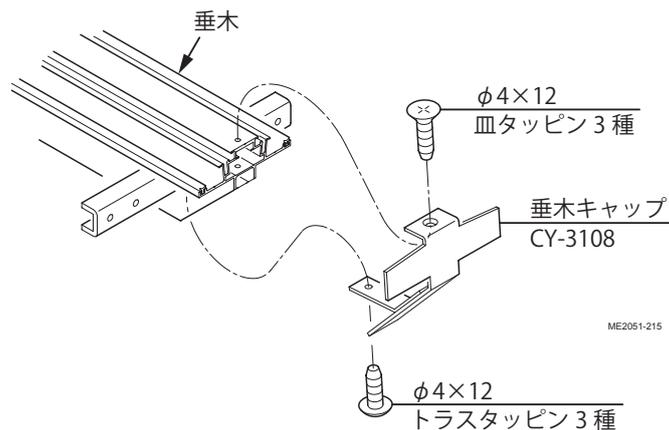
 壁付け納まりの場合は、キャップ取付前に垂木連結固定部品を垂木先端に挿入し、仮止めしてください。

●壁付け納まりの場合



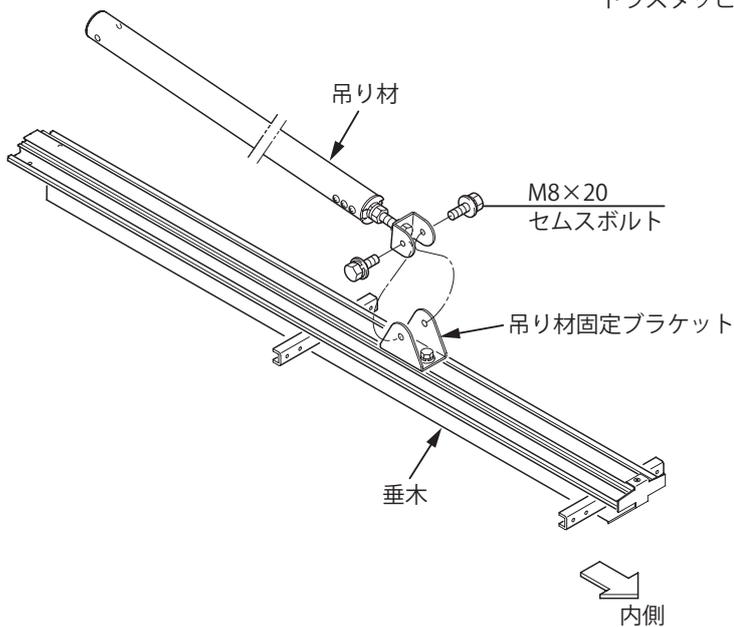
ME2051-508

④垂木キャップを垂木に取付けてください。



ME2051-215

⑤吊り材を垂木に仮止めしてください。



ME2051-219

5-3 吊り材・垂木の取付け

⚠ 注意

垂木を後枠に取付けるまでは、垂木を支えておいてください。

※部品の破損、落下の恐れがあります。

①垂木取付部品を後枠に取付けてください。



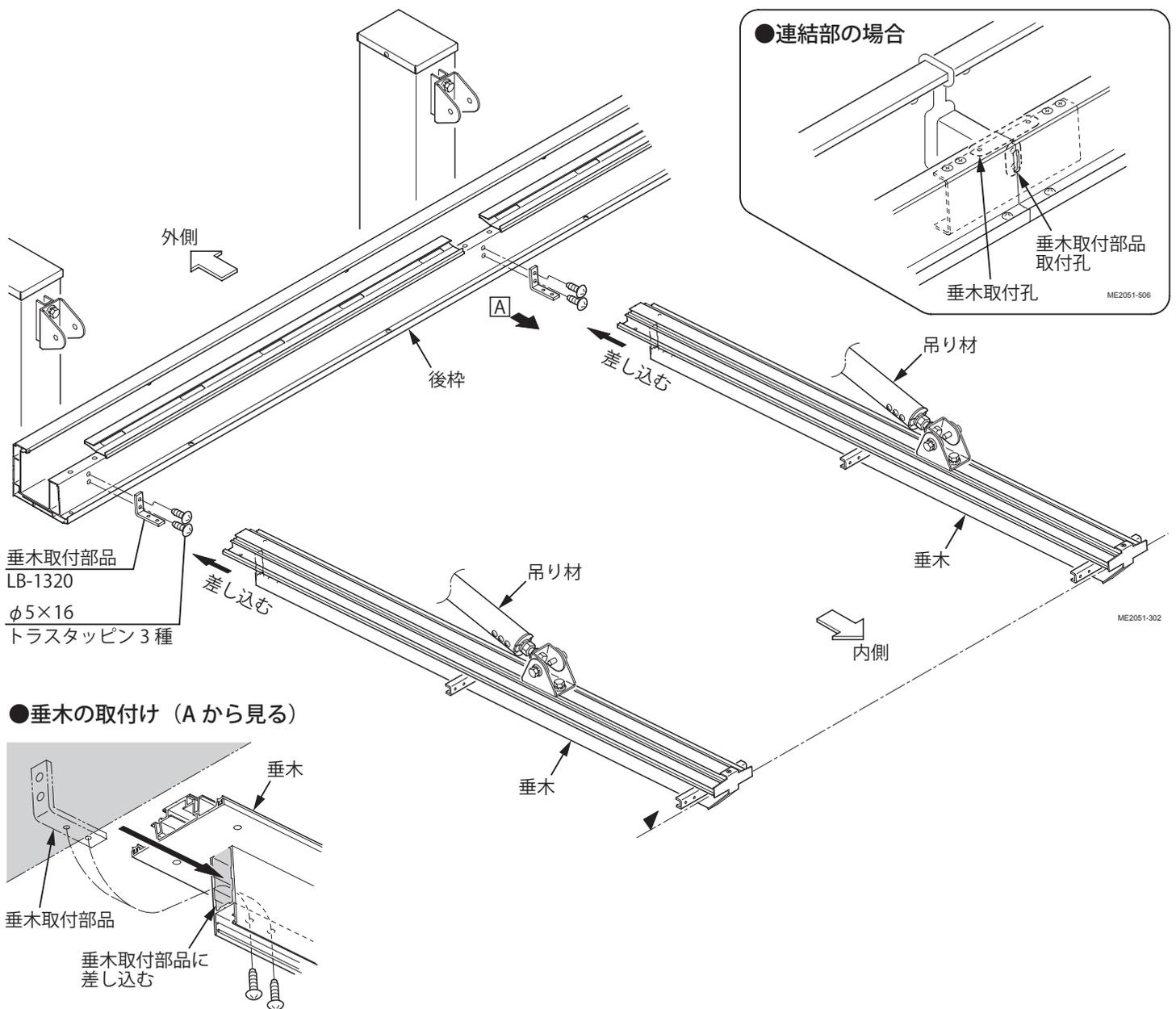
後枠連結部では、垂木取付部品は後枠連結部に取付けます。

②垂木を垂木取付部品に差し込んでください。



吊り材がぶつかったり落下しないよう、注意してください。

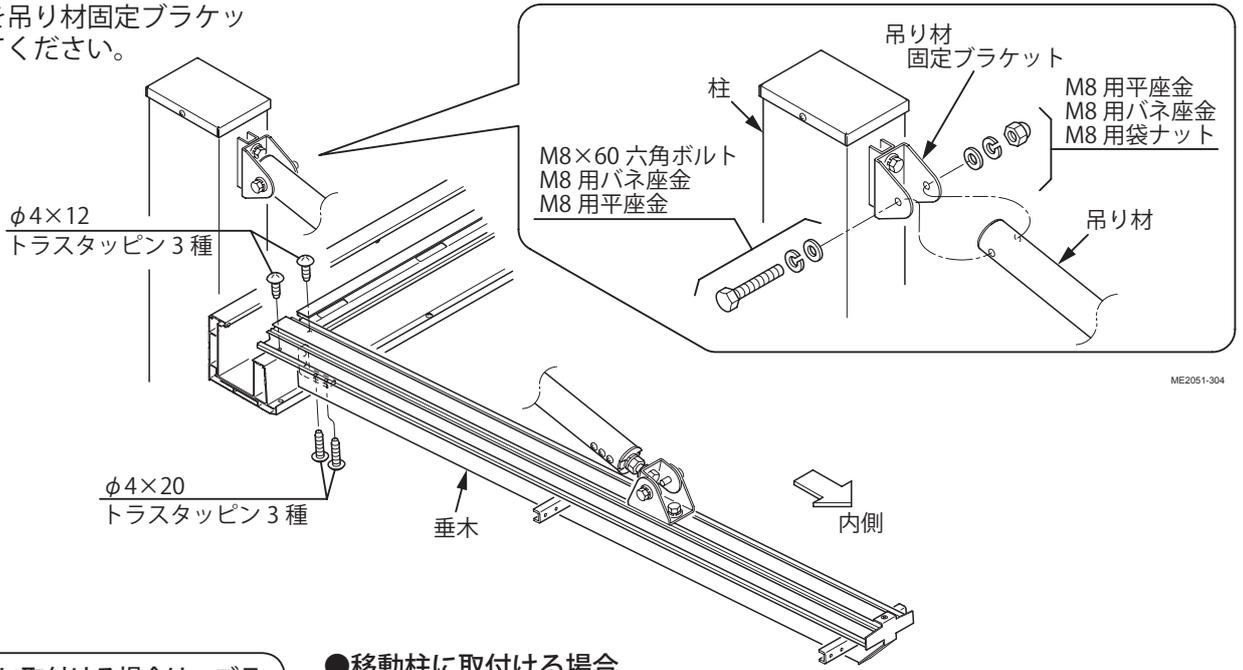
※本図は、出巾4尺・標準納まりの場合を示しています。



ME2051-303

垂木・母屋の取付け

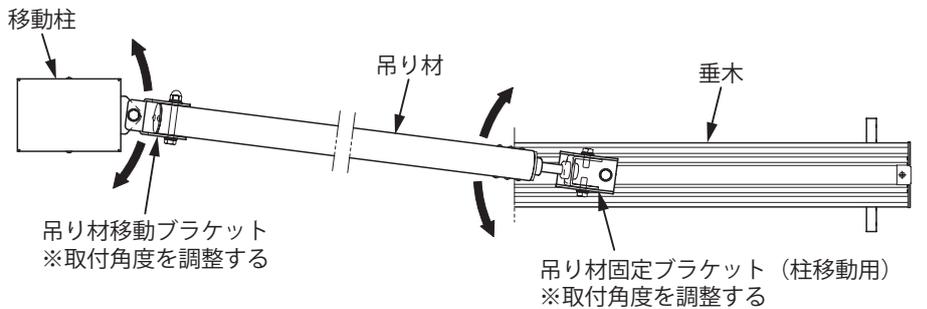
③垂木の吊り材を吊り材固定ブラケットに仮止めしてください。



ME2051-304

移動柱に取付ける場合は、ブラケットで吊り材の角度を調整してください。

●移動柱に取付ける場合



ME2051-509

④垂木を後枠にビス止めしてください。

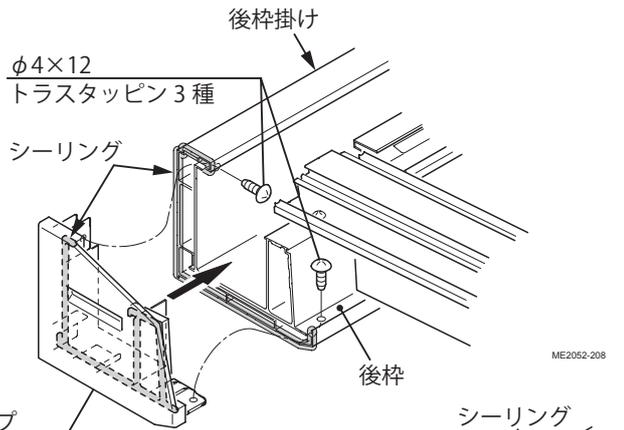
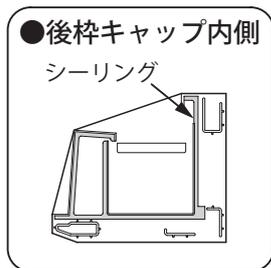
柱移動を行った場合で、ビスが固定しづらい場合は、後工程「5-5.」を参照して、吊り材調整金具を調整してください。

⑤各ビス・ボルトに緩みがないことを確認してください。

⑥後枠キャップを後枠掛けの両端に取付けてください。

●後枠キャップおよび後枠掛けにシーリング処理を行ってください。
●シーリングが乾く前に取付けを済ませてください。

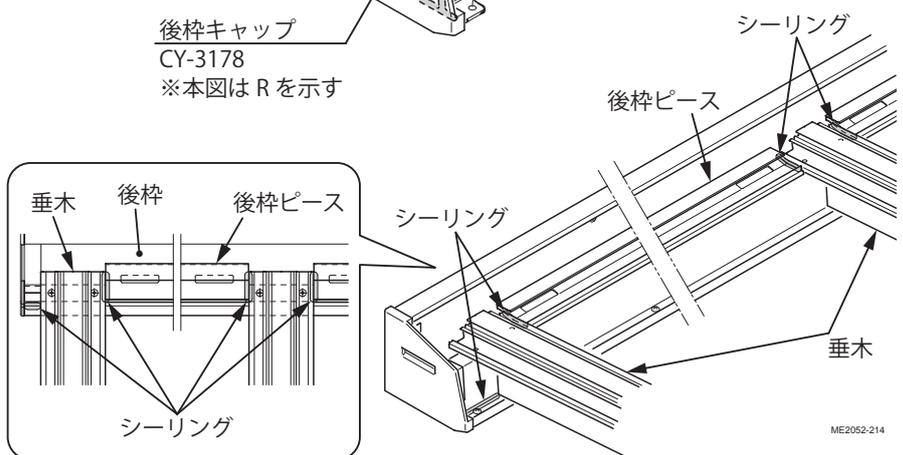
キャップには左右の区別があります。



ME2052-208

⑦後枠ピースと垂木の間シーリング処理を行ってください。

●シーリング処理は確実に行ってください。
※防水が不完全だと、雨漏りなどの原因になります。



ME2052-214

⑧7尺～9尺屋根の場合、連結ブラケットの取付が必要です。

●9尺屋根用施工説明書 [ME-2120] を参照してください。

5-4 母屋の取付け

- 「5-2.」の「手順①」でバッカー材を差し込んだ母屋固定部品取付部分にシーリング処理を行ってください。
- 母屋を垂木に取付けてください。



母屋固定部品のシーリングが乾く前に取付けを完了させてください。



母屋の種類、取付位置、向きを確認してください。



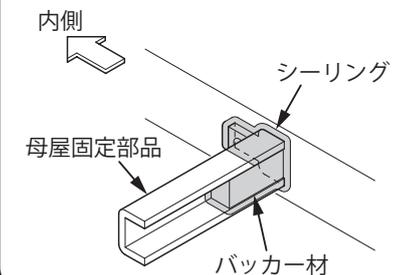
後枠側から順に取付けてください。



取付本数は出巾によって異なります。

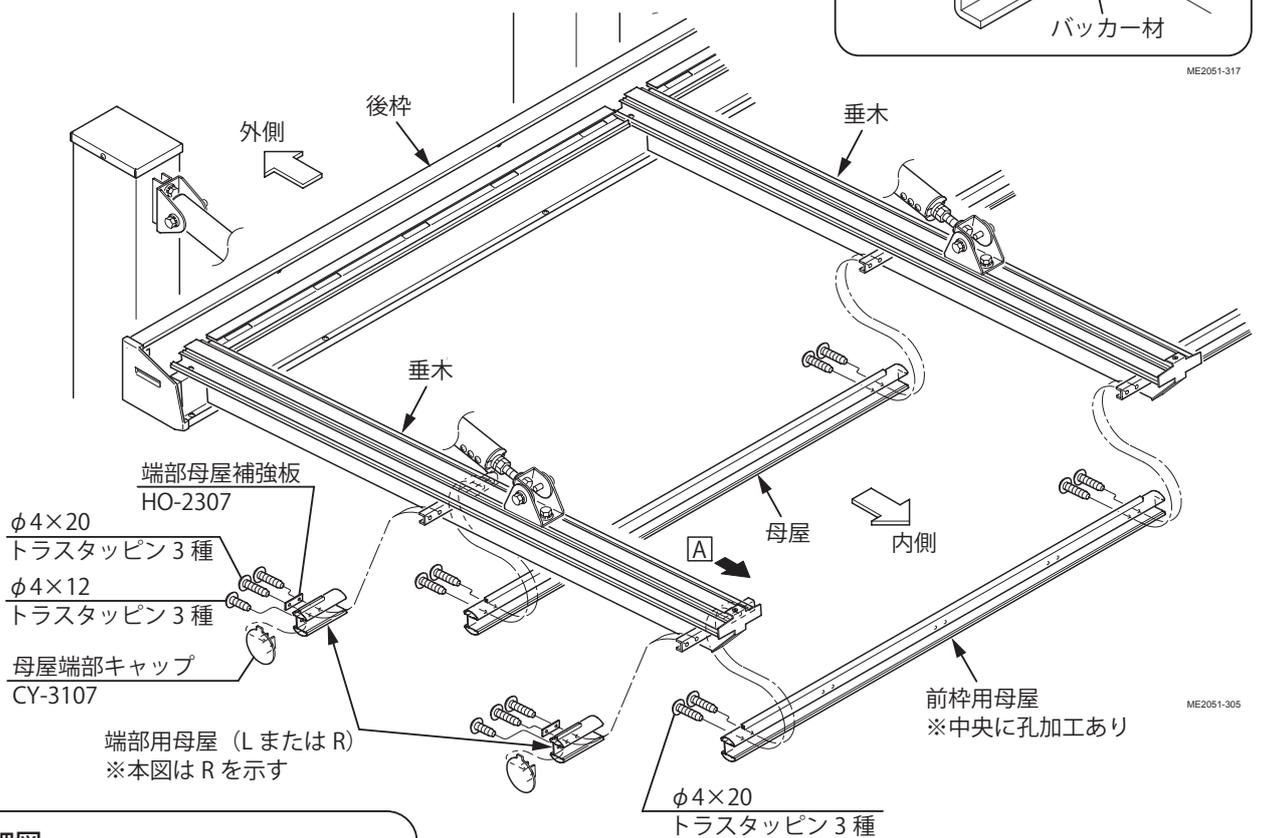
- ・3尺/4尺: 2本
 - ・5尺/6尺: 3本
 - ・7尺~9尺: 4本
- ([ME-2120] を参照してください。)

●シーリング処理 (Aから見る)



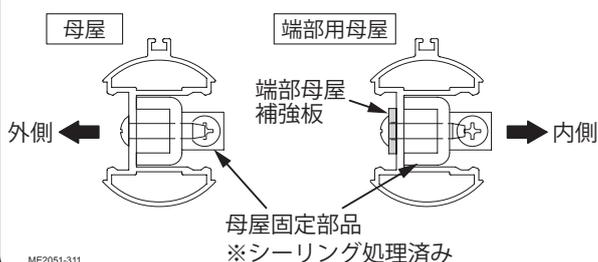
ME2051-317

- 母屋端部キャップを、端部用母屋に取付けてください。



ME2051-305

●母屋取付詳細図

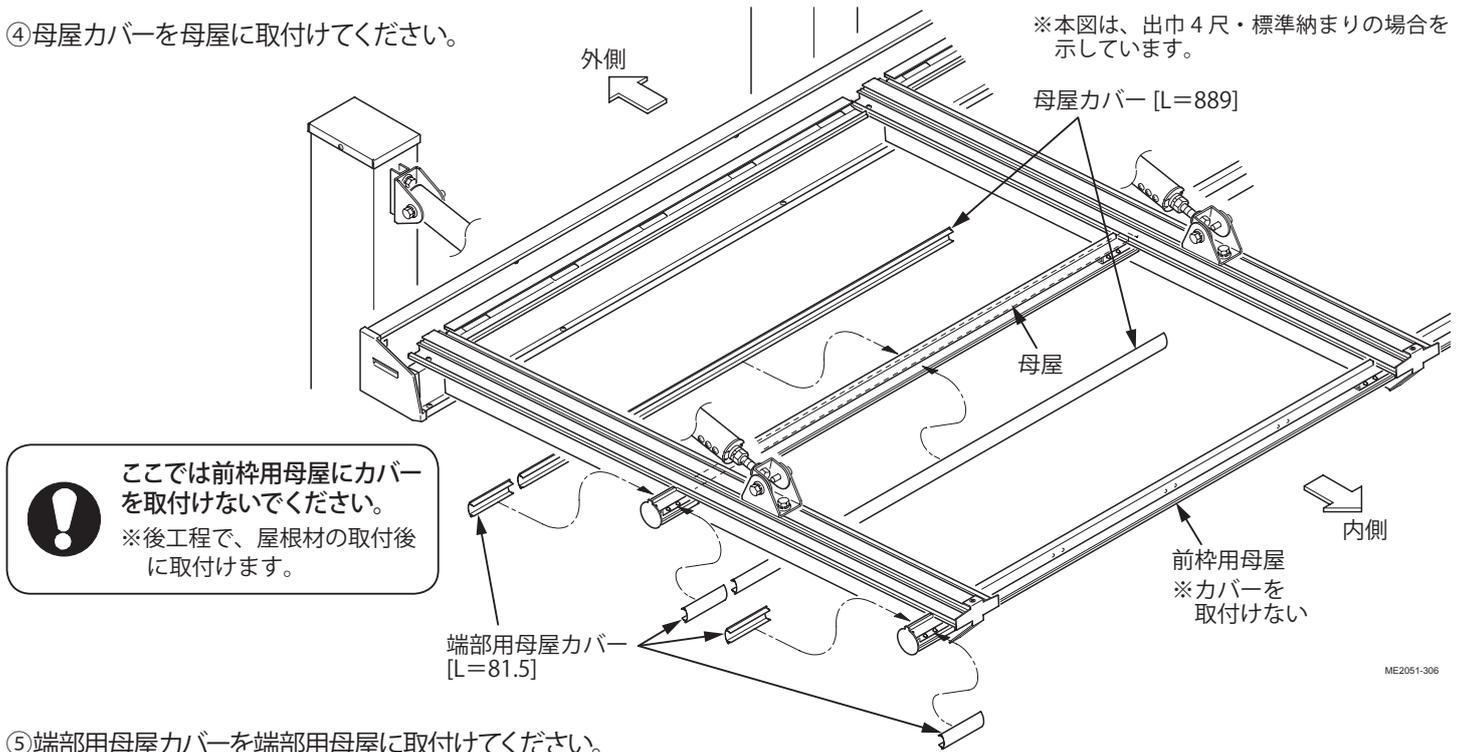


ME2051-311

※本図は、出巾4尺・標準納まりの場合を示しています。

垂木・母屋の取付け

④母屋カバーを母屋に取付けてください。

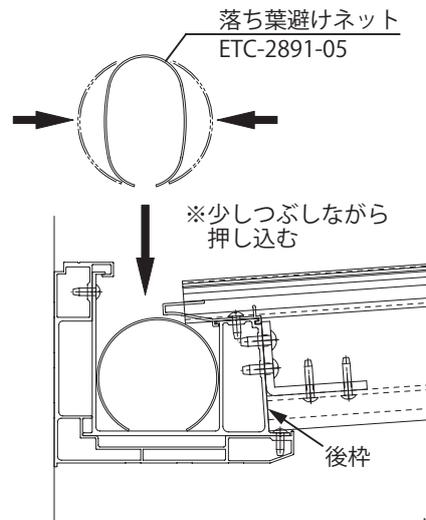


⑤端部用母屋カバーを端部用母屋に取付けてください。

オプションの落ち葉避けネットを取付ける場合に参照してください。

⑥落ち葉避けネットを後枠に取付けてください。

連棟納まりで、落ち葉避けネットが止水パッキンに当たる場合は、20mm程度ネットを切断してください。



5-5 吊り材の調整

①全ての垂木・母屋を取付けた後、吊り材の長さを調整して垂木の先端のレベルを合わせてください。

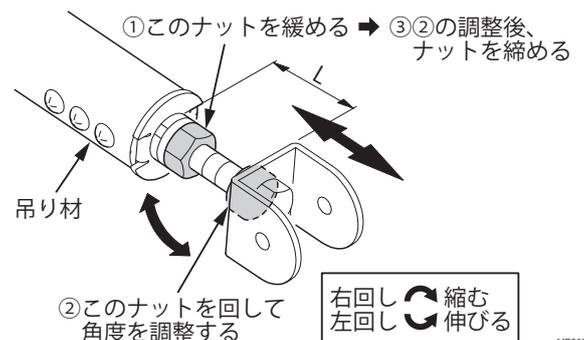
正確に合わせてください。
※正確に合わせないと、取付不良の原因になります。

吊り材の角度調整は、施工による誤差を修正する場合や柱移動時にのみ行ってください。
※不用意に角度を変更すると、取付不良の原因になります。

②吊り材の取付ボルトを本締めしてください。

③各ビス・ボルトに緩みがないことを確認してください。

●吊り材の調整方法



●基準寸法 L: 56mm 垂木角度: 4°
●柱移動時は、他の吊り材に合うようにLを調整してください。

6

スクリーン上部カバーの取付け

(※ポリカパネル納まりの場合)

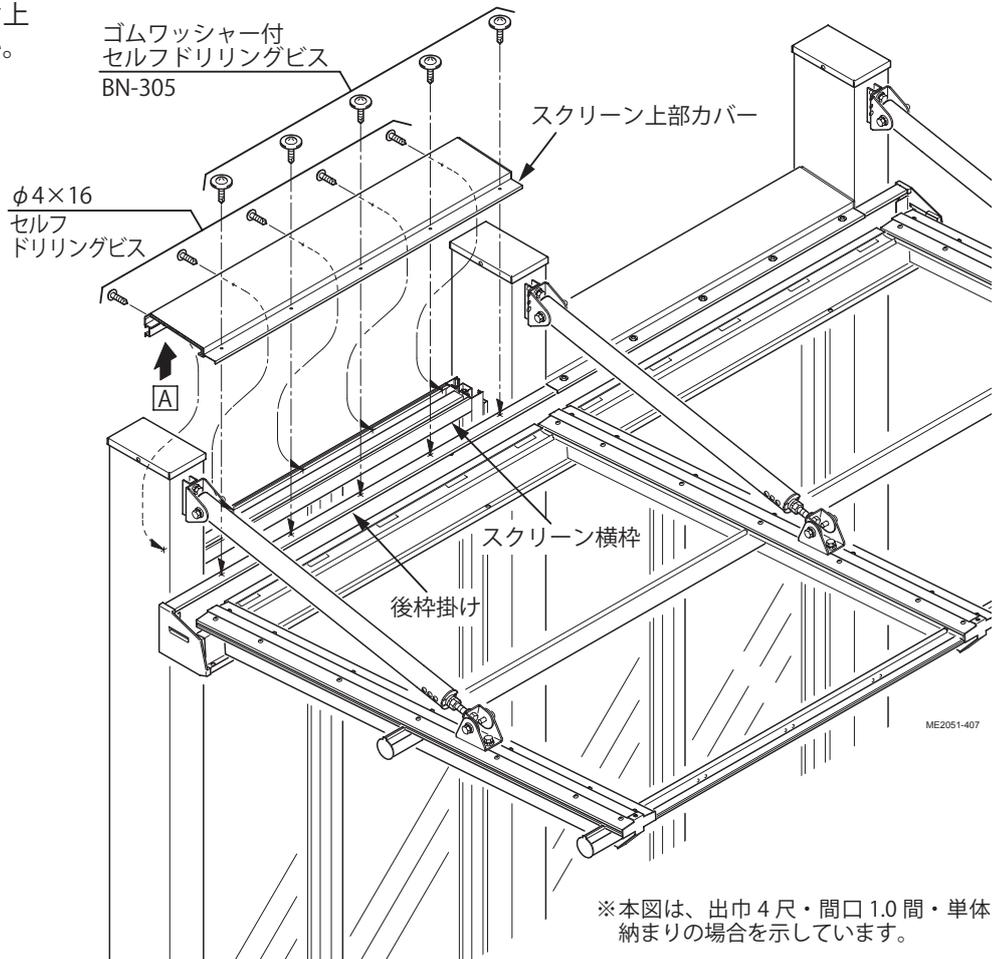
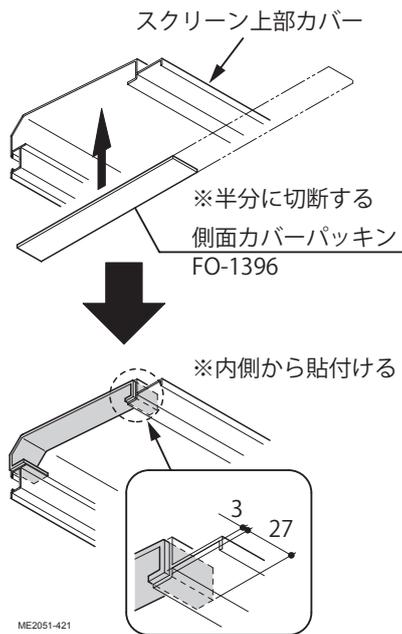
●ポリカパネル納まりの場合に参照してください。

- ①側面カバーパッキンを、スクリーン上部カバーの両端に貼付けてください。



側面カバーパッキンは、1枚で両端分です。半分に切断して貼付けてください。

●Aから見る



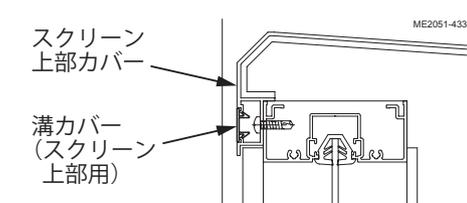
- ②スクリーン上部カバーを、スクリーン横枠・後枠掛けに取付けてください。



隙間がないように取付けてください。
※隙間があると雨水が入り、雨漏れなどの原因になります。

- ③溝カバー（スクリーン上部用）をスクリーン上部カバーに取付けてください。

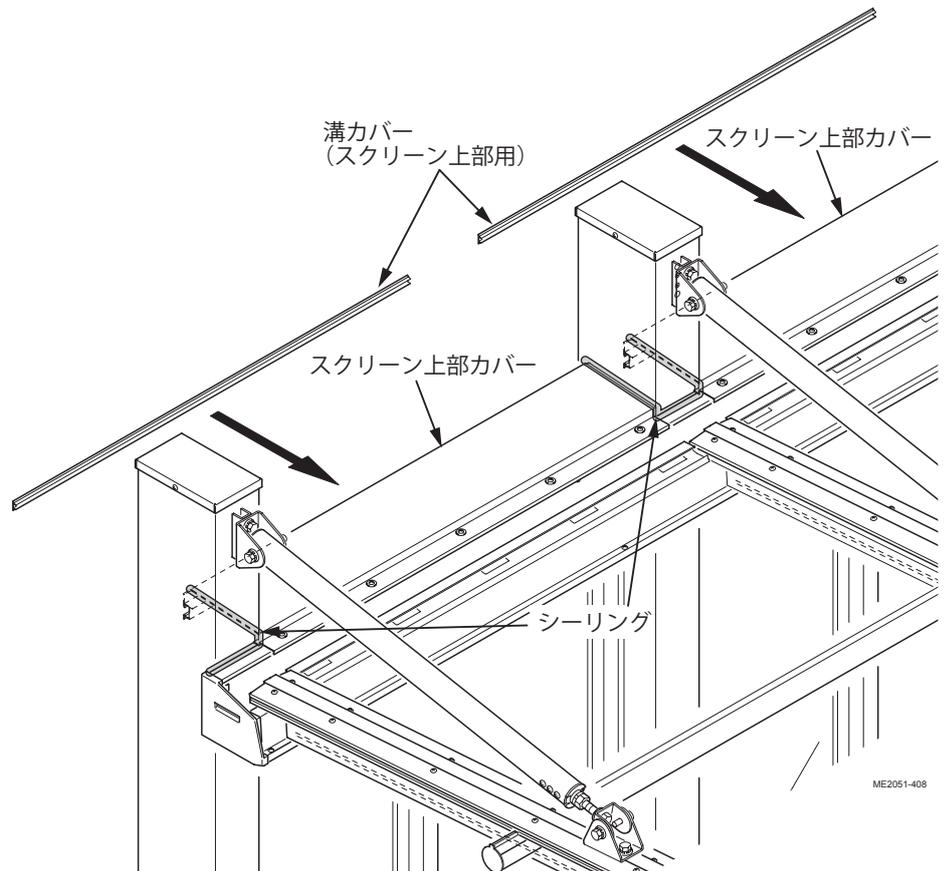
●溝カバー取付詳細図



- ④スクリーン上部カバーと柱の境界にシーリング処理を行ってください。



シーリング処理は確実に行ってください。
※防水が不完全だと、雨漏りなどの原因になります。



7

ルーフの壁付け

(※壁付け納まりの場合)

●壁付け納まりの場合に参照してください。



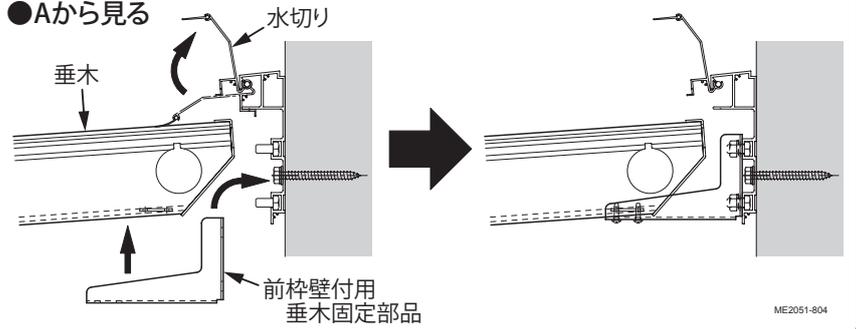
- 水切りを上を開くと、作業が容易に行うことができます。
- 連棟納まりで、前枠壁付用部材連結部品 A・B が干渉して水切りを開けない場合は、水切りをスライドさせてから開いてください。

- ①六角ボルトを水切り掛け部材の溝にスライドさせて挿入してください。
- ②垂木連結固定部品を仮止めしているビスを外してください。
- ③前枠壁付用垂木固定部品を垂木・水切り掛け部材に取付けてください。



- 水切り掛け部材への取付けは、「手順①」で挿入したボルトを使用してください。
- 垂木への取付けは、「手順②」のビスで垂木連結固定部品と共締めしてください。

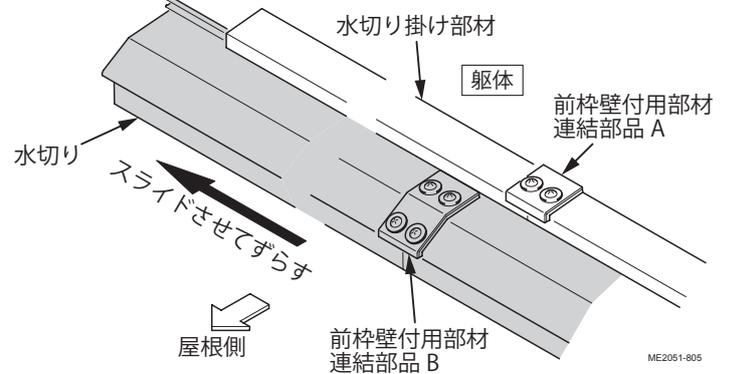
●Aから見る



ME2051-804

●連棟納まりで

水切りが開けない場合



ME2051-805

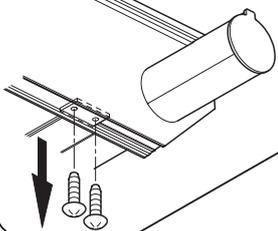
屋根側

垂木

垂木連結固定部品

M8×16 六角ボルト
M8 用平座金
M8 用バネ座金
M8 用袋ナット

※先に仮止めしているビスを外す



ME2051-802

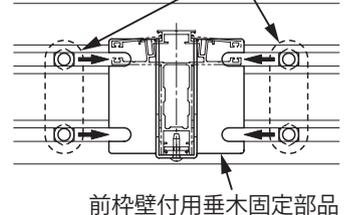
φ4×16
トラス
タッピング 3 種

前枠壁付用
垂木固定部品
UB-1139

躯体

●取付けづらい場合
(Bから見る)

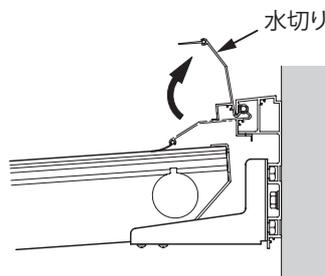
ボルトを横から
スライドさせる



ME2051-806



後工程の屋根材・押さえ材の取付けで、水切りにより作業に支障がある場合は、水切りを上を開いてください。



ME2051-807

8

屋根材の取付け



7尺～9尺屋根の場合、取付順序が発生します。
施工説明書 [ME-2120] を参照してください。

8-1 屋根材の取付け

①屋根材のマスキングシートをはがしてください。



- 両面ともはがしてください。
- 屋根材には表裏の区別があります。
- マスキングシートの「こちらの面を太陽光に向けてください」という表示がある面が天面になります。はがす前に確認してください。

②屋根材を垂木に載せ、後枠ピースに差し込んでください。



奥まで確実に差し込んでください。

③前枠用母屋カバーを前枠用母屋に取付けてください。

④屋根材押さえ部品を前枠用母屋に取付けてください。

⑤押さえ材を垂木に取付けてください。



●屋根材を四隅で均等に振り分け、たわみがないようにしてください。

●押さえ材をビス止めするとき、インパクトドライバーを使用しないでください。

※ビスが空回りする恐れがあります。

●ビスが空回りする場合は、ペンチなどで垂木の溝を狭めてから再度ビス止めしてください。

●屋根材納まり詳細図

Aから見る

後枠ピース

屋根材

Bから見る

Cから見る

屋根材

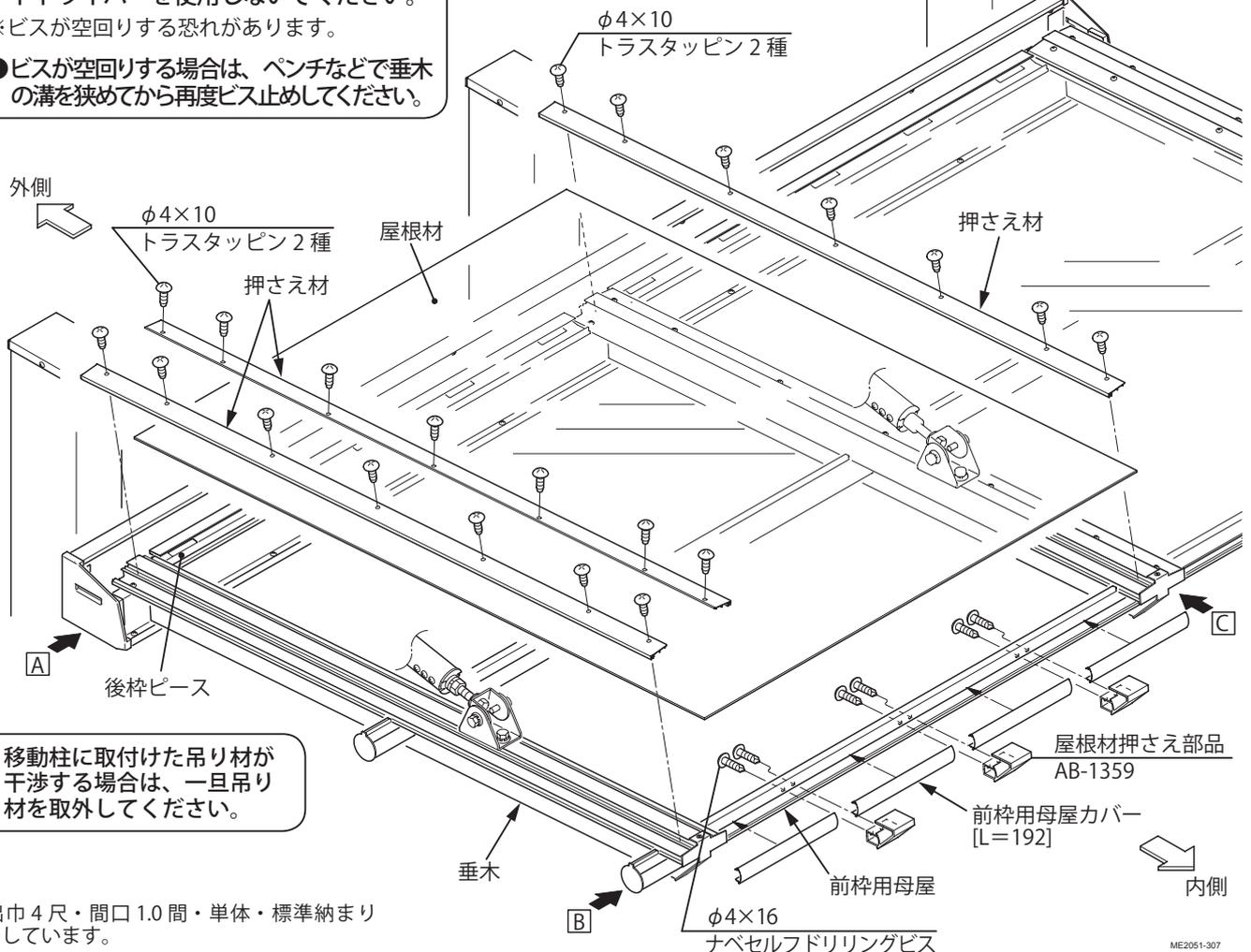
押さえ材

垂木

屋根材
押さえ部品

前枠用母屋

ME2052-303



移動柱に取付けた吊り材が
干渉する場合は、一旦吊り
材を取外してください。

※本図は、出巾4尺・間口1.0間・単体・標準納まり
の場合を示しています。

ME2051-307

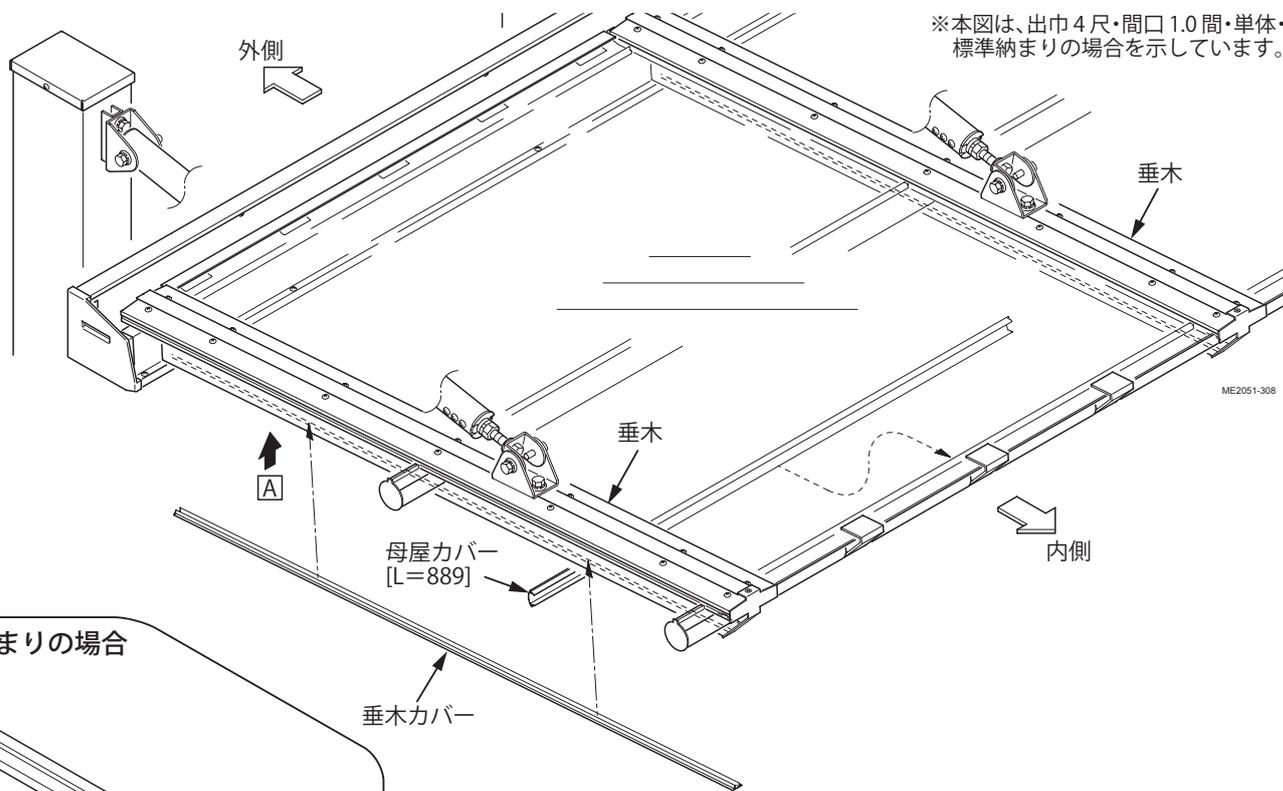
屋根材の取付け

⑥母屋カバーを前枠用母屋に取付けてください。

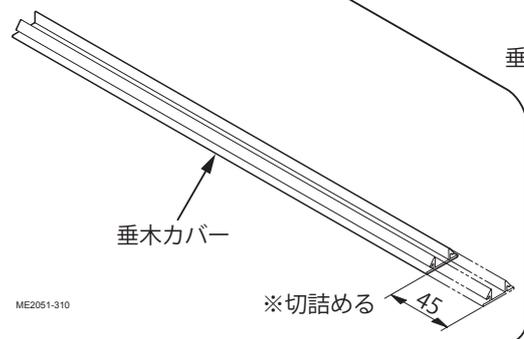
⑦垂木カバーを垂木の下側に取付けてください。



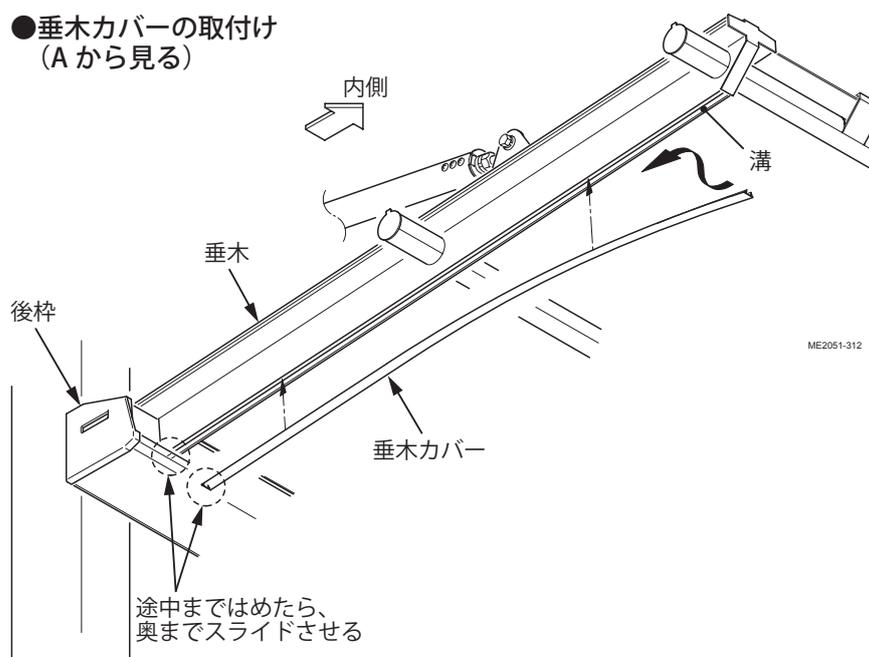
壁付け納まりの場合は、取付前に垂木カバーを切詰めてください。



●壁付け納まりの場合



●垂木カバーの取付け (Aから見る)

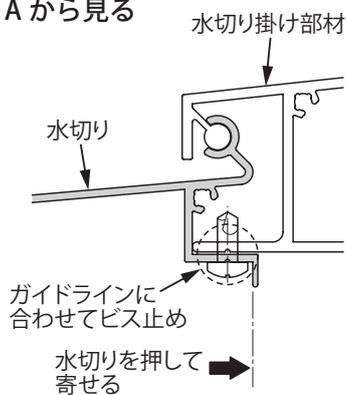


⑧各ビス・ボルトに緩みがないことを確認してください。

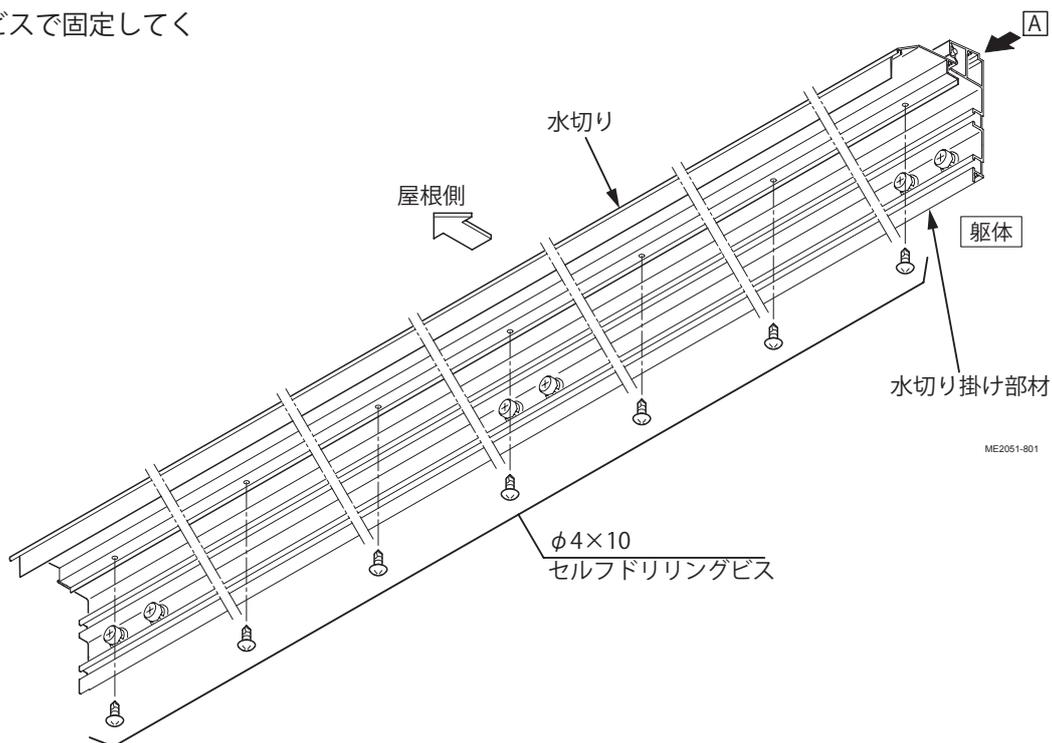
8-2 水切りの固定（※壁付け納まりの場合）

- ①水切りを、水切り掛け部材にビスで固定してください。

● A から見る

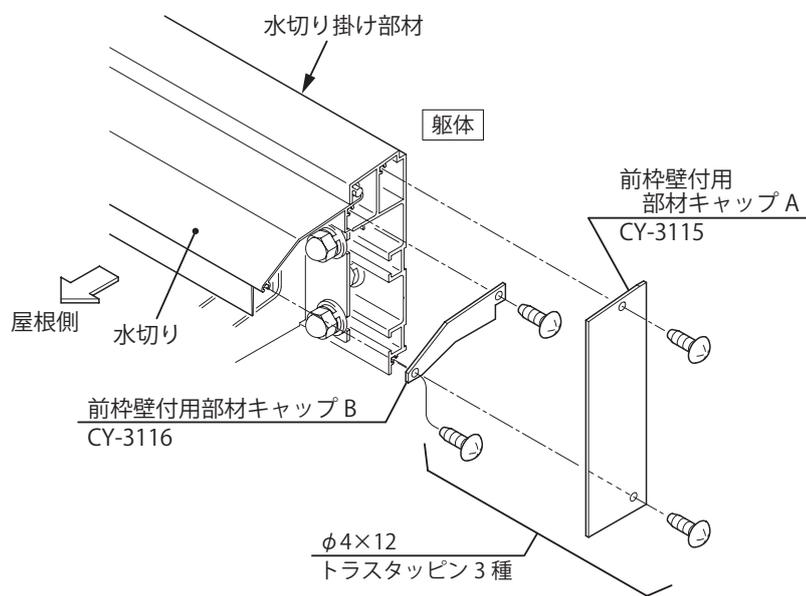


ME2051-808



ME2051-801

- ②前枠壁付用部材キャップ B を水切りに取付けてください。
- ③前枠壁付用部材キャップ A を水切り掛け部材に取付けてください。



ME2051-803

9

雨樋の取付け

9-1 縦樋の取付け

※本図は、H26 の場合を示しています。

①縦樋を現場合わせで切断してください。

●縦樋切断寸法

(mm)

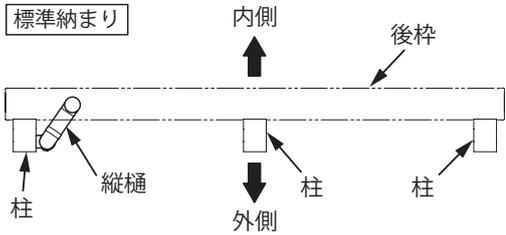
H	縦樋 (A)	縦樋 (B) ※	
		標準柱	スクリーン取付柱
H23	1725	107	62
H26	2025		
H29	2325		
H33	2725		

※柱移動を行わない場合のみ

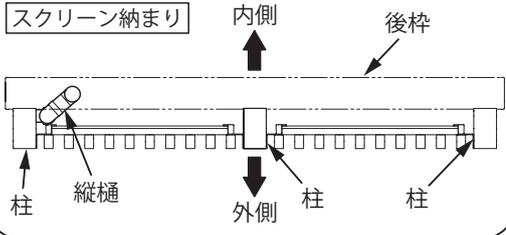
●縦樋取付位置

ME2051-504

標準納まり



スクリーン納まり



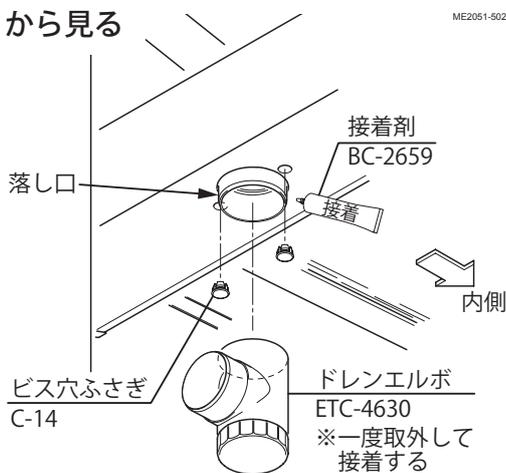
②図を参照して、その他の部品を仮組みし、接着剤で固定してください。



はみ出した接着剤はきれいに取り除いてください。

●A から見る

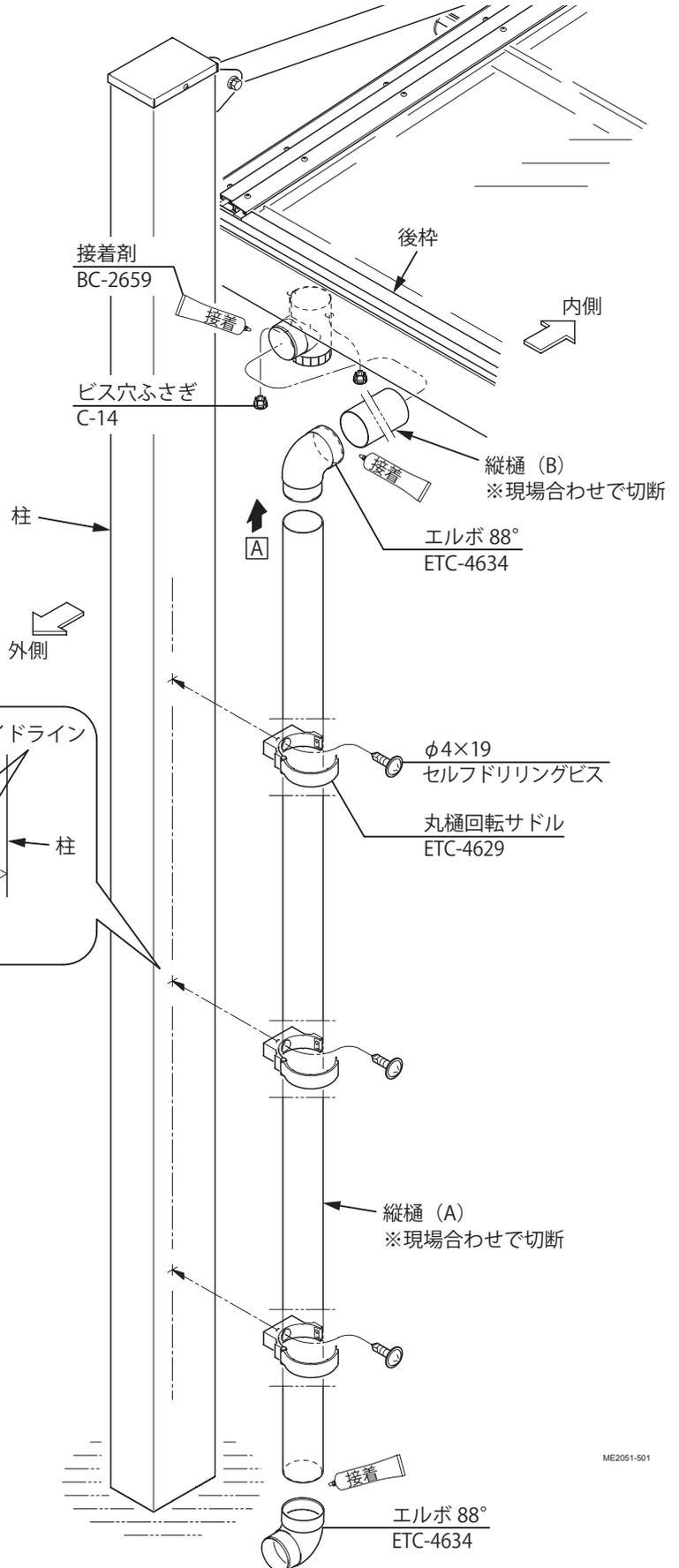
ME2051-502



③縦樋を丸樋回転サドルで柱に固定してください。



柱のガイドラインに合わせてください。

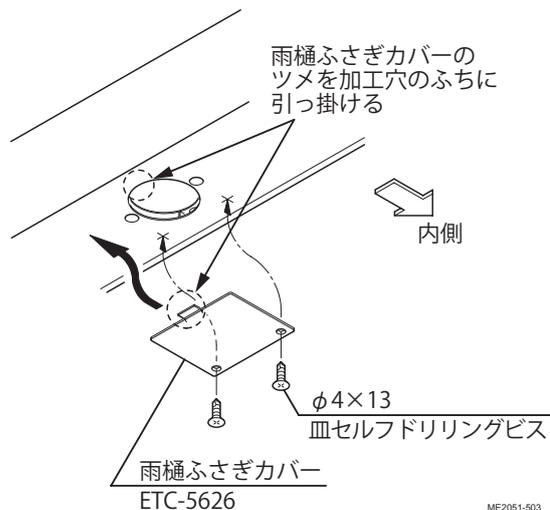


ME2051-501

9-2 雨樋ふさぎカバーの取付け

①後枠の残りの加工孔に、雨樋ふさぎカバーを取付けてください。

●前ページ A から見る



施工完了時の注意事項

- ビス・ボルト類が確実に締め付けられているか確認してください。
- 雨漏りなどがないか確認し、必要に応じて防水処理を追加してください。
- 使用上危険な箇所等がないか点検してください。

■施工工事店様、販売店様へのお願い

- 「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この施工説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施工完了日	年	月	日
施工工事店		TEL ()	-
販売店		TEL ()	-

株式会社LIXIL この商品についてのご質問やご相談は右記の窓口にお問い合わせください。 お客様相談室  0120-126-001

LIXIL インターネットホームページ <http://www.lixil.co.jp>